



海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十一年八月四日

内閣總理大臣男爵加藤友三郎



Blank document page with vertical lines for writing.

外甲 第二六號

二十六年六月廿九

二十八年八月十四

内閣總理大臣 齋藤 實

内閣書記官 齋藤 實

外務大臣 齋藤 實

海軍大臣 齋藤 實

文部大臣 齋藤 實

逓信大臣 齋藤 實

内務大臣 齋藤 實

司法大臣 齋藤 實

農林大臣 齋藤 實

鐵道大臣 齋藤 實

海軍軍備制限ニ關スル條約御批准
ノ件

右樞密院御諮詢ヲ經テ御下付ニ付同院

上奏ノ通御批准ヲ奏請セラレ然ルヘシ
外務大臣ハ通牒案

海軍軍備制限ニ關スル條約御批准
ノ件上奏ノ通裁可ヲ經タリ

大正十一年八月五日

臣等海軍軍備制限ニ關スル條約御批准
ノ件諮詢ノ命ヲ恪ニ本月二十九日ヲ以
テ審議ヲ盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ上
奏シ更ニ

聖明ノ採擇ヲ仰ク

大正十一年六月二十九日

樞密院議長子爵臣 清浦奎吉

御批准案

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル
日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ
宣示ス

朕帝國、亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國
及伊太利國ノ各全權委員カ亞米利加合
衆國華盛頓ニ於テ大正十一年二月六日
署名調印シタル海軍軍備制限ニ關スル
條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十二年大

正十一年八月五日 禁山ニ於テ親
ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

攝政名

外務大臣

秘

海軍軍備制限ニ關スル條約

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ
一般ノ平和ノ維持ニ貢獻シ且軍備競争ノ負擔ヲ輕減セムコトヲ望ミ
右目的ヲ達成スル爲各自ノ海軍軍備ヲ制限スルノ條約ヲ締結スルコトニ決シ
之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

合衆國人民「チアールス、エヴァンス、ヒューズ」

同「ヘンリー、カボット、ロッシ」

同「オスカール、ダブリュー、アングラウ」

同「エリヒュー、ルート」

大不列顛愛爾蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下

樞密院議長國會議員「アーサー、ジュームス、バルフォア」

海軍大臣男爵「リ、オヴ、フエアラム」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「サー、オークランド、キアンブル、ゲデス」

加奈陀

「ロバート、レアド、ボーデン」

濠太利聯邦

内務大臣上院議員「ショーシ、ファスター、ピアス」

新西蘭

新西蘭最高法院判事「サー、ジョン、ウイリアム、サルモンド」

南阿弗利加聯邦

國會議員「アーサー、ジェームス、バルフォア」

印度

印度參議院議員「ヴァリニングマン、サンカラナラヤナ、スリニヴァサ、サストリ」

佛蘭西共和國大統領

殖民大臣下院議員「アルベール、サロ」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ジェール、ジー、ジュスラン」

伊太利國皇帝陛下

參議院議員「カルロ、シアンツェル」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使參議院議員「ヴィントリオ、ロランデイ、リッ
ナ」

參議院議員「ルイジ、アルベルティニ」

日本國皇帝陛下

海軍大臣男爵加藤友三郎

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎

外務次官埴原正直

右各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一章

海軍軍備ノ制限ニ關スル一般規定

第一條

締約國ハ本條約ノ規定ニ從ヒ各自ノ海軍軍備ヲ制限スヘキコトヲ約定ス

第二條

締約國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ヲ各自保有スルコトヲ得本條約實施ノ上ハ合衆國、英帝國及日本國ノ既成又ハ建造中ノ他ノ一切ノ主力艦ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ本條中ノ左ノ諸規定ヲ留保ス

合衆國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ノ外現ニ建造中ノ「ヴェスト、ヴァージーニ」^ア級二隻ヲ完成シ之ヲ保有スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「ノース、ダコータ」及「デラウエーア」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

英帝國ハ第二章第三節ノ代換表ニ從ヒ基準排水量各三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超エサル新主力艦二隻ヲ建造スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「サンダラー」、「キング、ジョージ」五世、「エーリアックス」及「センテューリオン」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第三條

第二條ノ規定ヲ留保シ締約國ハ各自ノ主力艦建造計畫ヲ廢止スヘク又締約國ハ第二章第三節ニ掲クル所ニ從ヒ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ヘキ代換噸數以外ニ新主力艦ヲ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ス

第二章第三節ニ從ヒ代換セラレタル軍艦ハ同章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第四條

各締約國ノ主力艦合計代換噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、英帝國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、佛蘭西國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、伊太利國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、日本國三十一萬五千噸(三十二萬四千「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條

基準排水量三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超ユル主力艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之ヲ建造ヲ許スコトヲ得ス

第六條

何レノ締約國ノ主力艦モ口徑十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備ス

ルコトヲ得ス

第七條

各締約國ノ航空母艦合計噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國十三萬五千噸十三萬七千六百七十メートル式噸、英帝國十三萬五千噸十三萬七千六百七十メートル式噸、佛蘭西國六萬噸六萬九百六十メートル式噸、伊太利國六萬噸六萬九百六十メートル式噸、日本國八萬一千噸八萬二千二百九十六メートル式噸ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條

航空母艦ノ代換ハ第二章第三節ノ規定ニ從フノ外之ヲ行フコトヲ得ス但シ千九百二十一年十一月十二日ニ現存シ又ハ建造中ノ一切ノ航空母艦ハ之ヲ試驗的ノモノト看做スヘク且其ノ艦齡ノ如何ニ拘ラス第七條ニ規定スル合計噸數ノ範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得

第九條

基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二メートル式噸)ヲ超ユル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス

尤モ各締約國ハ其ノ航空母艦ノ割當合計噸數ヲ超エサル限り基準排水量各三萬三千噸(三萬三千五百二十八メートル式噸)ヲ超エサル航空母艦二隻以内ヲ建

造スルコトヲ得ヘク又經費節約ノ爲各締約國ハ第二條ノ規定ニ依リ廢棄スヘキ既成又ハ建造中ノ主力艦中ノ二隻ヲ右目的ニ利用スルコトヲ得基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二メートル式噸)ヲ超ユル航空母艦ノ武裝ハ第十條ノ規定ニ準據スヘシ但シ備砲中ニ口徑六吋(百五十二ミリメートル)ヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七ミリメートル)以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計八門ヲ超ユルコトヲ得ス

第十條

何レノ締約國ノ航空母艦モ口徑八吋(二百三十二ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス備砲中ニ口徑六吋(百五十二ミリメートル)ヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七ミリメートル)以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ又備砲中ニ口徑六吋(百五十二ミリメートル)ヲ超ユルモノナキトキハ砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ右何レノ場合ニ於テモ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七ミリメートル)ヲ超エサル砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ

第十一條

主力艦又ハ航空母艦以外ノ軍艦ニシテ基準排水量一萬噸(一萬百六十メートル式噸)ヲ超ユルモノハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若

ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス特ニ戰鬪用艦船トシテ建造セラレタルモノニ非サル船舶又ハ戰鬪用トシテ平時政府ノ管理ノ下ニ置カレタルモノニ非サル船舶ニシテ艦隊要務又ハ軍隊輸送ノ爲其ノ他戰鬪用艦船トシテ爲ス以外敵對行爲ノ遂行ヲ幫助スル爲使用セラルルモノハ本條ノ制限ヲ受ケサルモノトス

第十二條

將來起工セラルヘキ何レノ締約國ノ軍艦モ主力艦ヲ除クノ外口径八吋(二百三「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス

第十三條

第九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本條約中ニ廢棄スヘキモノトシテ指定セラレタル軍艦ハ再ヒ之ヲ軍艦ニ變更スルコトヲ得ス

第十四條

商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武装ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ス但シ口径六吋(百五十二「ミリメートル」)ヲ超エサル砲ヲ裝備スル爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條

何レノ締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ建造スル軍艦モ締約國ノ建造シ

又ハ建造セシムル同型ノ軍艦ニ付本條約ニ規定スル排水量及武装ニ關スル制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ非締約國ノ爲ニ建造スル航空母艦ノ排水量ハ如何ナル場合ニ於テモ基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條

締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ軍艦ヲ建造スルトキハ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ契約締結ノ日及軍艦ノ龍骨据附ノ日ヲ速ニ通報シ且第二章第三節第一款(ロ)ノ(四)及(五)ニ規定スル軍艦ニ關スル細目ヲ通知スヘシ

第十七條

締約國ハ戰爭ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造中ノ軍艦又ハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造シタルモ引渡ヲ了セサル軍艦ヲ軍艦トシテ使用スルコトヲ得ス

第十八條

各締約國ハ贈與賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス

第十九條

合衆國英帝國及日本國ハ左ニ掲クル各自ノ領土及屬地ニ於テ要塞及海軍根據

地ニ關シ本條約署名ノ時ニ於ケル現状ヲ維持スヘキコトヲ約定ス

(一) 合衆國カ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)合衆國、アラスカ及巴奈馬運河地帯ノ海岸ニ近接スル島嶼(ニ)アリューシアン諸島ヲ包含セス(ロ)布哇諸島ヲ除ク

(二) 香港及英帝國カ東經百十度以東ノ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)加奈陀海岸ニ近接スル島嶼(ロ)濠太利聯邦及其ノ領土竝(ハ)新西蘭ヲ除ク

(三) 太平洋ニ於ケル日本國ノ下記ノ島嶼タル領土及屬地即チ千島諸島、小笠原諸島、奄美大島、琉球諸島、臺灣及澎湖諸島竝日本國カ將來取得スルコトアルヘキ太平洋ニ於ケル島嶼タル領土及屬地

前記ノ現状維持トハ右ニ掲クル領土及屬地ニ於テ新ナル要塞又ハ海軍根據地ヲ建設セサルヘキコト、海軍力ノ修理及維持ノ爲現存スル海軍諸設備ヲ増大スルノ處置ヲ執ラサルヘキコト竝右ニ掲クル領土及屬地ノ沿岸防禦ヲ増大セサルヘキコトヲ謂フ但シ右制限ハ海軍及陸軍ノ設備ニ於テ平時慣行スルカ如キ磨損セル武器及裝備ノ修理及取替ヲ妨クルコトナシ

第二十條

第二章第四節ニ規定スル排水量噸數算定ノ規則ハ各締約國ノ軍艦ニ之ヲ適用ス

第二章

本條約實施ニ關スル規則及用語ノ定義

第一節

締約國ノ保有シ得ヘキ主力艦

各締約國ハ第二條ノ規定ニ從ヒ本節ニ掲クル軍艦ヲ保有スルコトヲ得合衆國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
「メーリランド」	三二、六〇〇
「カリフォルニア」	三二、三〇〇
「テネシー」	三二、三〇〇
「アイダホ」	三二、〇〇〇
「ニューメキシコ」	三二、〇〇〇
「ミシシッピ」	三二、〇〇〇
「アリゾナ」	三一、四〇〇

「ペンシルヴェニア」	三一、四〇〇
「オクラホーマ」	二七、五〇〇
「ネヴァーダ」	二七、五〇〇
「ニュー、ヨーク」	二七、〇〇〇
「テキサス」	二七、〇〇〇
「アーカンソー」	二六、〇〇〇
「ワイオミング」	二六、〇〇〇
「フロリダ」	二一、八二五
「ユター」	二一、八二五
「ノース、ダコータ」	二〇、〇〇〇
「デラウエア」	二〇、〇〇〇

合計噸數 五〇〇、六五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ「ウエスト、ヴァージーニア」級ニ隻ヲ完成シ且「ノース、ダコータ」及「デラウエア」ヲ廢棄シタル上ハ合衆國ノ保有スル合計噸數ハ五十二萬五千八百五十噸ナリ

英帝國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名 噸數

「ローヤル、ソヴェレン」	二五、七五〇
「ローヤル、オーク」	二五、七五〇
「リヴェンジ」	二五、七五〇
「レヅリューション」	二五、七五〇
「ラミリース」	二五、七五〇
「マラヤ」	二七、五〇〇
「ヴァリアント」	二七、五〇〇
「バーラム」	二七、五〇〇
「クウィン、エリザベス」	二七、五〇〇
「ウァースバイト」	二七、五〇〇
「ベンボー」	二五、〇〇〇
「エシペラー、オヴ、インディア」	二五、〇〇〇
「アイアン、デューク」	二五、〇〇〇
「マーバラ」	二五、〇〇〇
「フッド」	四一、二〇〇
「リナウン」	二六、五〇〇
「リバルス」	二六、五〇〇

「タイガー」	二八、五〇〇
「サンダラー」	二二、五〇〇
「キング、ジョージ五世」	二二、〇〇〇
「エーシアックス」	二二、〇〇〇
「センチュリーオン」	二二、〇〇〇
合計噸數	五八〇、四五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ建造セラルヘキ新軍艦二隻ヲ完成シ且「サンダラー」、「キング、ジョージ五世」、「エーシアックス」及「センチュリーオン」ヲ廢棄シタル上ハ英帝國ノ保有スル合計噸數ハ五十五萬八千九百五十噸ナリ

佛蘭西國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數(メートル式噸)
「ブルターニュ」	二二、五〇〇
「ローヌ」	二二、五〇〇
「プロヴァンス」	二二、五〇〇
「パリ」	二二、五〇〇
「フランス」	二二、五〇〇
「シアン、ポール」	二二、五〇〇
合計噸數	二二二、一七〇

佛蘭西國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

伊太利國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數(メートル式噸)
「アンドレア、ドリア」	二二、七〇〇
「カイオ、デヴィリオ」	二二、七〇〇
「コンテ、ディ、カゾール」	二二、五〇〇
「ジュリオ、ナエザール」	二二、五〇〇
「レオナルド、ダ、ヴィンチ」	二二、五〇〇
「ダンテ、アリギエーリ」	一九、五〇〇
「ローマ」	一二、六〇〇
「ナポリ」	一二、六〇〇
合計噸數	二二二、一七〇

「ヴィットーリア、エマヌエレ」 一二、六〇〇
 「レシナ、エレーナ」 一二、六〇〇
 合計噸數 一八二、八〇〇

伊太利國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

日本國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
陸奥	三三、八〇〇
長門	三三、八〇〇
日向	三一、二六〇
伊勢	三一、二六〇
山城	三〇、六〇〇
扶桑	三〇、六〇〇
霧島	二七、五〇〇
榛名	二七、五〇〇
比叡	二七、五〇〇
金剛	二七、五〇〇

合計噸數 三〇一、三二〇

第二節

軍艦廢棄ニ關スル規則

第二條及第三條ノ規定ニ從ヒ處分スヘキ軍艦ノ廢棄ニ關シテハ左ノ諸規則ヲ遵守スヘシ

一 廢棄スル軍艦ハ之ヲ戰鬪用ニ供シ得サル状態ニ置クコトヲ要ス
 二 右結果ハ左ノ方法ノ何レカノ一ニ依リ確定的ニ之ヲ實現スルコトヲ要ス

- (イ) 軍艦ヲ永久ニ沈没セシムルコト
- (ロ) 軍艦ヲ解體スルコト 解體ハ必ス一切ノ機械、汽罐及裝甲並一切ノ甲板、舷側及船底ノ鈹ノ破壊又ハ撤去ヲ含ムヘキモノトス
- (ハ) 軍艦ヲ專ラ標的用ニ變更スルコト 此ノ場合ニ於テ本節第三號ノ一切ノ規定ハ豫メ之ヲ遵守スルコトヲ要ス但シ(六)軍艦ヲ移動標的トシテ使用スルニ必要ナル限度ニ於テ及(七)ハ此ノ限ニ在ラス各締約國ハ右目的ノ爲同時ニ一隻ヲ超ユル主力艦ヲ保有スルコトヲ得ス
- (ニ) 佛蘭西國及伊太利國ハ千九百三十一年又ハ其ノ以後ニ於テ本條約ニ

依リテ廢棄スヘキ主力艦中ヨリ專ラ練習用ノ爲即チ砲術學校又ハ水雷學校用トシテ航海可能ノモノニ隻ヲ各自保有スルコトヲ得佛蘭西國ノ保有スル右軍艦二隻ハ「ジャン、ポール」級ノモノタルヘク又伊太利國ノ保有スルモノノ内一隻ハ「ダンテ、アリギエーリ」ニシテ他ノ一隻ハ「ジュリオ、チエザーレ」級ノモノタルヘシ佛蘭西國及伊太利國ハ前記目的ノ爲右軍艦ヲ保有スルニ當リ其ノ司令塔ヲ撤去破壞シ且該軍艦ヲ軍艦トシテ使用セサルヘキコトヲ各自約定ス

三

(イ) 第九條ニ掲クル例外ヲ留保シ軍艦カ廢棄ノ時期ニ到達シタルトキハ直ニ廢棄ノ第一期作業即チ軍艦ヲ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スコトニ著手スヘシ

(ロ)

軍艦ハ左ノ諸物件ヲ撤去陸揚シ又ハ艦内ニ於テ破壊シタルトキハ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト認メラルヘシ

(一) 一切ノ砲及砲ノ主要部分、砲火指揮所竝一切ノ露砲塔及砲塔ノ旋回部

(二) 水壓又ハ電力ヲ以テ作動スル砲架ノ操作ニ必要ナル一切ノ機械

(三) 一切ノ砲火指揮用具及距離測定儀

(四) 一切ノ彈藥、爆藥及機雷

(五) 一切ノ魚雷、實用頭部及發射管

(六) 一切ノ無線電信裝置

(七) 司令塔及一切ノ舷側裝甲又ハ此等ノ代リニ一切ノ主要推進機械

(八) 一切ノ飛行機發著用甲板及其ノ他一切ノ航空用附屬物件

四

軍艦ノ廢棄ヲ實行スヘキ期間左ノ如シ

(イ)

第二條第一項ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ヲ本條約實施ノ時ヨリ六月内ニ完了シ且其ノ廢棄ヲ右實施ノ時ヨリ八月内ニ全部完了スヘシ

(ロ)

第二條第二項及第三項ニ依リ又ハ第三條ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ其ノ代艦完成ノ日以前ニ之ヲ開始シ右完成ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘシ該軍艦ハ其ノ代艦完成ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ但シ新艦ノ完成遲延スルトキハ本節第三號ニ從ヒ舊艦ヲ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ新艦ノ龍骨据附後四年内ニ之ヲ開始シ該作業開始ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘク且舊艦ハ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業開始ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ

第三節

代換

主力艦及航空母艦ノ代換ハ本節第一款ノ規則及第二款ノ表ニ依リ之ヲ行フヘシ

第一款

代換ニ關スル規則

(イ) 主力艦及航空母艦ニシテ其ノ完成ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルモノハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外新艦建造ニ依リ第四條及第七條ニ定ムル範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得右新艦ノ龍骨ハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外代換セララルヘキ舊艦ノ完成ノ日ヨリ十七年ヲ經過スルニ非ザレハ之ヲ据附クルコトヲ得ス但シ主力艦ハ第二條第三項ニ掲クル軍艦及本節第二款ニ掲クル代換噸數ヲ除クノ外千九百二十一年十一月十二日ヨリ十年間ハ之ヲ起工スルコトヲ得ス

(ロ) 各締約國ハ速ニ左ノ事項ヲ他ノ各締約國ニ通知スヘシ

- (一) 新艦建造ニ依リ代換セララルヘキ主力艦及航空母艦ノ艦名
- (二) 代艦建造ニ對スル政府公認ノ日
- (三) 代艦ノ龍骨据附ノ日
- (四) 起工スル各新艦ノ噸及メートル式噸ニ依ル基準排水量並主要寸法即チ水線全長、水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (五) 各新艦完成ノ日、完成ノ時ニ於ケル噸及メートル式噸ニ依ル基準排水量並完成ノ時ニ於ケル主要寸法即チ水線全長、水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (ハ) 主力艦又ハ航空母艦亡失シ又ハ不慮ノ事變ニ因リ破壊セラレタルトキハ第四條及第七條ニ定ムル噸數ノ範圍内ニ於テ且本條約ノ他ノ規定ニ從ヒ新艦建造ニ依リ直ニ之ヲ代換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ正規ノ代換計畫ハ該艦ノ關スル限り之ヲ繰上ケタルモノト認ム
- (ニ) 保有スヘキ主力艦又ハ航空母艦ハ空中及水中ノ攻撃ニ對スル防禦裝置ヲ施スノ目的ヲ以テスル場合ニ限り下記ノ規定ニ從ヒ之ヲ改造スルコトヲ得即チ締約國ハ右目的ノ爲各現存艦ニ付其ノ増加スヘキ排水量三千噸(三千四百十八)メートル式噸ヲ超エサル限り「バルヂ」若ハ「グリスタ」又ハ空中攻撃ニ對スル防禦甲板ヲ之ニ裝備スルコトヲ得舷側裝甲又ハ主砲ノ口徑、數若ハ一般

裝備法ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス

- (一) 佛蘭西國及伊太利國ハ「バルヂ」ニ關シ増加スルコトヲ得ル噸數ノ範圍内ニ於テ其ノ現存主力艦ノ裝甲ヲ増加シ且其ノ備砲ノ口徑ヲ十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超エサル限り増大スルコトヲ得
- (二) 英帝國ハ「リナウン」ニ付テハ既ニ開始シ一時中止シタル裝甲變更工事ヲ完了スルコトヲ得

第二款

主力艦ノ代換及廢棄

合衆國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュット」 「ド」海戰 前ノ型 後ノ型
			「メーン」(10)、「ミズーリ」(10)、「 「ヴァージーニア」(17)、「ネブラ スカ」(17)、「ジョーシ」(17)、「 「ニュー、シアーシー」(17)、「ロー ド、アイランド」(17)、「カネティ カット」(17)、「ルイジアーナ」(1 七)、「ヴァーモント」(16)、「カンザ ス」(16)、「ミネソータ」(16)、「ニ ー、ハンブシャー」(15)、「サウス、 カロライナ」(11)、「ミシガン」(1 1)、「ウァシントン」(10)、「サウス、 ダコータ」(10)、「インディアナ」(10)、「 「モンターナ」(10)、「ノース、カロラ イナ」(10)、「アイオワ」(10)、「マッサ チュセッツ」(10)、「レキシントン」 (10)、「コンスタナチューション」(10)、「 「コンステレーション」(10)、「サラ トガ」(10)、「レンジャー」(10)、「ユ ナイテッド、ステーツ」(10) (註一)	一七 一

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュット」 「ド」海戰 前ノ型 後ノ型

一九三三	「い、ろ」(註二)	「デラウェア」(一一二)、「ノース、ダ コタ」(一一二)	一五	三
一九三三			一五	三
一九二四			一五	三
一九二五			一五	三
一九二六			一五	三
一九二七			一五	三
一九二八			一五	三
一九二九			一五	三
一九三〇			一五	三
一九三一	「は、に」		一五	三
一九三二	「ほ、へ」		一五	三
一九三三	「こ」		一五	三
一九三四	「ち、り」	「フロリダ」(一一三)、「ユター」(一一三) 「ワイオミング」(一一三) 「アーカンソー」(一一三)、「テキサス」 (一一三)、「ニュー、ヨーク」(一一三)	二	五
一九三五	「ぬ」		九	七

二四

一九三六	「る、を」	「シ」	「ネヴァーダ」(一一〇)、「マクラホー マ」(一一〇)	七	八
一九三七	「わ」	「ち、り」	「アリゾナ」(一一一)、「ペンシル ヴェーニア」(一一一)	五	〇
一九三八	「か、よ」	「ぬ」	「ミシシッピー」(一一一)	四	一
一九三九	「た、れ」	「る、を」	「ニュー、メキシコ」(一一一)、「アイダ ホー」(一一〇)	二	三
一九四〇	「わ」	「わ」	「テネシー」(一一〇)	一	四
一九四一	「か、よ」	「か、よ」	「カリフォルニア」(一一〇)、「メーリ ランド」(一一〇)	〇	一五
一九四二	「た、れ」	「た、れ」	「ウェスト、ヴァージニア」級二隻	〇	一五

(註一) 合衆國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上、オレゴン及イリ
ノイヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得

(註二) 「ウェスト、ヴァージニア」級二隻
備考「い、ろ、は、に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代換及廢棄
英帝國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュットラ ン」海戦 前ノ型後ノ型
			「コンモンウェルズ」(一六)、「アガ メンノン」(一二)、「ドレッドノー ト」(一五)、「ペレロフ・ファン」(一二)、「 セント、ヴィンセント」(一一)、「イ ンフレクシブル」(一二)、「シェバ ーブ」(一二)、「ホプキーン」(一 〇)、「ハーキュリーズ」(一〇)、「イ ンドミタブル」(一二)、「テメレー ア」(一二)、「ニュー、ジラランド」 (九)、「ライオン」(九)、「プリンセス、 ロイヤル」(九)、「コンテラー」(九)	一一一 一

一九二二	「ほ」「へ」			一七	三
一九二一	「ほ」「に」			一七	三
一九二〇				一七	三
一九一九				一七	三
一九一八				一七	三
一九一七				一七	三
一九一六				一七	三
一九一五		「い」「ろ」	「キング、ジョージ」五世(一二)、「エ ーリアックス」(一一)、「センチニエ ーリ」(一一)、「サンダラー」(一二)	一七	三
一九一四			「モナーク」(九)、「オライオン」(九) 「オーストレリア」(八)、「エジン コート」(七)、「エリン」(七)、建造又 ハ計畫中ノ四隻(註一)	一一	一
一九一三	「い」「ろ」(註一)			一一	一

一九三三	「ち」「り」	「は」「い」	「アイアン、デューク」(一〇)、「マー バラ」(一〇)、「エンペラー、オヴ、イ ンディア」(一〇)、「ペンボー」(一〇) 「ダイガー」(一一)、「クワイン、エリ ザベス」(一〇)、「サアースバイト」 (一〇)、「バーラム」(一〇)	一七	三
一九三五	「ぬ」	「ほ」「へ」	「マラヤ」(一〇)、「ロイヤル、ソヴ レン」(一〇)	九	七
一九三六	「る」「を」	「こ」	「リヴェンジ」(一一)、「レゾリュ ション」(一一)	七	八
一九三七	「わ」	「ち」「り」	「ローヤル、オーク」(二二) 「ヴァリアント」(二二)、「リバルス」 (二二)	五	一〇
一九三八	「か」「よ」	「ぬ」	「リナウン」(二四)	四	一一
一九三九	「た」「れ」	「る」「を」	「ラミリース」(二四)、「フッド」(二 一)	二	一三
一九四〇	「わ」	「か」「よ」		一	一四
一九四一				〇	一五

一九四二	「た」「れ」	「い」「(一七)」「ろ」「(一七)」	「英帝國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上「コロツサス」及「コ リンウッド」ヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得 (註一) (註二) 基準排水量三萬五千噸艦二隻 備考「い」「ろ」「は」「い」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水 量三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス	〇	一五
------	--------	--------------------	--	---	----

主力艦ノ代換及廢棄
佛蘭西國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュットラン ド」海戦 前ノ型後ノ型
一九三二				七
一九三三				七
一九三四				七

一九二五				七	〇
一九二六				七	〇
一九二七	三五、〇〇〇噸			七	〇
一九二八				七	〇
一九二九	三五、〇〇〇噸			七	〇
一九三〇		三五、〇〇〇噸	「シアン、パール」(一七)、「クールベ ー」(一七)	五	(註)
一九三一	三五、〇〇〇噸			五	(註)
一九三二	三五、〇〇〇噸	三五、〇〇〇噸	「フランス」(一八)	四	(註)
一九三三	三五、〇〇〇噸	三五、〇〇〇噸	「フランス」(一八)	四	(註)
一九三四		三五、〇〇〇噸	「バリー」(一〇)、「ブルターニュ」(一 〇)	二	(註)
一九三五		三五、〇〇〇噸	「プロヴァンス」(一〇)	一	(註)
一九三六		三五、〇〇〇噸	「ローヌ」(一〇)	〇	(註)
一九三七				〇	(註)
一九三八				〇	(註)
一九三九				〇	(註)

一九四〇
一九四一
一九四二

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス
備考—佛蘭西國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサ
ルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘ
キコトヲ條件トス

〇 〇 〇
(註) (註) (註)

主力艦ノ代換及廢棄
伊太利國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數
一九三二				六
一九三三				六

「シエットラン
ド」海戰
前ノ型—後ノ型

一九二四					六	○
一九二五					六	○
一九二六					六	○
一九二七	三五、〇〇〇噸				六	○
一九二八	三五、〇〇〇噸				六	○
一九二九	三五、〇〇〇噸				六	○
一九三〇					六	○
一九三一	三五、〇〇〇噸	三五、〇〇〇噸	「ダンテ、アリギエーリ」(一九)		五	○
一九三二	四五、〇〇〇噸				五	○
一九三三	二五、〇〇〇噸	三五、〇〇〇噸	「レオナルド、ダ、ヴィンチ」(一九)		四	○
一九三四					四	○
一九三五		三五、〇〇〇噸	「ジュリオ、チエザーレ」(二一)		三	○
一九三六		四五、〇〇〇噸	「コンテ、デイ、カヴール」(二一)、「デヴァイリオ」(二一)		一	○
一九三七		二五、〇〇〇噸	「アンドレア、ドーリア」(二一)		○	○

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス

備考—伊太利國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
 ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘキコトヲ條件トス

主力艦ノ代換及廢棄
 日本國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュットラン」海戰前ノ型後ノ型
			肥前(二〇)、三笠(二〇)、鹿島(一六)、香取(一六)、薩摩(二二)、安藝(二一)、攝津(二〇)、生駒(一四)、伊吹(一二)、鞍馬(一一)、天城(〇)、赤城(〇)、加賀(〇)、土佐(〇)、高雄(〇)、愛宕(〇)、未タ起工セサル計畫中	八 二

一九三三	一九三三	ノ八隻(註)	八	二
一九三三	一九三三		八	二
一九二四	一九二四		八	二
一九二五	一九二五		八	二
一九二六	一九二六		八	二
一九二七	一九二七		八	二
一九二八	一九二八		八	二
一九二九	一九二九		八	二
一九三〇	一九三〇		八	二
一九三一	一九三一		八	二
一九三二	一九三二		八	二
一九三三	一九三三		八	二
一九三四	一九三四	金剛(一一)	八	二
一九三五	一九三五	比叡(一一)、榛名(二〇)	八	二
一九三六	一九三六	霧島(一一)	八	二
一九三七	一九三七	扶桑(一一)	八	二

一九二八	一九二八	山城(一一)	二	七
一九三九	一九三九	伊勢(一一)	一	八
一九四〇	一九四〇	日向(一一)	〇	九
一九四一	一九四一	長門(一一)	〇	九
一九四二	一九四二	陸奥(一一)	〇	九

(註) 日本國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上敷島及朝日ヲ非戰
 備考「い」「ろ」「は」「に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
 三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス
 翻用トシテ保有スルコトヲ得

第二款ノ一切ノ表ニ適用スヘキ備考

前記ノ軍艦廢棄順序ハ艦齡ニ依ル尤モ前掲諸表ニ依リ代換ノ開始スルトキハ
 各締約國ハ其ノ軍艦廢棄順序ヲ任意ニ變更スルコトヲ得但シ各年度ニ付表中
 ニ規定スル艦數ヲ廢棄スルコトヲ要ス

第四節

定義

三六

左ノ用語ハ本條約ノ適用ニ付テハ本節ニ定ムル意義ニ之ヲ解スヘキモノトス

主力艦

主力艦トハ將來建造スル軍艦ニ關スル限り基準排水量一萬噸(一萬百六十「メー
トル」式噸)ヲ超ユル軍艦又ハ口徑八吋(二百三「ミリ」メートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備ス
ル軍艦ニシテ航空母艦ニ非サルモノヲ謂フ

航空母艦

航空母艦トハ特ニ且專ラ航空機ヲ搭載スル目的ヲ以テ設計シタル基準排水量
一萬噸(一萬百六十「メー」トル)式噸)ヲ超ユル軍艦ヲ謂フ航空母艦ハ艦上ニ於テ航
空機ノ發着シ得ヘキ構造ヲ有スヘク且第九條又ハ第十條ノ何レカニ依リ許容
セラレタルモノ以上ノ有力ナル砲ヲ裝備スルノ設計構造ヲ有セサルコトヲ要
ス

基準排水量

軍艦ノ基準排水量トハ工事完成シ、乗員ヲ充實シ、機關ヲ附ケ且航海準備一切

ノ武器彈藥、齊備品、艤裝品、乘員用ノ糧食及清水、各種需品並戰時ニ於テ裝備スヘ
キ各種ノ要具ノ搭載ヲ含ム完成シ唯燃料及豫備罐水ヲ搭載セサル軍艦ノ排水
量ヲ謂フ

本條約中「噸」ノ語ハ「メー」トル「式噸」ノ語ヲ用キタル場合ヲ除クノ外二千二百四十
「ポンド」千十六「キログラム」ノ噸ヲ意味スルモノトス

現ニ完成シタル軍艦ハ各自國ノ計量法ニ依リ算定シタル現排水量噸數ヲ引續
キ有スルモノトス但シ「メー」トル「式噸」ヲ以テ排水量ヲ表示スル國ハ本條約ノ適
用ニ付テハ之ヲ二千二百四十「ポンド」ノ噸ヲ以テ算定シタル相當排水量ヲ有ス
ルニ過キサルモノト看做ス

今後完成スル軍艦ノ排水量噸數ハ右ニ定ムル基準排水量ニ付之ヲ算定スルモ
ノトス

第三章

雜則

第二十一條

本條約ノ有効期間中何レカノ締約國ニ於テ海軍力ニ依ル防衛ニ關スル自國安

三七

全ノ要件カ四圍ノ狀況ノ變化ニ依リ重大ナル影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニ於テハ締約國ハ該國ノ要求ニ基キ本條約ノ規定ヲ再議シ且相互ノ協定ニ依リ之カ修正ヲ爲スノ目的ヲ以テ會議ヲ開催スヘシ

技術上及科學上ノ將來ノ發達ヲ考量シ合衆國ハ他ノ締約國ト協議ノ上、右發達ニ適應スル爲本條約中如何ナル變更ヲ必要トスヘキカヲ審議スルノ目的ヲ以テ本條約實施ノ時ヨリ八年ヲ經過シタル後成ルヘク速ニ會合スヘキ締約國全部ノ會議ノ開催ヲ準備スヘシ

第二十二條

何レカノ締約國カ海軍力ニ依ル自國安全ノ防衛ニ影響ヲ及ホスト認ムル戰爭ニ從事スルニ至リタル場合ニ於テハ該締約國ハ他ノ締約國ニ通告ヲ爲シタル後第十三條及第十七條ニ規定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ右敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得但シ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ該時局カ右停止ヲ必要トスル性質ノモノナルコトヲ通告スルコトヲ要ス

前記ノ場合ニ於テ爾餘ノ締約國ハ本條約中相互ノ間ニ如何ナル一時的修正ヲ爲スヘキカニ關シ協定ヲ爲スノ目的ヲ以テ協議スヘシ該協議ノ結果各締約國ノ憲法上ノ手續ニ準據シテ正當ニ成立スル協定ヲ得ルニ至ラサルトキハ右締約國ノ何レノ一國モ他ノ締約國ニ通告ヲ與ヘタル上第十三條及第十七條ニ規

定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ該敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得

敵對行爲終了ノ上ハ締約國ハ本條約ノ規定中如何ナル修正ヲ爲スヘキカニ付審議スル爲會議ヲ開催スヘシ

第二十三條

本條約ハ千九百三十六年十二月三十一日迄效力ヲ有ス締約國中何レノ一國ヨリモ右期日ノ二年前ニ本條約ヲ廢止スルノ意思ヲ通告セサルトキハ本條約ハ締約國ノ一國カ廢止ノ通告ヲ爲シタル日ヨリ二年ヲ經過スル迄引續キ其ノ效力ヲ有スヘク爾後本條約ハ締約國全部ニ對シ廢止セラレハシ右通告ハ合衆國政府ニ對シ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘク同政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ締約國ニ送付シ且通告書ヲ受領シタル日ヲ之ニ通知スヘシ該通告ハ右受領ノ日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生スルモノトス

自ラ廢止ノ通告ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ通告ハ他ノ締約國ノ華盛頓駐劄外交代表者ニ對シテ之ヲ行フヘク該通告ハ右外交代表者ニ通牒ヲ爲シタル日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生シタル日ヨリ一年內ニ締約國全部ハ會議ヲ開催スヘシ

第二十四條

本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セラルヘク且批准書全部ノ寄託ノ日ヨリ實施セラルヘシ右ノ寄託ハ成ルヘク速ニ華盛頓ニ於テ之ヲ行フヘシ合衆國政府ハ批准書寄託ノ調書ノ認證謄本ヲ他ノ締約國ニ送付スヘシ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トシ合衆國政府ノ記錄ニ寄託保存セラルヘク其ノ認證謄本ハ同政府ヨリ他ノ締約國ニ之ヲ送付スヘシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名ス

千九百二十二年二月六日華盛頓市ニ於テ之ヲ作成ス

チャールズ、エヴァンス、ヒューズ
ヘンリー、カボット、ロッジ
オスカー、ダブリュー、アングラウツド
エリヒュー、ルード

(印) (印) (印) (印)

アーサー、ジュームス、バルフォア
リー、オヴ、フアラム
エー、シー、ゲデス
アール、エル、ボーデン
ジー、エフ、ピアス
ジョン、ダブリュー、サルモンド
アーサー、ジュームス、バルフォア
ヴィー、エス、スリニヴァサ、サストリ
アー、サロー
ジュスラン
カルロ、シァンツェル
ヴィー、ロランデイ、リッチ
ルイジ、アルベルティニ

加藤友三郎
幣原喜重郎

(印) (印)

埴原正直

四二

(印)



TRAITÉ

ENTRE

CINQ PUISSANCES

CONCERNANT

LA LIMITATION DE LEUR ARMEMENT NAVAL

SIGNÉ A WASHINGTON, LE 6 FÉVRIER 1922

TREATY

BETWEEN THE

FIVE POWERS

CONCERNING THE

LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT

SIGNED AT WASHINGTON, FEBRUARY 6, 1922

Les Etats-Unis d'Amérique, l'Empire Britannique, la France, l'Italie et le Japon;

Désireux de contribuer au maintien de la paix générale et de réduire le fardeau imposé par la compétition en matière d'armement;

Ont résolu, pour atteindre ce but, de conclure un traité limitant leur armement naval.

A cet effet, les Puissances Contractantes ont désigné pour leurs Plénipotentiaires:

Le Président des Etats-Unis d'Amérique:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citoyens des Etats-Unis;

Sa Majesté le Roi du Royaume-Uni de Grande Bretagne et d'Irlande et des Territoires britanniques au delà des mers, Empereur des Indes:

Le Très-Honorable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord Président du Conseil du Roi;

Le Très-Honorable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., Premier Lord de l'Amirauté.

Le Très-Honorable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire aux Etats-Unis d'Amérique;

et

pour le Dominion du Canada:

Le Très-Honorable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.:

The United States of America, the British Empire, France, Italy and Japan;

Desiring to contribute to the maintenance of the general peace, and to reduce the burdens of competition in armament;

Have resolved, with a view to accomplishing these purposes, to conclude a treaty to limit their respective naval armament, and to that end have appointed as their Plenipotentiaries;

The President of the United States of America:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citizens of the United States;

His Majesty the King of the United Kingdom of Great Britain and Ireland and of the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India:

The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord President of His Privy Council;

The Right Honourable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., First Lord of His Admiralty;

The Right Honourable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America;

and

for the Dominion of Canada:

The Right Honourable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.;

pour le Commonwealth d'Australie
Le Très-Honorable George Foster Pearce, Sénateur, Ministre de l'Intérieur et des Territoires;

pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande:
L'Honorable Sir John William Salmond, K. C., Juge à la Cour Suprême de Nouvelle-Zélande;

pour l'Union Sud-Africaine
Le Très-Honorable Arthur James Balfour, O. M., M. P.,

pour l'Inde:
Le Très-Honorable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Membre du Conseil d'Etat de l'Inde;

Le Président de la République Française:
M. Albert Sarraut, Député, Ministre des Colonies;
M. Jules J. Jusserand, Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire près le Président des Etats Unis d'Amérique, Grand Croix de l'Ordre National de la Légion d'Honneur;

Sa Majesté le Roi d'Italie:
L'Honorable Carlo Schanzer, Sénateur du Royaume;
L'Honorable Vittorio Rolandi Ricci, Sénateur du Royaume, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington;
L'Honorable Luigi Albertini, Sénateur du Royaume;

Sa Majesté l'Empereur du Japon:
Le Baron Tomosaburo Kato, Ministre de la Marine, Junii, Membre de la Première Classe

for the Commonwealth of Australia:
Senator the Right Honourable George Foster Pearce, Minister for Home and Territories;

for the Dominion of New Zealand:
The Honourable Sir John William Salmond, K. C., Judge of the Supreme Court of New Zealand;

for the Union of South Africa
The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P.;

for India:
The Right Honourable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Member of the Indian Council of State;

The President of the French Republic:
Mr. Albert Sarraut, Deputy, Minister of the Colonies;
Mr. Jules J. Jusserand, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America, Grand Cross of the National Order of the Legion of Honour;

His Majesty the King of Italy:
The Honourable Carlo Schanzer, Senator of the Kingdom;
The Honourable Vittorio Rolandi Ricci, Senator of the Kingdom, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington;
The Honourable Luigi Albertini, Senator of the Kingdom;

His Majesty the Emperor of Japan:
Baron Tomosaburo Kato, Minister for the Navy, Junii, a member of the First Class of

de l'Ordre Impérial du Grand Cordon du Soleil Levant avec la Fleur de Paulonia;

Le Baron Kijuro Shidehara, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington, Joshii, Membre de la Première Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;

M. Masanao Hanihara, Vice-Ministre des Affaires Etrangères, Jushii, Membre de la Seconde Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;

lesquels, après avoir échangé leurs pleins pouvoirs, reconnus en bonne et due forme, ont convenu des dispositions suivantes:

CHAPITRE I.

DISPOSITIONS GENERALES RELATIVES A LA LIMITATION DE L'ARMEMENT NAVAL.

ARTICLE I.

Les Puissances Contractantes conviennent de limiter leur armement naval ainsi qu'il est prévu au présent traité.

ARTICLE II.

Les Puissances Contractantes pourront conserver respectivement les navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1. A la mise en vigueur du présent traité et sous réserve des dispositions ci-dessous du présent article, il sera disposé comme il est prescrit au chapitre II, partie 2, de tous les autres navires de ligne des Etats-Unis, de l'Empire Britannique et du Japon, construits ou en construction

the Imperial Order of the Grand Cordon of the Rising Sun with the Paulownia Flower;

Baron Kijuro Shidehara, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington, Joshii, a member of the First Class of the Imperial Order of the Rising Sun;

Mr. Masanao Hanihara, Vice Minister for Foreign Affairs, Jushii, a member of the Second Class of the Imperial Order of the Rising Sun;

Who, having communicated to each other their respective full powers, found to be in good and due form, have agreed as follows:

CHAPTER I.

GENERAL PROVISIONS RELATING TO THE LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT.

ARTICLE I.

The Contracting Powers agree to limit their respective naval armament as provided in the present Treaty.

ARTICLE II.

The Contracting Powers may retain respectively the capital ships which are specified in Chapter II, Part 1. On the coming into force of the present Treaty, but subject to the following provisions of this Article, all other capital ships, built or building, of the United States, the British Empire and Japan shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

En sus des navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1, les Etats-Unis pourront achever et conserver deux navires actuellement en construction de la classe *West Virginia*. A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *North Dakota* et du *Delaware* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

L'Empire Britannique pourra, conformément au tableau de remplacement du chapitre II, partie 3, construire deux nouveaux navires de ligne ayant chacun un déplacement type maximum de 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques). A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *Thunderer*, du *King George V*, de l'*Ajax* et du *Centurion* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

ARTICLE III.

Sous réserve des dispositions de l'article II, les Puissances Contractantes abandonneront leur programme de construction de navires de ligne et ne construiront ou n'acquerront aucun nouveau navire de ligne, à l'exception du tonnage de remplacement qui pourra être construit ou acquis comme il est spécifié au chapitre II, partie 3.

Il sera disposé selon les prescriptions du chapitre II, partie 2, des navires remplacés conformément au chapitre II, partie 3.

ARTICLE IV.

Le tonnage total des navires de ligne de remplacement, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les Etats-Unis, 525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique

In addition to the capital ships specified in Chapter II, Part 1, the United States may complete and retain two ships of the *West Virginia* class now under construction. On the completion of these two ships the *North Dakota* and *Delaware* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

The British Empire may, in accordance with the replacement table in Chapter II, Part 3, construct two new capital ships not exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement each. On the completion of the said two ships the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

ARTICLE III.

Subject to the provisions of Article II, the Contracting Powers shall abandon their respective capital ship building programs, and no new capital ships shall be constructed or acquired by any of the Contracting Powers except replacement tonnage which may be constructed or acquired as specified in Chapter II, Part 3.

Ships which are replaced in accordance with Chapter II, Part 3, shall be disposed of as prescribed in Part 2 of that Chapter.

ARTICLE IV.

The total capital ship replacement tonnage of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 525,000 tons (533,400 metric tons); for the British Empire 525,000 tons (533,400 metric tons); for France 175,

525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour la France 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour l'Italie 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour le Japon 315.000 tonnes (320.040 tonnes métriques)

ARTICLE V.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire de ligne d'un déplacement type supérieur à 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

ARTICLE VI.

Aucun navire de ligne de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 16 pouces (406 millimètres).

ARTICLE VII.

Le tonnage total des navires porte-aéronefs, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les Etats-Unis 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques); pour la France 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour l'Italie 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour le Japon 81.000 tonnes (82.296 tonnes métriques).

ARTICLE VIII.

Le remplacement des navires porte-aéronefs n'aura lieu que selon les prescriptions du Chapitre II, partie 3, toutefois il est entendu que tous les navires porte-aéronefs construits ou en

000 tons (177,800 metric tons); for Italy 175,000 tons (177,800 metric tons); for Japan 315,000 tons (320,040 metric tons).

ARTICLE V.

No capital ship exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

ARTICLE VI.

No capital ship of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 16 inches (406 millimetres).

ARTICLE VII.

The total tonnage for aircraft carriers of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 135,000 tons (137,160 metric tons); for the British Empire 135,000 tons (137,160 metric tons); for France 60,000 tons (60,960 metric tons); for Italy 60,000 tons (60,960 metric tons); for Japan 81,000 tons (82,296 metric tons)

ARTICLE VIII.

The replacement of aircraft carriers shall be effected only as prescribed in Chapter II, Part 3, provided, however, that all aircraft carrier tonnage in existence or building on November 12,

construction à la date du 12 novembre 1921 sont considérés comme navires d'expérience et pourront être remplacés, quel que soit leur âge, dans les limites de tonnage total prévues à l'article VII.

ARTICLE IX

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire porte-aéronefs, d'un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

Toutefois chacune des Puissances Contractantes pourra, pourvu qu'elle ne dépasse pas son tonnage total alloué de navires porte-aéronefs, construire au plus deux navires porte-aéronefs, chacun d'un déplacement type maximum de 33.000 tonnes (33.528 tonnes métriques); à cet effet et pour des raisons d'économie, chacune des Puissances Contractantes pourra utiliser deux de ses navires, terminés ou non terminés, pris à son choix parmi ceux qui, sans cela, devraient être mis hors d'état de servir pour le combat aux termes de l'article II. L'armement d'un navire porte-aéronefs ayant un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques) sera soumis aux dispositions de l'article X, avec cette restriction que, si cet armement comporte un seul canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons ne pourra dépasser huit, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres).

1921, shall be considered experimental, and may be replaced, within the total tonnage limit prescribed in Article VII, without regard to its age.

ARTICLE IX

No aircraft carrier exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

However, any of the Contracting Powers may, provided that its total tonnage allowance of aircraft carriers is not thereby exceeded, build not more than two aircraft carriers, each of a tonnage of not more than 33,000 tons (33,528 metric tons) standard displacement, and in order to effect economy any of the Contracting Powers may use for this purpose any two of their ships, whether constructed or in course of construction, which would otherwise be scrapped under the provisions of Article II. The armament of any aircraft carriers exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be in accordance with the requirements of Article X, except that the total number of guns to be carried in case any of such guns be of a calibre exceeding 6 inches (152 millimetres), except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed eight.

ARTICLE X.

Aucun navire porte-aéronefs de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres). Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, si l'armement comprend des canons d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons pourra être de dix au maximum, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres). Si, au contraire, l'armement ne comprend pas de canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre des canons n'est pas limité. Dans les deux cas, le nombre des canons contre aéronefs et des canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres) n'est pas limité.

ARTICLE XI.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire, en dehors des navires de ligne ou des navires porte-aéronefs, de navires de combat d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité. Ne sont pas soumis aux limitations du présent article les bâtiments employés soit à des services de la flotte, soit à des transports de troupes, soit à toute autre participation à des hostilités qui ne serait pas celle d'un navire combattant, pourvu qu'ils ne soient pas spécifiquement construits comme navires combattants

ARTICLE X.

No aircraft carrier of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres) Without prejudice to the provisions of Article IX, if the armament carried includes guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre the total number of guns carried, except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed ten. If alternatively the armament contains no guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre, the number of guns is not limited. In either case the number of anti-aircraft guns and of guns not exceeding 5 inches (127 millimetres) is not limited.

ARTICLE XI

No vessel of war exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, other than a capital ship or aircraft carrier, shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers. Vessels not specifically built as fighting ships nor taken in time of peace under government control for fighting purposes, which are employed on fleet duties or as troop transports or in some other way for the purpose of assisting in the prosecution of hostilities otherwise than as fighting ships, shall not be within the limitations of this Article.

ou placés en temps de paix sous l'autorité du Gouvernement dans un but de combat.

ARTICLE XII.

En dehors des navires de ligne, aucun navire de combat de l'une quelconque des Puissances Contractantes, mis en chantier à l'avenir, ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres).

ARTICLE XIII.

Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, aucun navire à déclasser par application du présent Traité ne pourra redevenir navire de guerre.

ARTICLE XIV.

Il ne sera fait, en temps de paix, aucune installation préparatoire sur les navires de commerce en vue de les armer pour les convertir en navire de guerre; toutefois, il sera permis de renforcer les ponts pour pouvoir y monter des canons d'un calibre ne dépassant pas 6 pouces (152 millimètres)

ARTICLE XV.

Aucun navire de guerre construit pour une Puissance non contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante ne devra dépasser les limites de déplacement et d'armement prévues au présent Traité pour les navires similaires à construire par ou pour les Puissances Contractantes. Toutefois la limite du déplacement type des navires porte-aéronefs construits pour une Puissance non contractante ne devra en aucun cas dépasser 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques)

ARTICLE XII.

No vessel of war of any of the Contracting Powers, hereafter laid down, other than a capital ship, shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres).

ARTICLE XIII.

Except as provided in Article IX, no ship designated in the present Treaty to be scrapped may be recon-verted into a vessel of war.

ARTICLE XIV.

No preparations shall be made in merchant ships in time of peace for the installation of warlike armaments for the purpose of converting such ships into vessels of war, other than the necessary stiffening of decks for the mounting of guns not exceeding 6 inch (152 millimetres) calibre.

ARTICLE XV.

No vessel of war constructed within the jurisdiction of any of the Contracting Powers for a non-Contracting Power shall exceed the limitations as to displacement and armament prescribed by the present Treaty for vessels of a similar type which may be constructed by or for any of the Contracting Powers; provided, however, that the displacement for aircraft carriers constructed for a non-Contracting Power shall in no case exceed 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement.

ARTICLE XVI.

Si un navire de guerre, quel qu'il soit, est mis en construction pour le compte d'une Puissance non Contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante, cette dernière fera connaître, aussi rapidement que possible, aux autres Puissances Contractantes la date de signature du contrat de construction et celle de mise sur cale du navire; elle leur communiquera également les caractéristiques du navire, en se conformant au Chapitre 11, partie 3, section I (b), (4) et (5).

ARTICLE XVII.

Si l'une des Puissances Contractantes vient à être engagée dans une guerre, elle n'emploiera pas comme tels les navires de guerre quels qu'ils soient, en construction ou construits mais non livrés, dans le ressort de son autorité, pour le compte de toute autre Puissance.

ARTICLE XVIII.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne disposer ni à titre gratuit, ni à titre onéreux, ni autrement, de leurs navires de guerre, quels qu'ils soient, dans des conditions permettant à une Puissance étrangère de les employer comme tels.

ARTICLE XIX.

Les Etats-Unis, l'Empire Britannique et le Japon conviennent de maintenir, en matière de fortifications et de bases navales, le statu quo tel qu'il existe au jour de la signature du présent traité dans leurs territoires et possessions respectifs ci-après désignés:

(1) Les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, des Etats-Unis

ARTICLE XVI.

If the construction of any vessel of war for a non-Contracting Power is undertaken within the jurisdiction of any of the Contracting Powers, such Power shall promptly inform the other Contracting Powers of the date of the signing of the contract and the date on which the keel of the ship is laid; and shall also communicate to them the particulars relating to the ship prescribed in Chapter II, Part 3, Section I (b), (4) and (5).

ARTICLE XVII.

In the event of a Contracting Power being engaged in war, such Power shall not use as a vessel of war any vessel of war which may be under construction within its jurisdiction for any other Power, or which may have been constructed within its jurisdiction for another Power and not delivered.

ARTICLE XVIII.

Each of the Contracting Powers undertakes not to dispose by gift, sale or any mode of transfer of any vessel of war in such a manner that such vessel may become a vessel of war in the Navy of any foreign Power.

ARTICLE XIX.

The United States, the British Empire and Japan agree that the status quo at the time of the signing of the present Treaty, with regard to fortifications and naval bases, shall be maintained in their respective territories and possessions specified hereunder:

(1) The insular possessions which the United States now holds or may

dans l'océan Pacifique, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte des Etats-Unis, de l'Alaska et de la zone du Canal de Panama, non compris les Iles Aléoutiennes; (b) des Iles Hawaï;

(2) Hong-Kong et les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, de l'Empire Britannique dans l'Océan Pacifique, situées à l'est du méridien de 110° est de Greenwich, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte du Canada; (b) du Commonwealth d'Australie et de ses Territoires; (c) de la Nouvelle-Zélande;

(3) Les territoires et possessions insulaires du Japon dans l'Océan Pacifique, ci-après désignés: Iles Kouriles, Iles Bonin, Amami-Oshima, Iles Liou-Kiou, Formose et Pescadores, ainsi que tous territoires ou possessions insulaires futurs du Japon dans l'Océan Pacifique.

Le maintien du statu quo visé ci-dessus implique:

qu'il ne sera établi dans les territoires et possessions ci-dessus visés ni bases navales, ni fortifications nouvelles; qu'il ne sera prise aucune mesure de nature à accroître les ressources navales existant actuellement pour la réparation et l'entretien des forces navales; et qu'il ne sera procédé à aucun renforcement des défenses côtières des territoires et possessions ci-dessus visés. Toutefois, cette restriction n'empêchera pas la réparation et le remplacement de l'armement et des installations détériorés, selon la pratique des établissements navals et militaires en temps de paix.

ARTICLE XX.

Les règles de détermination du déplacement, telles qu'elles sont posées

hereafter acquiré in the Pacific Ocean, except (a) those adjacent to the coast of the United States, Alaska and the Panama Canal Zone, not including the Aleutian Islands, and (b) the Hawaiian Islands;

(2) Hongkong and the insular possessions which the British Empire now holds or may hereafter acquire in the Pacific Ocean, east of the meridian of 110° east longitude, except (a) those adjacent to the coast of Canada, (b) the Commonwealth of Australia and its Territories, and (c) New Zealand;

(3) The following insular territories and possessions of Japan in the Pacific Ocean, to wit: the Kurile Islands, the Bonin Islands, Amami-Oshima, the Loochoo Islands, Formosa and the Pescadores, and any insular territories or possessions in the Pacific Ocean which Japan may hereafter acquire.

The maintenance of the status quo under the foregoing provisions implies that no new fortifications or naval bases shall be established in the territories and possessions specified; that no measures shall be taken to increase the existing naval facilities for the repair and maintenance of naval forces, and that no increase shall be made in the coast defences of the territories and possessions above specified. This restriction, however, does not preclude such repair and replacement of worn-out weapons and equipment as is customary in naval and military establishments in time of peace.

ARTICLE XX.

The rules for determining tonnage displacement prescribed in Chapter II,

au Chapitre II, partie 4, s'appliqueront aux navires de chacune des Puissances Contractantes.

CHAPITRE II.

REGLES CONCERNANT L'EXECUTION DU TRAITE. DEFINITION DES TERMES EMPLOYES.

PARTIE I.

NAVIRES DE LIGNE QUI PEUVENT ETRE CONSERVES PAR LES PUISSANCES CONTRACTANTES.

Pourront être conservés par chacune des Puissances Contractantes, conformément à l'article II, les navires énumérés dans la présente partie.

Navires qui peuvent être conservés par les Etats-Unis.

Nom:	Tonnage.
Maryland.....	32,650
California.....	32,800
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvania.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Tonnage total.....	500,650

Quand les deux unités de la classe West Virginia seront achevées et quand le North Dakota et le Delaware seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par les Etats-Unis sera de 525,850 tonnes.

Part 4, shall apply to the ships of each of the Contracting Powers.

CHAPTER II.

RULES RELATING TO THE EXECUTION OF THE TREATY—DEFINITION OF TERMS.

PART I.

CAPITAL SHIPS WHICH MAY BE RETAINED BY THE CONTRACTING POWERS.

In accordance with Article II ships may be retained by each of the Contracting Powers as specified in this Part.

Ships which may be retained by the United States.

Name:	Tonnage.
Maryland.....	32,650
California.....	32,800
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvania.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Total tonnage.....	500,650

On the completion of the two ships of the West Virginia class and the scrapping of the North Dakota and Delaware, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the United States will be 525,850 tons.

Navires qui peuvent être conservés par l'Empire Britannique.

Nom:	Tonnage.
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	28,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Tonnage total.....	580,450

Quand les deux unités nouvelles à construire seront achevées, et quand le *Thunderer*, le *King George V*, l'*Ajax* et le *Centurion* seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par l'Empire Britannique sera de 558,950 tonnes.

Navires qui peuvent être conservés par la France.

Nom.	Tonnage (tonnes métriques).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Tonnage total.....	221,170

La France pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Ships which may be retained by the British Empire.

Name:	Tonnage
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	28,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Total tonnage.....	580,450

On the completion of the two new ships to be constructed and the scrapping of the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion*, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the British Empire will be 558,950 tons.

Ships which may be retained by France.

Name:	Tonnage (metric tons).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Total tonnage.....	221,170

France may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Navires qui peuvent être conservés par l'Italie.

Nom:	Tonnage (tonnes métriques).
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Pante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Tonnage total.....	182,800

L'Italie pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Navires qui peuvent être conservés par le Japon.

Nom:	Tonnage.
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Iiuga.....	31,260
Ise.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-so.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Miyel.....	27,500
Kongo.....	27,500
Tonnage total.....	301,320

PARTIE 2.

RÈGLES APPLICABLES AU DÉCLASSEMENT DES NAVIRES DE GUERRE.

Les règles suivantes devront être observées pour le déclassement des navires de guerre dont on doit disposer comme il est prescrit aux articles II et III.

- I. Un navire pour être déclassé doit être mis hors d'état de servir pour le combat.
- II. Pour obtenir ce résultat d'une manière définitive, on devra employer l'un des moyens suivants:
 - (a) submersion du navire sans possibilité de renflouement;

Ships which may be retained by Italy.

Name:	Tonnage (metric tons)
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Dante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Total tonnage.....	182,800

Italy may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Ships which may be retained by Japan.

Name:	Tonnage.
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Iiuga.....	31,260
Ise.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-So.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Miyel.....	27,500
Kongo.....	27,500
Total tonnage.....	301,320

PART 2

RULES FOR SCRAPPING VESSELS OF WAR.

The following rules shall be observed for the scrapping of vessels of war which are to be disposed of in accordance with Articles II and III.

- I. A vessel to be scrapped must be placed in such condition that it cannot be put to combatant use.
- II. This result must be finally effected in any one of the following ways:
 - (a) Permanent sinking of the vessel;

démolition. Cette opération devra toujours comprendre la destruction ou l'enlèvement de toutes machines, chaudières, curasses, ainsi que de tout le bordé de pont, de flanc et de fond;

- (c) transformation pour l'usage exclusif de cible. Dans ce cas, on devra observer au préalable toutes les dispositions du paragraphe III de la présente partie, à l'exception du sous-paragraphe (6), (dans la mesure nécessaire pour utiliser le navire comme cible mobile), et du sous-paragraphe (7). Aucune des Puissances Contractantes ne pourra conserver, pour s'en servir comme de cible, plus d'un navire de ligne à la fois.
- (d) Parmi les navires de ligne arrivant à partir de 1931 à l'époque de leur déclassement, la France et l'Italie sont autorisées à conserver chacune deux bâtiments navigants, qui seront affectés exclusivement aux écoles de canonage ou de torpilles. Pour la France, ces deux navires seront du type *Jean Bart*. Pour l'Italie, l'un d'eux sera le *Dante Alighieri*, le second sera du type *Giulio Cesare*. La France et l'Italie s'engagent à ne plus utiliser comme navires de guerre les navires ainsi conservés dont les blockhaus devront alors être enlevés et détruits.

III. (a) Sous réserve des exceptions spéciales de l'Article IX, quand

(b) Breaking the vessel up. This shall always involve the destruction or removal of all machinery, boilers and armour, and all deck, side and bottom plating,

(c) Converting the vessel to target use exclusively. In such case all the provisions of paragraph III of this Part, except subparagraph (6), in so far as may be necessary to enable the ship to be used as a mobile target, and except subparagraph (7), must be previously complied with. Not more than one capital ship may be retained for this purpose at one time by any of the Contracting Powers.

(d) Of the capital ships which would otherwise be scrapped under the present Treaty in or after the year 1931, France and Italy may each retain two sea-going vessels for training purposes exclusively, that is, as gunnery or torpedo schools. The two vessels retained by France shall be of the *Jean Bart* class, and of those retained by Italy one shall be the *Dante Alighieri*, the other of the *Giulio Cesare* class. On retaining these ships for the purpose above stated, France and Italy respectively undertake to remove and destroy their conning-towers, and not to use the said ships as vessels of war.

III. (a) Subject to the special exceptions contained in Article

un navire doit être déclassé, la première opération du déclassement, qui consiste à mettre le navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, doit être immédiatement commencée.

(b) Un navire sera considéré comme mis hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat quand on aura enlevé et mis à terre ou détruit à bord du navire:

(1) tous les canons et parties essentielles de canons, les hunes de direction de tir et les parties tournantes de toutes les tourelles barbettes et fermées;

(2) toute la machinerie hydraulique ou électrique de manoeuvre des affûts;

(3) tous les instruments et les télémètres de direction de tir;

(4) toutes les munitions, les explosifs et les mines;

(5) toutes les torpilles, cônes de charge et tubes lance-torpilles;

(6) toutes les installations de télégraphie sans fil;

(7) le blockhaus et toute la cuirasse de flanc, ou, si l'on préfère, tout l'appareil moteur principal;

(8) toutes les plateformes d'atterrissage et d'envol et tous autres accessoires d'aviation.

IV. Les délais dans lesquels les opérations de déclassement des navires devront être accomplies sont les suivants:

IX, when a vessel is due for scrapping, the first stage of scrapping, which consists in rendering a ship incapable of further warlike service, shall be immediately undertaken.

(b) A vessel shall be considered incapable of further warlike service when there shall have been removed and landed, or else destroyed in the ship:

(1) All guns and essential portions of guns, fire-control tops and revolving parts of all barbetstes and turrets;

(2) All machinery for working hydraulic or electric mountings;

(3) All fire-control instruments and range-finders;

(4) All ammunition, explosives and mines;

(5) All torpedoes, warheads and torpedo tubes;

(6) All wireless telegraphy installations;

(7) The conning tower and all side armour, or alternatively all main propelling machinery; and

(8) All landing and flying-off platforms and all other aviation accessories.

IV. The periods in which scrapping of vessels is to be effected are as follows:

- (a) S'il s'agit de navires à déclasser d'après le premier alinéa de l'article II, les opérations nécessaires pour mettre ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être achevés dans un délai de six mois et le déclassement devra être complètement terminé dans un délai de dix-huit mois, l'un et l'autre à dater de la mise en vigueur du présent traité.
- (b) S'il s'agit de navires à déclasser d'après les alinéas 2 et 3 de l'Article II ou d'après l'Article III, les opérations nécessaires pour mettre chacun de ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être commencées au plus tard à la date de l'achèvement du navire de remplacement et devront être terminées dans les six mois qui suivront cette date. Le déclassement, opéré conformément au paragraphe II de la présente Partie, devra être terminé dans les dix-huit mois qui suivront l'achèvement du navire de remplacement. Si, cependant, l'achèvement du nouveau navire est retardé, on devra commencer, au plus tard quatre ans après sa mise sur cale, les opérations néces-

- (a) In the case of vessels to be scrapped under the first paragraph of Article II, the work of rendering the vessels incapable of further warlike service, in accordance with paragraph III of this Part, shall be completed within six months from the coming into force of the present Treaty, and the scrapping shall be finally effected within eighteen months from such coming into force.
- (b) In the case of vessels to be scrapped under the second and third paragraphs of Article II, or under Article III, the work of rendering the vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced not later than the date of completion of its successor, and shall be finished within six months from the date of such completion. The vessel shall be finally scrapped, in accordance with paragraph II of this Part, within eighteen months from the date of completion of its successor. If, however, the completion of the new vessel be delayed, then the work of rendering the old vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced within four years

saïres pour mettre le vieux navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, conformément au paragraphe III de la présente Partie, et ce travail devra être terminé en six mois. Le vieux navire devra être définitivement déclassé, dans les conditions du paragraphe II de la présente partie, dix-huit mois après le commencement des travaux de ladite mise hors d'état.

from the laying of the keel of the new vessel, and shall be finished within six months from the date on which such work was commenced, and the old vessel shall be finally scrapped in accordance with paragraph II of this Part within eighteen months from the date when the work of rendering it incapable of further warlike service was commenced.

PARTIE 3.
REPLACEMENTS.

Le remplacement des navires de ligne et des navires porte-aéronefs se fera selon les règles de la section I et des tableaux de la section II de la présente Partie.

PART 3.
REPLACEMENT.

The replacement of capital ships and aircraft carriers shall take place according to the rules in Section I and the tables in Section II of this Part.

SECTION I.

RÈGLES DE REMPLACEMENT.

(a) Sous réserve des cas prévus à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront être remplacés, vingt ans après le jour de leur achèvement, par des constructions neuves, mais seulement dans les limites prévues aux articles IV et VII. Sous réserve des exceptions prévues à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les nouveaux navires ne pourront être mis sur cale que dix-sept ans après l'achèvement de l'unité à remplacer. Toutefois il est entendu qu'à l'exception des navires visés au troisième alinéa de l'article II et à l'excepti-

SECTION I.

RULES FOR REPLACEMENT.

(a) Capital ships and aircraft carriers twenty years after the date of their completion may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be replaced by new construction, but within the limits prescribed in Article IV and Article VII. The keels of such new construction may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be laid down not earlier than seventeen years from the date of completion of the tonnage to be replaced, provided, however, that no capital ship tonnage, with the exception of the ships referred to in the third para-

tion du tonnage de remplacement spécifié à la section II de la présente partie, aucun navire de ligne ne sera mis sur cale avant l'expiration d'une période de dix ans à partir du 12 novembre 1921.

(b) Chacune des Puissances Contractantes communiquera aussi rapidement que possible aux autres les informations suivantes:

- (1) les noms des navires de ligne et des navires porte-aéronefs qui doivent être remplacés par des constructions neuves;
- (2) la date de l'autorisation gouvernementale donnée pour la construction des navires de remplacement;
- (3) la date de mise sur cale de chaque navire de remplacement;
- (4) le déplacement type en tonnes et en tonnes métriques de chaque unité nouvelle à mettre sur cale ainsi que ses principales dimensions, à savoir: longueur à la flottaison; largeur maximum à ou sous la ligne de flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type;
- (5) la date d'achèvement de chaque nouvelle unité et son déplacement type en tonnes et en tonnes métriques, ainsi que ses principales dimensions à l'époque de l'achèvement, à savoir: longueur à la ligne de flottaison; largeur maximum à ou sous la flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type.

(c) Les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront, en cas de perte ou de destruction accidentelle,

graph of Article II, and the replacement tonnage specifically mentioned in Section II of this Part, shall be laid down until ten years from November 12, 1921.

(b) Each of the Contracting Powers shall communicate promptly to each of the other Contracting Powers the following information:

- (1) The names of the capital ships and aircraft carriers to be replaced by new construction;
- (2) The date of governmental authorization of replacement tonnage;
- (3) The date of laying the keels of replacement tonnage;
- (4) The standard displacement in tons and metric tons of each new ship to be laid down, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement;
- (5) The date of completion of each new ship and its standard displacement in tons and metric tons, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement, at time of completion.

(c) In case of loss or accidental destruction of capital ships or aircraft carriers, they may immediately be

être remplacés immédiatement, dans les limites de tonnage spécifiées aux articles IV et VII, par des constructions neuves effectuées conformément aux dispositions du présent Traité; le programme de remplacement prévu pour la Puissance intéressée sera considéré comme ayant été avancé en ce qui concerne le navire perdu ou détruit.

(d) La seule refonte autorisée pour les navires de ligne et les navires porte-aéronefs conservés consistera à munir ces unités de moyens de défense contre les attaques aériennes et sous-marines dans les conditions suivantes: les Puissances Contractantes pourront, dans ce but, ajouter aux navires existants des souffrages et caissons, ainsi que des ponts de protection contre les attaques aériennes, pourvu que l'augmentation de déplacement qui en résultera pour les navires ne dépasse pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) pour chaque navire. Sera interdit tout changement dans la cuirasse de flanc, le calibre et le nombre des canons de l'armement principal, ainsi que tout changement dans son plan général d'installation. Il est fait exception:

- (1) pour la France et l'Italie, qui pourront, dans les limites de l'augmentation de déplacement accordée pour le soufflage, accroître les cuirassements de protection ainsi que le calibre des canons portés par leurs navires de ligne existants, à la condition que ce calibre ne dépasse pas 16 pouces (406 millimètres);
- (2) pour l'Empire Britannique, qui sera autorisé à achever sur le *Renown*, les modifications de cuirassement déjà commencées et provisoirement arrêtées.

replaced by new construction subject to the tonnage limits prescribed in Articles IV and VII and in conformity with the other provisions of the present Treaty, the regular replacement program being deemed to be advanced to that extent.

(d) No retained capital ships or aircraft carriers shall be reconstructed except for the purpose of providing means of defense against air and submarine attack, and subject to the following rules: The Contracting Powers may, for that purpose, equip existing tonnage with bulge or blister or anti-air attack deck protection, providing the increase of displacement thus effected does not exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) displacement for each ship. No alterations in side armor, in calibre, number or general type of mounting of main armament shall be permitted except:

- (1) in the case of France and Italy, which countries within the limits allowed for bulge may increase their armor protection and the calibre of the guns now carried on their existing capital ships so as not to exceed 16 inches (406 millimeters) and
- (2) the British Empire shall be permitted to complete, in the case of the *Renown*, the alterations to armor that have already been commenced but temporarily suspended.

SECTION II.

REPLACEMENT ET DECLASSEMENT DES NAVIRES DE LIGNE.

ETATS-UNIS.

Années.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pro-	Post-
				Jutland.	
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A. B.#	Delaware (12), North Dakota (12).....	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931		C. D.		15	3
1932		E. F.		15	3
1933		G.		12	5
1934		H. I.	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22),	9	7
1935		J.	Arkansas (23), Texas (21), New York (21).....	7	7
1936		K. L.	Nevada (20), Oklahoma (20).....	5	10
1937		M.	Arizona (21), Pennsylvania (21).....	4	11
1938		N. O.	Mississippi (21).....	2	13
1939		P. Q.	New Mexico (21), Idaho (20).....	1	14
1940			Tennessee (20).....	0	15
1941			California (20), Maryland (20).....	0	15
1942			2 Navires de la classe "West Virginia".....	0	15

* Les Etats-Unis pourront conserver l'Oregon et l'Illinois pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b).
2 de la classe "West Virginia."

NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35.000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

SECTION II.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.

UNITED STATES.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A. B.#	Delaware (12), North Dakota (12).....	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931		C. D.		15	3
1932		E. F.		15	3
1933		G.		12	5
1934		H. I.	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22),	9	7
1935		J.	Arkansas (23), Texas (21), New York (21).....	7	8
1936		K. L.	Nevada (20), Oklahoma (20).....	5	10
1937		M.	Arizona (21), Pennsylvania (21).....	4	11
1938		N. O.	Mississippi (21).....	2	13
1939		P. Q.	New Mexico (21), Idaho (20).....	1	14
1940			Tennessee (20).....	0	15
1941			California (20), Maryland (20).....	0	15
1942			2 ships West Virginia class.....	0	15

* The United States may retain the Oregon and Illinois for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
Two West Virginia class

NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

REPLACEMENT ET DÉCLASSEMENT DES NAVIRES DE LIGNE.
EMPIRE BRITANNIQUE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Inflexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (9), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 en construction ou en projet.*	21	1
1922	A, B#			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925		A, B.	King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D			17	3
1932	E, F			17	3
1933	G.			17	3
1934	H, I.	C, D.	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J.	E, F.	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L.	G.	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M.	H, I.	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O.	J.	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q.	K, L.	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M.	Renown (24).	1	14
1941		N, O.	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q.	A (17), B (17).	0	15

* L'Empire Britannique pourra conserver le Colossus et le Collingwood pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b).
2 navires de 35,000 tonnes de déplacement type.
Note.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
BRITISH EMPIRE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Inflexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (9), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 building or projected.*	21	1
1922	A, B#			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925		A, B.	King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D.			17	3
1932	E, F.			17	3
1933	G.			17	3
1934	H, I.	C, D.	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J.	E, F.	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L.	G.	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M.	H, I.	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O.	J.	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q.	K, L.	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M.	Renown (24).	1	14
1941		N, O.	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q.	A (17), B (17).	0	15

* The British Empire may retain the Colossus and Collingwood for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
Two 35,000-ton ships, standard displacement.
Note.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement laid down and completed in the year specified.

REPLACEMENT ET DECLASSERMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
FRANCE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922				7	0
1923				7	0
1924				7	0
1925				7	0
1926				7	0
1927	35,000 tonnes.			7	0
1928				7	0
1929	35,000 tonnes.			7	0
1930		35,000 tonnes.	Jean Bart (17), Courbet (17).	5	(*)
1931	35,000 tonnes.			5	(*)
1932	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	France (18).	4	(*)
1933	35,000 tonnes.			4	(*)
1934		35,000 tonnes.	Paris (20), Bretagne (20).	2	(*)
1935		35,000 tonnes.	Provence (20).	1	(*)
1936		35,000 tonnes.	Lorraine (20).	0	(*)
1937				0	(*)
1938				0	(*)
1939				0	(*)
1940				0	(*)
1941				0	(*)
1942				0	(*)

* Dans les limites du tonnage total; nombre non fixé.

NOTE.—La France réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
FRANCE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922				7	0
1923				7	0
1924				7	0
1925				7	0
1926				7	0
1927	35,000 tons.			7	0
1928				7	0
1929	35,000 tons.			7	0
1930		35,000 tons.	Jean Bart (17), Courbet (17).	5	(*)
1931	35,000 tons.			5	(*)
1932	35,000 tons.	35,000 tons.	France (18).	4	(*)
1933	35,000 tons.			4	(*)
1934		35,000 tons.	Paris (20), Bretagne (20).	2	(*)
1935		35,000 tons.	Provence (20).	1	(*)
1936		35,000 tons.	Lorraine (20).	0	(*)
1937				0	(*)
1938				0	(*)
1939				0	(*)
1940				0	(*)
1941				0	(*)
1942				0	(*)

* Within tonnage limitations; number not fixed.

NOTE.—France expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and that the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REPLACEMENT ET DECLASSERMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
ITALIE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses)	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				6	0
1923.....				6	0
1924.....				6	0
1925.....				6	0
1926.....				6	0
1927.....	35,000 tonnes.			6	0
1928.....				6	0
1929.....	35,000 tonnes.			6	0
1930.....				6	0
1931.....	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932.....	45,000 tonnes.			5	(*)
1933.....	25,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934.....				4	(*)
1935.....		35,000 tonnes.	Giulio Cesare (21)	3	(*)
1936.....		45,000 tonnes.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937.....		25,000 tonnes.	Andrea Doria (21)	0	(*)

* Dans les limites du tonnage total, nombre non fixé

NOTE.—L'Italie réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes, et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
ITALY.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained—Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				6	0
1923.....				6	0
1924.....				6	0
1925.....				6	0
1926.....				6	0
1927.....	35,000 tons.			6	0
1928.....				6	0
1929.....	35,000 tons.			6	0
1930.....				6	0
1931.....	35,000 tons.	35,000 tons.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932.....	45,000 tons.			5	(*)
1933.....	25,000 tons.	35,000 tons.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934.....				4	(*)
1935.....		35,000 tons.	Giulio Cesare (21)	3	(*)
1936.....		45,000 tons.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937.....		25,000 tons.	Andrea Doria (21)	0	(*)

*Within tonnage limitations; number not fixed.

NOTE.—Italy expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REPLACEMENT ET DECLASSERMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
JAPON.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèse).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre.	Post.
				Jutland	
			Hizen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tosa (0), Takao (0), Atago (0), Projet de programme 8 navires non sur cale.*	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A.			8	2
1932	B.			8	2
1933	C.			8	2
1934	D.	A.	Kongo (21)	7	3
1935	E.	B.	Hiyei (21), Haruna (20)	5	4
1936	F.	C.	Kirishima (21)	4	5
1937	G.	D.	Fuso (22)	3	6
1938	H.	E.	Yamashiro (21)	2	7
1939	I.	F.	Ise (22)	1	8
1940		G.	Hiuga (22)	0	9
1941		H.	Nagato (21)	0	9
1942		I.	Mutsu (21)	0	9

* Le Japon pourra conserver le *Shikishima* et l'*Asahi* pour des destinations autres que le combat, en se conformant aux dispositions de la partie 2, III, (b).
NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS
JAPAN

Year	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses)	Ships retained. Summary	
				Pre.	Post.
				Jutland.	
			Hizen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tosa (0), Takao (0), Atago (0), Projected program 8 ships not laid down.*	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A.			8	2
1932	B.			8	2
1933	C.			8	2
1934	D.	A.	Kongo (21)	7	3
1935	E.	B.	Hiyei (21), Haruna (20)	5	4
1936	F.	C.	Kirishima (21)	4	5
1937	G.	D.	Fuso (22)	3	6
1938	H.	E.	Yamashiro (21)	2	7
1939	I.	F.	Ise (22)	1	8
1940		G.	Hiuga (22)	0	9
1941		H.	Nagato (21)	0	9
1942		I.	Mutsu (21)	0	9

* Japan may retain the *Shikishima* and *Asahi* for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

NOTE VISANT TOUS LES TABLEAUX
DE LA SECTION II

Dans les tableaux précédents, l'ordre suivant lequel sont inscrits les navires à déclasser est celui de leur âge. Il est entendu que, quand les remplacements commenceront conformément aux dits tableaux, l'ordre de déclassement des navires de chaque Puissance Contractante pourra être changé au gré de cette Puissance, pourvu qu'elle déclassé chaque année le nombre de navires indiqué par ces tableaux.

PARTIE 4
DEFINITIONS

Dans le présent Traité, les expressions suivantes doivent s'entendre respectivement avec le sens ci-après.

NAVIRE DE LIGNE

Un navire de ligne, en ce qui concerne les navires à construire dans l'avenir, est un navire de guerre autre qu'un navire porte-aéronefs, dont le déplacement type est supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), ou qui porte un canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres).

NAVIRE PORTE-AERONEFS

Un navire porte-aéronefs est un navire de guerre d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), spécialement et exclusivement destiné à porter des aéronefs. Il doit être construit de manière qu'un aéronef puisse y prendre son vol ou s'y poser. Son plan et sa construction ne doivent pas lui permettre de porter un armement plus

NOTE APPLICABLE TO ALL THE TABLES
IN SECTION II

The order above prescribed in which ships are to be scrapped is in accordance with their age. It is understood that when replacement begins according to the above tables the order of scrapping in the case of the ships of each of the Contracting Powers may be varied at its option; provided, however, that such Power shall scrap in each year the number of ships above stated.

PART 4.
DEFINITIONS

For the purposes of the present Treaty, the following expressions are to be understood in the sense defined in this Part.

CAPITAL SHIP

A capital ship, in the case of ships hereafter built, is defined as a vessel of war, not an aircraft carrier, whose displacement exceeds 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, or which carries a gun with a calibre exceeding 8 inches (203 millimetres)

AIRCRAFT CARRIER

An aircraft carrier is defined as a vessel of war with a displacement in excess of 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement designed for the specific and exclusive purpose of carrying aircraft. It must be so constructed that aircraft can be launched therefrom and landed thereon, and not designed and constructed for carrying a more powerful armament

puissant que celui autorisé soit par l'article IX, soit par l'article X, selon le cas

DEPLACEMENT TYPE.

Le déplacement type d'un navire est le déplacement du navire achevé, avec son équipage complet, ses machines et chaudières, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres, eau douce pour l'équipage, approvisionnements divers, outillages et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible et sans eau de réserve pour l'alimentation des machines et chaudières.

Le mot tonne employé dans le présent traité sans la qualification de "métrique" désigne une tonne de 2.240 lbs. ou 1.016 kilogrammes.

Les navires actuellement achevés continueront à figurer avec le déplacement qui leur est attribué selon leur système national d'évaluation. Toutefois, lorsqu'une Puissance compte le déplacement de ses navires en tonnes métriques, elle sera considérée, pour l'application du présent Traité, comme ne possédant que le tonnage équivalent en tonnes de 2.240 lbs.

Les navires achevés par la suite seront comptés pour leur déplacement type tel qu'il est défini au 1^{er} alinéa de la présente définition.

CHAPITRE III.

DISPOSITIONS DIVERSES.

ARTICLE XXI

Si, pendant la durée du présent traité, une Puissance contractante estime que les exigences de sa sécurité

than that allowed to it under Article IX or Article X as the case may be

STANDARD DISPLACEMENT

The standard displacement of a ship is the displacement of the ship complete, fully manned, engined, and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions and fresh water for crew, miscellaneous stores and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel or reserve feed water on board.

The word "ton" in the present Treaty, except in the expression "metric tons", shall be understood to mean the ton of 2240 pounds (1016 kilos).

Vessels now completed shall retain their present ratings of displacement tonnage in accordance with their national system of measurement. However, a Power expressing displacement in metric tons shall be considered for the application of the present Treaty as owning only the equivalent displacement in tons of 2240 pounds.

A vessel completed hereafter shall be rated at its displacement tonnage when in the standard condition defined herein.

CHAPTER III.

MISCELLANEOUS PROVISIONS.

ARTICLE XXI.

If during the term of the present Treaty the requirements of the national security of any Contracting Power in

nationale, en ce qui touche la défense navale, se trouvent matériellement affectées par des circonstances nouvelles, les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence sur sa demande pour examiner à nouveau les dispositions du présent traité et s'entendre sur les amendements à y apporter.

En raison des possibilités de progrès dans l'ordre technique et scientifique, les Etats-Unis provoqueront la réunion d'une Conférence de toutes les Puissances Contractantes après les avoir consultées. Cette Conférence se tiendra aussitôt que possible après l'expiration d'une période de huit ans à dater de la mise en vigueur du présent traité et examinera les changements à y apporter, s'il y a lieu, pour faire face à ces progrès.

ARTICLE XXII.

Si l'une des Puissances Contractantes se trouve engagée dans une guerre qui, dans son opinion, affecte sa sécurité nationale du côté de la mer, cette Puissance pourra, sur avis préalable donné aux autres Puissances Contractantes, se dégager, pour la durée des hostilités, de ses obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII. Toutefois, cette Puissance devra notifier aux autres Puissances Contractantes que la situation est d'un caractère assez critique pour exiger cette mesure.

Dans ce cas, les autres Puissances Contractantes échangeront leurs vues pour arriver à un accord sur les dérogations temporaires que l'exécution du traité devrait comporter, s'il y a lieu, en ce qui les concerne. Si cet échange

respect of naval defence are, in the opinion of that Power, materially affected by any change of circumstances, the Contracting Powers will, at the request of such Power, meet in conference with a view to the reconsideration of the provisions of the Treaty and its amendment by mutual agreement.

In view of possible technical and scientific developments, the United States, after consultation with the other Contracting Powers, shall arrange for a conference of all the Contracting Powers which shall convene as soon as possible after the expiration of eight years from the coming into force of the present Treaty to consider what changes, if any, in the Treaty may be necessary to meet such developments.

ARTICLE XXII.

Whenever any Contracting Power shall become engaged in a war which in its opinion affects the naval defence of its national security, such Power may after notice to the other Contracting Powers suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty other than those under Articles XIII and XVII, provided that such Power shall notify the other Contracting Powers that the emergency is of such a character as to require such suspension.

The remaining Contracting Powers shall in such case consult together with a view to agreement as to what temporary modifications if any should be made in the Treaty as between themselves. Should such consultation not

de vues ne conduit pas à un accord, conclu régulièrement selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues, chacune d'entre elles pourra, après en avoir donné notification aux autres, se dégager, pour la durée des hostilités, des obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII.

A la cessation des hostilités les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence pour examiner les modifications à apporter, s'il y a lieu, au présent Traité.

ARTICLE XXIII.

Le présent traité restera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1936. S'il n'est fait notification deux ans avant cette date par aucune des Puissances Contractantes de son intention de mettre fin au traité, ce dernier restera en vigueur jusqu'à l'expiration d'un délai de deux ans à dater du jour où l'une des Puissances Contractantes notifiera son intention de mettre fin au traité. En ce cas le traité prendra fin pour toutes les Puissances Contractantes. La notification devra être faite par écrit au Gouvernement des Etats-Unis, qui devra immédiatement en transmettre aux autres Puissances une copie authentique avec l'indication de la date de réception. La notification sera considérée comme faite à cette date, à partir de laquelle elle produira son effet. Dans le cas où le Gouvernement des Etats-Unis notifierait son intention de mettre fin au Traité, cette notification sera remise aux représentants diplomatiques à Washington des autres Puissances Contractantes; la

produce agreement, duly made in accordance with the constitutional methods of the respective Powers, any one of said Contracting Powers may, by giving notice to the other Contracting Powers, suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty, other than those under Articles XIII and XVII.

On the cessation of hostilities the Contracting Powers will meet in conference to consider what modifications, if any, should be made in the provisions of the present Treaty.

ARTICLE XXIII.

The present Treaty shall remain in force until December 31st, 1936, and in case none of the Contracting Powers shall have given notice two years before that date of its intention to terminate the Treaty, it shall continue in force until the expiration of two years from the date on which notice of termination shall be given by one of the Contracting Powers, whereupon the Treaty shall terminate as regards all the Contracting Powers. Such notice shall be communicated in writing to the Government of the United States, which shall immediately transmit a certified copy of the notification to the other Powers and inform them of the date on which it was received. The notice shall be deemed to have been given and shall take effect on that date. In the event of notice of termination being given by the Government of the United States, such notice shall be given to the diplomatic representatives at Washington of the other Contracting Powers, and the notice shall

notification sera considérée comme faite et prendra effet à la date de la communication aux dits représentants diplomatiques.

Toutes les Puissances Contractantes devront se réunir en Conférence dans le délai d'un an à partir de la date à laquelle aura pris effet la notification, par une des Puissances, de son intention de mettre fin au Traité.

ARTICLE XXIV.

Le présent traité sera ratifié par les Puissances Contractantes selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues. Il prendra effet à la date du dépôt de toutes les ratifications, dépôt qui sera effectué à Washington, le plus tôt qu'il sera possible. Le Gouvernement des Etats-Unis remettra aux autres Puissances Contractantes une copie authentique du procès verbal de dépôt des ratifications.

Le présent traité, dont les textes français et anglais feront foi, restera déposé dans les archives du Gouvernement des Etats-Unis; des expéditions authentiques en seront remises par ce Gouvernement aux autres Puissances Contractantes.

be deemed to have been given and shall take effect on the date of the communication made to the said diplomatic representatives.

Within one year of the date on which a notice of termination by any Power has taken effect, all the Contracting Powers shall meet in conference.

ARTICLE XXIV.

The present Treaty shall be ratified by the Contracting Powers in accordance with their respective constitutional methods and shall take effect on the date of the deposit of all the ratifications, which shall take place at Washington as soon as possible. The Government of the United States will transmit to the other Contracting Powers a certified copy of the procès-verbal of the deposit of ratifications.

The present Treaty, of which the French and English texts are both authentic, shall remain deposited in the archives of the Government of the United States, and duly certified copies thereof shall be transmitted by that Government to the other Contracting Powers.

En foi de quoi les Plénipotentiaires sus-nommés ont signé le présent Traité

Fait à Washington le six février mil-neuf-cent-vingt-deux.

In faith whereof the above-named Plenipotentiaries have signed the present Treaty.

Done at the City of Washington the sixth day of February, One Thousand Nine Hundred and Twenty-Two.

- [L. S.] CHARLES EVANS HUGHES
- [L. S.] HENRY CABOT LODGE
- [L. S.] OSCAR W UNDERWOOD
- [L. S.] ELIHU ROOT
- [L. S.] ARTHUR JAMES BALFOUR
- [L. S.] LEE OF FAREHAM.
- [L. S.] A. C. GEDDES
- R. L. BORDEN [L. S.]
- G. F. PEARCE [L. S.]
- JOHN W SALMOND [L. S.]
- ARTHUR JAMES BALFOUR [L. S.]
- V S SRINIVASA SASTRI [L. S.]
- A SARRAUT [L. S.]
- JUSSERAND [L. S.]
- CARLO SCHANZER [L. S.]
- [L. S.] V. ROLANDI RICCI
- [L. S.] LUIGI ALBERTINI
- [L. S.] T. KATO
- [L. S.] K. SHIDEHARA
- [L. S.] M. HANIHARA

十二日
十四日
十九日

外甲二六

大正十一年四月十七日 内閣書記官長 内閣書記官

内閣總理大臣 齋藤

法制局長官

外務大臣 原

大藏大臣 若

海軍大臣 若

文部大臣 若

逓信大臣 若

内務大臣 若

陸軍大臣 若

司法大臣 若

農商大臣 若

鐵道大臣 若

別紙外務大臣上奏海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件ヲ審査スルニ右ハ上奏ノ通御批准ヲ奏請セラレ可然ト認ム

法制局長官

追テ本件ハ列國交渉ノ條約ナルヲ
以テ樞密院ニ御諮詢相成可然ト
認ム

急

外一四

條一機密第四四號

大正十一年四月十二日

外務大臣伯爵 内 田 康



内閣總理大臣子爵 高 橋 是 清 殿

海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件

帝國、亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太利國ノ各全權委員力亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ大正十一年二月六日署名調印シタル海軍軍備制限ニ關スル條約ノ御批准ノ儀ニ關シ別紙ノ通上奏致候間至急可然御取計相成度此段申進候也

外一四

外務省

追而別紙トシテ前記ノ條約ノ正文及譯文各四通添附致置候

帝國、亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太利國ノ各全權委員カ亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ大正十一年二月六日署名調印シタル海軍軍備制限ニ關スル條約御批准相成候様仕度別紙御批准案相添へ此段謹テ奏ス

大正十一年四月十二日

外務大臣伯爵 内 田 康



天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル

日本國皇帝（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕帝國、亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太利國ノ各全權
委員カ亞米利加合衆國華盛頓ニ於テ大正十一年二月六日署名調印
シタル海軍軍備制限ニ關スル條約ヲ閱覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス
神武天皇即位紀元二千五百八十二年大正 年 月 日
ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國 璽

攝政 名

外務省

○
海軍軍艦製造二冊
大正十一年

外務大臣

外務省

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ
一般ノ平和ノ維持ニ貢獻シ且軍備競争ノ負擔ヲ輕減セムコトヲ望ミ
右目的ヲ達成スル爲各自ノ海軍軍備ヲ制限スルノ條約ヲ締結スルコトニ決シ
之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

- 合衆國人民「チアールス、エヴァンス、ヒューズ」
- 同 「ヘンリー、カボット、ロッジ」
- 同 「オズカー、ダブリュー、アングラウツド」
- 同 「エリヒュー、ルート」

大不列顛愛爾聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下

- 樞密院議長國會議員「アーサー、シエームス、バルフォア」
- 海軍大臣男爵「リ、オヴ、フェアラム」
- 亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「サー、オークラランド、キアンブル、ゲデス」

加奈陀

「ロバート、レアド、ボーデン」

濠太利聯邦

内務大臣上院議員「ジョージ、フォスター、ピアス」

新西蘭

新西蘭最高法院判事「サー、ジョン、ウィリアム、サルモンド」

南阿弗利加聯邦

國會議員「アーサー、ジェームス、バルフォア」

印度

印度參議院議員「ヴァリニングマン、サンカラナラヤナ、スリニヴァサ、サストリ」

佛蘭西共和國大統領

殖民大臣下院議員「アルベール、サロー」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ジュール、ジ、ジュスラン」

伊太利國皇帝陛下

參議院議員「カルロ、シアンツェル」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使參議院議員「ヴィントリオ、ロランデイ、リッ
ナ」

參議院議員「ルイジ、アルベルタイニ」

日本國皇帝陛下

海軍大臣男爵加藤友三郎

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎

外務次官植原正直

右各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一章

海軍軍備ノ制限ニ關スル一般規定

第一條

締約國ハ本條約ノ規定ニ從ヒ各自ノ海軍軍備ヲ制限スヘキコトヲ約定ス

第二條

締約國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ヲ各自保有スルコトヲ得本條約實施ノ上ハ合衆國、英帝國及日本國ノ既成又ハ建造中ノ他ノ一切ノ主力艦ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ本條中ノ左ノ諸規定ヲ留保ス

合衆國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ノ外現ニ建造中ノ「ヴェスト、ヴァージーニ」
「級」二隻ヲ完成シ之ヲ保有スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「ノース、ダコータ」及
「デラウエーア」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

英帝國ハ第二章第三節ノ代換表ニ從ヒ基準排水量各三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超エサル新主力艦二隻ヲ建造スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「サンダラー」、「キング、ジョージ」五世、「エーシアックス」及「センテューリオン」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第三條

第二條ノ規定ヲ留保シ締約國ハ各自ノ主力艦建造計畫ヲ廢止スヘク又締約國ハ第二章第三節ニ掲クル所ニ從ヒ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ヘキ代換噸數以外ニ新主力艦ヲ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ス

第二章第三節ニ從ヒ代換セラレタル軍艦ハ同章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第四條

各締約國ノ主力艦合計代換噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、英帝國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、佛蘭西國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、伊太利國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、日本國三十一萬五千噸(三十二萬四千「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條

基準排水量三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超ユル主力艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス

第六條

何レノ締約國ノ主力艦モ口徑十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備ス

第七條

各締約國ノ航空母艦合計噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國十三萬五千噸十三萬七千六百七十「メートル」式噸、英帝國十三萬五千噸十三萬七千六百七十「メートル」式噸、佛蘭西國六萬噸六萬九千六百六十「メートル」式噸、伊太利國六萬噸六萬九千六百六十「メートル」式噸、日本國八萬一千噸八萬二千二百九十六「メートル」式噸ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條

航空母艦ノ代換ハ第二章第三節ノ規定ニ從フノ外之ヲ行フコトヲ得ス但シ千九百二十一年十一月十二日ニ現存シ又ハ建造中ノ一切ノ航空母艦ハ之ヲ試験的ノモノト看做スヘク且其ノ艦齡ノ如何ニ拘ラス第七條ニ規定スル合計噸數ノ範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得

第九條

基準排水量二萬七千噸二萬七千四百三十二「メートル」式噸ヲ超ユル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之ヲ建造ヲ許スコトヲ得ス

尤モ各締約國ハ其ノ航空母艦ノ割當合計噸數ヲ超エサル限り基準排水量各三萬三千噸三萬三千五百二十八「メートル」式噸ヲ超エサル航空母艦二隻以内ヲ建

造スルコトヲ得ヘク又經費節約ノ爲各締約國ハ第二條ノ規定ニ依リ廢棄スヘキ既成又ハ建造中ノ主力艦中ノ二隻ヲ右目的ニ利用スルコトヲ得基準排水量二萬七千噸二萬七千四百三十二「メートル」式噸ヲ超ユル航空母艦ノ武裝ハ第十條ノ規定ニ準據スヘシ但シ備砲中ニ口徑六吋百五十二「ミリメートル」ヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋百二十七「ミリメートル」以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ又備砲中ニ口徑六吋百五十二「ミリメートル」ヲ超ユルモノナキトキハ砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ右何レノ場合ニ於テモ航空機防禦砲及口徑五吋百二十七「ミリメートル」ヲ超エサル砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ

第十條

何レノ締約國ノ航空母艦モ口徑八吋二百三「ミリメートル」ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス備砲中ニ口徑六吋百五十二「ミリメートル」ヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋百二十七「ミリメートル」以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ又備砲中ニ口徑六吋百五十二「ミリメートル」ヲ超ユルモノナキトキハ砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ右何レノ場合ニ於テモ航空機防禦砲及口徑五吋百二十七「ミリメートル」ヲ超エサル砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ

第十一條

主力艦又ハ航空母艦以外ノ軍艦ニシテ基準排水量一萬噸一萬六百六十「メートル」式噸ヲ超ユルモノハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ建造セシメ若

ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス特ニ戰鬪用艦船トシテ建造セラレタルモノニ非サル船舶又ハ戰鬪用トシテ平時政府ノ管理ノ下ニ置カレタルモノニ非サル船舶ニシテ艦隊要務又ハ軍隊輸送ノ爲其ノ他戰鬪用艦船トシテ爲ス以外ノ敵對行爲ノ遂行ヲ幫助スル爲使用セララルモノハ本條ノ制限ヲ受ケサルモノトス

第十二條

將來起工セララルヘキ何レノ締約國ノ軍艦モ主力艦ヲ除クノ外口徑八吋(二百三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス

第十三條

第九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本條約中ニ廢棄スヘキモノトシテ指定セラレタル軍艦ハ再ヒ之ヲ軍艦ニ變更スルコトヲ得ス

第十四條

商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武装ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ス但シ口徑六吋(百五十二ミリメートル)ヲ超エサル砲ヲ裝備スル爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條

何レノ締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ建造スル軍艦モ締約國ノ建造シ

又ハ建造セシムル同型ノ軍艦ニ付本條約ニ規定スル排水量及武装ニ關スル制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ非締約國ノ爲ニ建造スル航空母艦ノ排水量ハ如何ナル場合ニ於テモ基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二メートル式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條

締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ軍艦ヲ建造スルトキハ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ契約締結ノ日及軍艦ノ龍骨据附ノ日ヲ速ニ通報シ且第二章第三節第一款(ロ)ノ(四)及(五)ニ規定スル軍艦ニ關スル細目ヲ通知スヘシ

第十七條

締約國ハ戰爭ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造中ノ軍艦又ハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造シタルモ引渡ヲ了セサル軍艦ヲ軍艦トシテ使用スルコトヲ得ス

第十八條

各締約國ハ贈與賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス

第十九條

合衆國英帝國及日本國ハ左ニ掲クル各自ノ領土及屬地ニ於テ要塞及海軍根據

「以外」ハ「以外」於テ誤

ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス特ニ戦闘用艦船トシテ建造セラレタルモノニ非サル船舶又ハ戦闘用トシテ平時政府ノ管理ノ下ニ置カレタ要務又ハ軍隊輸送ノ爲其ノ他戦闘用艦船トシ補助スル爲使用セララルモノハ本條ノ制限ヲ

引テ走コセラルヘキ何レノ締約國ノ軍艦モ主力艦ヲ除クノ外口径八吋(二百三「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス

第十三條

第九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本條約中ニ廢棄スヘキモノトシテ指定セラレタル軍艦ハ再ヒ之ヲ軍艦ニ變更スルコトヲ得ス

第十四條

商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武装ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ス但シ口径六吋(百五十二「ミリメートル」)ヲ超エサル砲ヲ裝備スル爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條

何レノ締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ建造スル軍艦モ締約國ノ建造シ

又ハ建造セシムル同型ノ軍艦ニ付本條約ニ規定スル排水量及武装ニ關スル制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ非締約國ノ爲ニ建造スル航空母艦ノ排水量ハ如何ナル場合ニ於テモ基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條

締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ軍艦ヲ建造スルトキハ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ契約締結ノ日及軍艦ノ龍骨据附ノ日ヲ速ニ通報シ且第二章第三節第一款(ロ)ノ(四)及(五)ニ規定スル軍艦ニ關スル細目ヲ通知スヘシ

第十七條

締約國ハ戰爭ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造中ノ軍艦又ハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造シタルモノ引渡ヲ了セサル軍艦ヲ軍艦トシテ使用スルコトヲ得ス

第十八條

各締約國ハ贈與賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス

第十九條

合衆國、英帝國及日本國ハ左ニ掲クル各自ノ領土及屬地ニ於テ要塞及海軍根據

地ニ關シ本條約署名ノ時ニ於ケル現狀ヲ維持スヘキコトヲ約定ス

(一) 合衆國カ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)合衆國、アラスカ及巴奈馬運河地帯ノ海岸ニ近接スル島嶼(アリューシアン)諸島ヲ包含セス(ロ)布哇諸島ヲ除ク

(二) 香港及英帝國カ東經百十度以東ノ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)加奈陀海岸ニ近接スル島嶼(ロ)濠

(三) 太平洋ニ於ケル日本國ノ下記ノ島嶼タル領土及屬地即チ千島諸島、小笠原諸島、奄美大島、琉球諸島、臺灣及澎湖諸島竝日本國カ將來取得スルコトアルヘキ太平洋ニ於ケル島嶼タル領土及屬地

前記ノ現狀維持トハ右ニ掲クル領土及屬地ニ於テ新ナル要塞又ハ海軍根據地ヲ建設セサルヘキコト、海軍力ノ修理及維持ノ爲現存スル海軍諸設備ヲ増大スルノ處置ヲ執ラサルヘキコト竝右ニ掲クル領土及屬地ノ沿岸防禦ヲ増大セサルヘキコトヲ謂フ但シ右制限ハ海軍及陸軍ノ設備ニ於テ平時慣行スルカ如キ磨損セル武器及裝備ノ修理及取替ヲ妨クルコトナシ

第二十條

第二章第四節ニ規定スル排水量噸數算定ノ規則ハ各締約國ノ軍艦ニ之ヲ適用ス

第二章

本條約實施ニ關スル規則及用語ノ定義

第一節

締約國ノ保有シ得ヘキ主力艦

各締約國ハ第二條ノ規定ニ從ヒ本節ニ掲クル軍艦ヲ保有スルコトヲ得合衆國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
「メーリランド」	三二、六〇〇
「カリフォルニア」	三二、三〇〇
「テネシー」	三二、三〇〇
「アイダホ」	三二、〇〇〇
「ニューメキシコ」	三二、〇〇〇
「ミシシッピ」	三二、〇〇〇
「アリゾナ」	三一、四〇〇

「ペンシルヴェーニア」	三一、四〇〇
「オクラホーマ」	二七、五〇〇
「ネヴァーダ」	二七、五〇〇
「ニュー・ヨーク」	二七、〇〇〇
「テキサス」	二七、〇〇〇
「アーカンソー」	二六、〇〇〇
「ワイオミング」	二六、〇〇〇
「フロリダ」	二一、八二五
「ユター」	二一、八二五
「ノース、ダコータ」	二〇、〇〇〇
「デラウェア」	二〇、〇〇〇
合計噸數	五〇〇、六五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ「ウエスト、ヴァージーニア」級ニ隻ヲ完成シ且「ノース、ダコータ」及「デラウェア」ヲ廢棄シタル上ハ合衆國ノ保有スル合計噸數ハ五十二萬五千八百五十噸ナリ

英帝國ノ保有シ得ヘキ軍艦

「ローヤル、ソヴェレン」	二五、七五〇
「ローヤル、オーク」	二五、七五〇
「リヴェンジ」	二五、七五〇
「レヅリューション」	二五、七五〇
「ラミリース」	二五、七五〇
「マラヤ」	二七、五〇〇
「ヴァリアント」	二七、五〇〇
「バーラム」	二七、五〇〇
「クウィン、エリザベス」	二七、五〇〇
「ウァースバイト」	二七、五〇〇
「ベンボ」	二五、〇〇〇
「エンペラー、オヴ、インディア」	二五、〇〇〇
「アイアン、デューク」	二五、〇〇〇
「マーバラ」	二五、〇〇〇
「フッド」	四一、二〇〇
「リナウン」	二六、五〇〇
「リバルス」	二六、五〇〇

- 「タイガー」 二八、五〇〇
- 「サンダラー」 二二、五〇〇
- 「キング、ジョージ」五世 二三、〇〇〇
- 「エーシアックス」 二三、〇〇〇
- 「センチュリーオン」 二三、〇〇〇

合計噸數

五八〇、四五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ建造セラルヘキ新軍艦二隻ヲ完成シ且「サンダラー」、「キング、ジョージ」五世、「エーシアックス」及「センチュリーオン」ヲ廢棄シタル上ハ英帝國ノ保有スル合計噸數ハ五十五萬八千九百五十噸ナリ

佛蘭西國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名

噸數(メートル式噸)

- 「ブルターニュ」 二二、五〇〇
- 「ロレーヌ」 二二、五〇〇
- 「プロヴァンス」 二二、五〇〇
- 「パリ」 二二、五〇〇
- 「フランス」 二二、五〇〇
- 「シアン、メール」 二二、五〇〇

合計噸數

二二一、一七〇

佛蘭西國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

伊太利國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名

噸數(メートル式噸)

- 「アンドレア、ドーリア」 二二、七〇〇
- 「カイオ、デッイリオ」 二二、七〇〇
- 「コンテ、デイ、カヴァール」 二二、五〇〇
- 「ジュリオ、チエヂーレ」 二二、五〇〇
- 「レオナルド、ダ、ヴィンチ」 二二、五〇〇
- 「ダンテ、アリギエーリ」 一九、五〇〇
- 「ローマ」 一二、六〇〇
- 「ナポリ」 一二、六〇〇

「ヴィットーリオ、エマヌエレ」
 「レジナ、エレナ」

合計噸數 一八二、八〇〇

伊太利國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

日本國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
陸奥	三三、八〇〇
長門	三三、八〇〇
日向	三一、二六〇
伊勢	三一、二六〇
山城	三〇、六〇〇
扶桑	三〇、六〇〇
霧島	二七、五〇〇
榛名	二七、五〇〇
比叡	二七、五〇〇
金剛	二七、五〇〇

合計噸數 三〇一、三二〇

第二節

軍艦廢棄ニ關スル規則

第二條及第三條ノ規定ニ從ヒ處分スヘキ軍艦ノ廢棄ニ關シテハ左ノ諸規則ヲ遵守スヘシ

一 廢棄スル軍艦ハ之ヲ戰鬥用ニ供シ得サル状態ニ置クコトヲ要ス

二 右結果ハ左ノ方法ノ何レカノ一ニ依リ確定的ニ之ヲ實現スルコトヲ要ス

(イ) 軍艦ヲ永久ニ沈没セシムルコト

(ロ) 軍艦ヲ解體スルコト 解體ハ必ス一切ノ機械、汽罐及裝甲並一切ノ甲板、舷側及船底ノ鈹ノ破壞又ハ撤去ヲ含ムヘキモノトス

(ハ) 軍艦ヲ專ラ標的用ニ變更スルコト 此ノ場合ニ於テ本節第三號ノ一切ノ規定ハ豫メ之ヲ遵守スルコトヲ要ス但シ(六)軍艦ヲ移動標的トシテ使用スルニ必要ナル限度ニ於テ及(七)ハ此ノ限ニ在ラス各締約國ハ右目的ノ爲同時ニ一隻ヲ超ユル主力艦ヲ保有スルコトヲ得ス

(ニ) 佛蘭西國及伊太利國ハ千九百三十一年又ハ其ノ以後ニ於テ本條約ニ

依リテ廢棄スヘキ主力艦中ヨリ專ラ練習用ノ爲即チ砲術學校又ハ水雷學校用トシテ航海可能ノモノ二隻ヲ各自保有スルコトヲ得佛蘭西國ノ保有スル右軍艦二隻ハ「ジャン、パール」級ノモノタルヘク又伊太利國ノ保有スルモノノ内一隻ハ「ダンテ、アリギエーリ」ニシテ他ノ一隻ハ「ジネリオ、チエザーレ」級ノモノタルヘシ佛蘭西國及伊太利國ハ前記目的ノ爲右軍艦ヲ保有スルニ當リ其ノ司令塔ヲ撤去破壞シ且該軍艦ヲ軍艦トシテ使用セサルヘキコトヲ各自約定ス

三(イ)

第九條ニ掲クル例外ヲ留保シ軍艦カ廢棄ノ時期ニ到達シタルトキハ直ニ廢棄ノ第一期作業即チ軍艦ヲ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト爲スコトニ著手スヘシ

(ロ)

軍艦ハ左ノ諸物件ヲ撤去陸揚シ又ハ艦内ニ於テ破壊シタルトキハ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト認メラルヘシ
部 (一) 一切ノ砲及砲ノ主要部分、砲火指揮所並一切ノ露砲塔及砲塔ノ旋回

(二)

水壓又ハ電力ヲ以テ作動スル砲架ノ操作ニ必要ナル一切ノ機械

(三)

一切ノ砲火指揮用具及距離測定儀

(四)

一切ノ彈藥、爆藥及機雷

(五)

一切ノ魚雷、實用頭部及發射管

(六)

一切ノ無線電信裝置

(七)

司令塔及一切ノ舷側裝甲又ハ此等ノ代リニ一切ノ主要推進機械

(八)

一切ノ飛行機發著用甲板及其ノ他一切ノ航空用附屬物件

四

(イ)

第二條第一項ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ヲ本條約實施ノ時ヨリ六月内ニ完了シ且其ノ廢棄ヲ右實施ノ時ヨリ八月内ニ全部完了スヘシ

(ロ)

第二條第二項及第三項ニ依リ又ハ第三條ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ其ノ代艦完成ノ日以前ニ之ヲ開始シ右完成ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘシ該軍艦ハ其ノ代艦完成ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ但シ新艦ノ完成遲延スルトキハ本節第三號ニ從ヒ舊艦ヲ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ新艦ノ龍骨据附後四年内ニ之ヲ開始シ該作業開始ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘク且舊艦ハ爾後戰鬪任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業開始ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ

第三節

代換

主力艦及航空母艦ノ代換ハ本節第一款ノ規則及第二款ノ表ニ依リ之ヲ行フヘシ

第一款

代換ニ關スル規則

(イ) 主力艦及航空母艦ニシテ其ノ完成ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルモノハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外新艦建造ニ依リ第四條及第七條ニ定ムル範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得右新艦ノ龍骨ハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外代換セラルヘキ舊艦ノ完成ノ日ヨリ十七年ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ据附クルコトヲ得ス但シ主力艦ハ第二條第三項ニ掲クル軍艦及本節第二款ニ掲クル代換噸數ヲ除クノ外千九百二十一年十一月十二日ヨリ十年間ハ之ヲ起工スルコトヲ得ス

(ロ) 各締約國ハ速ニ左ノ事項ヲ他ノ各締約國ニ通知スヘシ

- (一) 新艦建造ニ依リ代換セラルヘキ主力艦及航空母艦ノ艦名
- (二) 代艦建造ニ對スル政府公認ノ日
- (三) 代艦ノ龍骨据附ノ日
- (四) 起工スル各新艦ノ噸及メートル式噸ニ依ル基準排水量並主要寸法即チ水線全長水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (五) 各新艦完成ノ日完成ノ時ニ於ケル噸及メートル式噸ニ依ル基準排水量並完成ノ時ニ於ケル主要寸法即チ水線全長水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (ハ) 主力艦又ハ航空母艦亡シ又ハ不慮ノ事變ニ因リ破壊セラレタルトキハ第四條及第七條ニ定ムル噸數ノ範圍内ニ於テ且本條約ノ他ノ規定ニ從ヒ新艦建造ニ依リ直ニ之ヲ代換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ正規ノ代換計畫ハ該艦ノ關スル限り之ヲ繰上ケタルモノト認ム
- (ニ) 保有スヘキ主力艦又ハ航空母艦ハ空中及水中ノ攻撃ニ對スル防禦裝置ヲ施スノ目的ヲ以テスル場合ニ限り下記ノ規定ニ從ヒ之ヲ改造スルコトヲ得即チ締約國ハ右目的ノ爲各現存艦ニ付其ノ増加スヘキ排水量三千噸(三千四百十八)メートル式噸ヲ超エサル限り「バルヂ」若ハ「ブリスター」又ハ空中攻撃ニ對スル防禦甲板ヲ之ニ裝備スルコトヲ得舷側裝甲又ハ主砲ノ口徑數若ハ一般

裝備法ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス

(一) 佛蘭西國及伊太利國ハ「バルヂ」ニ關シ増加スルコトヲ得ル噸數ノ範圍内ニ於テ其ノ現存主力艦ノ裝甲ヲ増加シ且其ノ備砲ノ口徑ヲ十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超エサル限り増大スルコトヲ得

(二) 英帝國ハ「リナウン」ニ付テハ既ニ開始シ一時中止シタル裝甲變更工事ヲ完了スルコトヲ得

第二款
主力艦ノ代換及廢棄
合衆國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュネット」 「海戰」 前ノ型 後ノ型
			「メーン」(110)、「ミズーリ」(110)、「ヴァージーニア」(117)、「ネブラスカ」(117)、「ジョージア」(117)	一七
				一

			「ニュー、ジャージー」(117)、「ロード、アイランド」(117)、「カネタイカット」(117)、「ルイジアーナ」(117)、「ヴァーモント」(116)、「カンザス」(116)、「ミネソータ」(116)、「ニュー、ハンプシャー」(115)、「サウス、カロライナ」(111)、「ミシガン」(111)、「ワシントン」(10)、「サウス、ダコータ」(10)、「インディアナ」(10)、「モンターナ」(10)、「ノース、カロライナ」(10)、「アイオワ」(10)、「マッサチューセッツ」(10)、「レキシントン」(10)、「コンスタチューション」(10)、「コンステレーション」(10)、「サラトガ」(10)、「レンジャー」(10)、「ユナイテッド、ステーツ」(10) (註)	
--	--	--	--	--

一九三二	「い、ろ」(註二)	「デラウェア」(二二)、「ノース、ダ コーダ」(一一)	二四	一五	三
一九三三				一五	三
一九三四				一五	三
一九三五				一五	三
一九三六				一五	三
一九三七				一五	三
一九三八				一五	三
一九三九				一五	三
一九四〇				一五	三
一九四一				一五	三
一九四二				一五	三
一九三二	「は、に」	「フロリダ」(二三)、「ユター」(二三) 「ワイオミング」(二二)		一二	五
一九三三	「ほ、へ」	「アーカンソー」(二二)、「テキサス」 「ニュー、ヨーク」(一一)		一五	三
一九三四	「ち、り」			一五	三
一九三五	「ぬ」			一五	三

一九三六	「る、を」	「ネヴァーダ」(二〇)、「オクラホー マ」(一〇)		七	八
一九三七	「わ」	「アリゾナ」(一一)、「ペンシル ヴェーニア」(一一)		五	〇
一九三八	「か、よ」	「ミシシッピ」(一一)		四	一
一九三九	「た、れ」	「ニュー、メキシコ」(一一)、「アイダ ホー」(一〇)		二	三
一九四〇	「わ」	「テネシー」(一〇)		一	四
一九四一	「か、よ」	「カリフォルニア」(一〇)、「メーリ ランド」(一〇)		〇	一五
一九四二	「た、れ」	「ウェスト、ヴァージニア」級二隻		〇	一五

(註一) 合衆國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上、オレゴン及イリ
ノイヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得

(註二) 「ウェスト、ヴァージニア」級二隻
備考「い、ろ」は「に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代換及廢棄
英帝國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「シエットランド」海戦前ノ型—後ノ型
			「コンモンウェルス」(一六)、「アガメンノン」(一二)、「ドレッドノート」(一五)、「ベレロフォン」(一二)、「セント、ヴィンセント」(一一)、「インフレクシブル」(一二)、「シュバール」(一二)、「ネブチオン」(一〇)、「ハーキョリーズ」(一〇)、「インドミタブル」(一二)、「テメレーア」(一二)、「ニュー、ジラランド」(九)、「ライオン」(九)、「プリンセス、ロイヤル」(九)、「コンケラー」(九)	一一 一

一九二二	「い」、「ろ」(註二)		「モナーク」(九)、「オライオン」(九)、「オーストレリア」(八)、「エジンコート」(七)、「エリン」(七) 建造又ハ計畫中ノ四隻(註一)	一一 一一 一一
一九二五		「い」、「ろ」	「キング、ジョージ」五世(一二)、「エーリアックス」(一一)、「センチュリーオン」(一一)、「サンダラー」(一二)	一七 一一 一一
一九二六				一七
一九二七				一七
一九二八				一七
一九二九				一七
一九三〇				一七
一九三一	「は」、「に」			一七
一九三二	「ほ」、「へ」			一七

一九三三	「シ」	「アイアン、デューク」(一〇)、「マー バラ」(一〇)、「エンペラー、オヴ、イ ンディア」(一〇)、「ベンボー」(一〇)、「 ダイガー」(一一)、「クワイン、エリ ザベス」(一〇)、「ウァースバイト」 (一〇)、「バーラム」(一〇)	一七 一三
一九三四	「ち、り」	「マラヤ」(一〇)、「ローヤル、ソヴェ レン」(一〇)	七 八
一九三六	「る、を」	「リヴェンジ」(一一)、「レヅリユ ション」(一一)	五 〇
一九三七	「わ」	「ローヤル、オーク」(一一)	四 一
一九三八	「か、よ」	「ヴァリアント」(一一)、「リバルス」 (一一)	二 一
一九三九	「た、れ」	「リナウン」(一四)	一 四
一九四〇	「わ」	「ラミリース」(一四)、「フッド」(一 一)	〇 一五
一九四一	「か、よ」		〇

一九四二 「た、れ」 「い(一七)、ろ(一七)」 〇 一五

(註一) 英帝國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上「コロツサス」及「コ
リンウッド」ヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得

(註二) 基準排水量三萬五千噸艦二隻
備考「い、ろ、は、に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水
量三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代換及廢棄
佛蘭西國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「シ」ト「ラ」 「海戰」 前ノ型 後ノ型
一九三二				七
一九三三				七
一九三四				七

一九二五				七	〇
一九二六				七	〇
一九二七	三五、〇〇〇噸			七	〇
一九二八				七	〇
一九二九	三五、〇〇〇噸			七	〇
一九三〇		三五、〇〇〇噸	「シアン、バール」(一七)、「クールベ ー」(一七)	五	〇
一九三一	三五、〇〇〇噸			五	〇
一九三二	三五、〇〇〇噸			四	〇
一九三三	三五、〇〇〇噸			四	〇
一九三四		三五、〇〇〇噸	「バリー」(一〇)、「プルトーニユ」(一 〇)	二	〇
一九三五		三五、〇〇〇噸	「プロヴァンス」(一〇)	一	〇
一九三六		三五、〇〇〇噸	「ローヌ」(一〇)	〇	〇
一九三七				〇	〇
一九三八				〇	〇
一九三九				〇	〇

一九四〇				〇	〇
一九四一				〇	〇
一九四二				〇	〇

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス
備考―佛蘭西國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサ
ルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘ
キコトヲ條件トス

主力艦ノ代換及廢棄
伊太利國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數
一九三二				六
一九三三				六
一九三三				〇

「シエットラン
」海戰
前ノ型後ノ型

一九二四				六	○
一九二五				六	○
一九二六				六	○
一九二七	三五、〇〇〇噸			六	○
一九二八				六	○
一九二九	三五、〇〇〇噸			六	○
一九三〇				六	○
一九三一	三五、〇〇〇噸		「ダンテ、アリギエーリ」(一九)	五	○
一九三二	四五、〇〇〇噸			五	○
一九三三	二五、〇〇〇噸		「レオナルド、ダ、ヴィンチ」(一九)	四	○
一九三四				四	○
一九三五			「ジュリオ、チエザーレ」(一一)	三	○
一九三六			「コンテ、デイ、カヴール」(一一)、 「デッ イリオ」(一一)	一	○
一九三七			「アンドレア、ドーリア」(一一)	○	○

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス

備考—伊太利國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサ
ルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘ
キコトヲ條件トス

主力艦ノ代換及廢棄
日本國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數
			肥前(二〇)、三笠(二〇)、鹿島(一 六)、香取(一六)、薩摩(一一)、安藝 (一一)、攝津(一〇)、生駒(一四)、伊 吹(一一)、鞍馬(一一)、天城(〇)、赤 城(〇)、加賀(〇)、土佐(〇)、高雄(〇)、 愛宕(〇)、未タ起工セサル計畫中	八 二

一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七	一九三八	一九三九	一九四〇	一九四一	一九四二
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

ノ八隻(註)

金剛(一一)
 比叡(一一)、榛名(一〇)
 霧島(一一)
 扶桑(一一)

一九三八	一九三九	一九四〇	一九四一	一九四二
ち	り	り	ち	り
二	一	〇	〇	〇
七	八	九	九	九

(註) 日本國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上敷島及朝日ヲ非戰
 備考「い」ろ「は」に等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
 三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

第二款ノ一切ノ表ニ適用スヘキ備考

前記ノ軍艦廢棄順序ハ艦齡ニ依ル尤モ前掲諸表ニ依リ代換ノ開始スルトキハ
 各締約國ハ其ノ軍艦廢棄順序ヲ任意ニ變更スルコトヲ得但シ各年度ニ付表中
 ニ規定スル艦數ヲ廢棄スルコトヲ要ス

第四節

定義

左ノ用語ハ本條約ノ適用ニ付テハ本節ニ定ムル意義ニ之ヲ解スヘキモノトス

主力艦

主力艦トハ將來建造スル軍艦ニ關スル限り基準排水量一萬噸(一萬百六十七メートル)式噸ヲ超ユル軍艦又ハ口徑八吋(二百三三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備スル軍艦ニシテ航空母艦ニ非サルモノヲ謂フ

航空母艦

航空母艦トハ特ニ且專ラ航空機ヲ搭載スル目的ヲ以テ設計シタル基準排水量一萬噸(一萬百六十七メートル)式噸ヲ超ユル軍艦ヲ謂フ航空母艦ハ艦上ニ於テ航空機ノ發著シ得ヘキ構造ヲ有スヘク且第九條又ハ第十條ノ何レカニ依リ許容セラレタルモノ以上ノ有力ナル砲ヲ裝備スルノ設計構造ヲ有セサルコトヲ要ス

基準排水量

軍艦ノ基準排水量トハ工事完成シ乗員ヲ充實シ機關ヲ据附ケ且航海準備一切

ノ武器彈藥、齊備品、艤裝品、乘員用ノ糧食及清水、各種需品、並戰時ニ於テ裝備スヘキ各種ノ要具ノ搭載ヲ含ム完成シ唯燃料及豫備罐水ヲ搭載セサル軍艦ノ排水量ヲ謂フ

本條約中「噸」ノ語ハ「メートル」式噸ノ語ヲ用キタル場合ヲ除クノ外二千二百四十「ポンド」千十六「キログラム」ノ噸ヲ意味スルモノトス

現ニ完成シタル軍艦ハ各自國ノ計量法ニ依リ算定シタル現排水量噸數ヲ引續キ有スルモノトス但シ「メートル」式噸ヲ以テ排水量ヲ表示スル國ハ本條約ノ適用ニ付テハ之ヲ二千二百四十「ポンド」ノ噸ヲ以テ算定シタル相當排水量ヲ有スルニ過キサルモノト看做ス
今後完成スル軍艦ノ排水量噸數ハ右ニ定ムル基準排水量ニ付之ヲ算定スルモノトス

第三章

雜則

第二十一條

本條約ノ有効期間中何レカノ締約國ニ於テ海軍力ニ依ル防衛ニ關スル自國安

全ノ要件カ四圍ノ狀況ノ變化ニ依リ重大ナル影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニ於テハ締約國ハ該國ノ要求ニ基キ本條約ノ規定ヲ再議シ且相互ノ協定ニ依リ之カ修正ヲ爲スノ目的ヲ以テ會議ヲ開催スヘシ

技術上及科學上ノ將來ノ發達ヲ考量シ合衆國ハ他ノ締約國ト協議ノ上右發達ニ適應スル爲本條約中如何ナル變更ヲ必要トスヘキカヲ審議スルノ目的ヲ以テ本條約實施ノ時ヨリ八年ヲ經過シタル後成ルヘク速ニ會合スヘキ締約國全部ノ會議ノ開催ヲ準備スヘシ

第二十二條

何レカノ締約國カ海軍力ニ依ル自國安全ノ防衛ニ影響ヲ及ホスト認ムル戰爭ニ從事スルニ至リタル場合ニ於テハ該締約國ハ他ノ締約國ニ通告ヲ爲シタル後第十三條及第十七條ニ規定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ右敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得但シ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ該時局カ右停止ヲ必要トスル性質ノモノナルコトヲ通告スルコトヲ要ス

前記ノ場合ニ於テ爾餘ノ締約國ハ本條約中相互ノ間ニ如何ナル一時的修正ヲ爲スヘキカニ關シ協定ヲ爲スノ目的ヲ以テ協議スヘシ該協議ノ結果各締約國ノ憲法上ノ手續ニ準據シテ正當ニ成立スル協定ヲ得ルニ至ラサルトキハ右締約國ノ何レノ一國モ他ノ締約國ニ通告ヲ與ヘタル上第十三條及第十七條ニ規

定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ該敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得

敵對行爲終了ノ上ハ締約國ハ本條約ノ規定中如何ナル修正ヲ爲スヘキカニ付審議スル爲會議ヲ開催スヘシ

第二十三條

本條約ハ千九百三十六年十二月三十一日迄效力ヲ有ス締約國中何レノ一國ヨリモ右期日ノ二年前ニ本條約ヲ廢止スルノ意思ヲ通告セサルトキハ本條約ハ締約國ノ一國カ廢止ノ通告ヲ爲シタル日ヨリ二年ヲ經過スル迄引續キ其ノ效力ヲ有スヘク爾後本條約ハ締約國全部ニ對シ廢止セララルヘシ右通告ハ合衆國政府ニ對シ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘク同政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ締約國ニ送付シ且通告書ヲ受領シタル日ヲ之ニ通知スヘシ該通告ハ右受領ノ日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生スルモノトス合衆國政府自ラ廢止ノ通告ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ通告ハ他ノ締約國ノ華盛頓駐劄外交代表者ニ對シテ之ヲ行フヘク該通告ハ右外交代表者ニ通牒ヲ爲シタル日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生シタル日ヨリ一年內ニ締約國全部ハ會議ヲ開催スヘシ

第二十四條

四〇

本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セララルヘク且批准書全部ノ寄託ノ日ヨリ實施セララルヘシ右ノ寄託ハ成ルヘク速ニ華盛頓ニ於テ之行フヘシ合衆國政府ハ批准書寄託ノ調書ノ認證謄本ヲ他ノ締約國ニ送付スヘシ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トシ合衆國政府ノ記録ニ寄託保存セララルヘク其ノ認證謄本ハ同政府ヨリ他ノ締約國ニ之ヲ送付スヘシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名ス

千九百二十二年二月六日華盛頓市ニ於テ之ヲ作成ス

チャールズ、エヴァンス、ヒューズ

(印)

ヘンリー、カボット、ロッジ

(印)

オズカー、ダブリュー、アングラウツド

(印)

エリヒュー、ルード

(印)

アーサー、ジュームス、バルファア

(印)

リー、オヴ、フエアラム

(印)

エー、シー、ゲデス

(印)

アール、エル、ボーデン

(印)

ジー、エフ、ピアス

(印)

ジョン、ダブリュー、サルモンド

(印)

アーサー、ジュームス、バルファア

(印)

ヴィー、エス、スリニヴァサ、サストリ

(印)

アー、サロー

(印)

ジュスラン

(印)

カルロ、シアンツェル

(印)

ヴィー、ロランディ、リッチ

(印)

ルイジ、アルベルティニ

(印)

加藤友三郎

(印)

幣原喜重郎

(印)

埴原正直

四二

(印)

77

TRAITÉ

ENTRE

CINQ PUISSANCES

CONCERNANT

LA LIMITATION DE LEUR ARMEMENT NAVAL

SIGNÉ A WASHINGTON, LE 6 FÉVRIER 1922

TREATY

BETWEEN THE

FIVE POWERS

CONCERNING THE

LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT

SIGNED AT WASHINGTON, FEBRUARY 6, 1922

Les Etats-Unis d'Amérique, l'Empire Britannique, la France, l'Italie et le Japon;

Désireux de contribuer au maintien de la paix générale et de réduire le fardeau imposé par la compétition en matière d'armement;

Ont résolu, pour atteindre ce but, de conclure un traité limitant leur armement naval.

A cet effet, les Puissances Contractantes ont désigné pour leurs Plénipotentiaires:

Le Président des Etats-Unis d'Amérique:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citoyens des Etats-Unis;

Sa Majesté le Roi du Royaume-Uni de Grande Bretagne et d'Irlande et des Territoires britanniques au delà des mers, Empereur des Indes:

Le Très-Honorable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord Président du Conseil du Roi;

Le Très-Honorable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., Premier Lord de l'Amirauté.

Le Très-Honorable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire aux Etats-Unis d'Amérique;

et

pour le Dominion du Canada:

Le Très-Honorable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.

The United States of America, the British Empire, France, Italy and Japan;

Desiring to contribute to the maintenance of the general peace, and to reduce the burdens of competition in armament;

Have resolved, with a view to accomplishing these purposes, to conclude a treaty to limit their respective naval armament, and to that end have appointed as their Plenipotentiaries;

The President of the United States of America:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citizens of the United States;

His Majesty the King of the United Kingdom of Great Britain and Ireland and of the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India:

The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord President of His Privy Council;

The Right Honourable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., First Lord of His Admiralty;

The Right Honourable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America;

and

for the Dominion of Canada:

The Right Honourable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.;

pour le Commonwealth d'Australie
Le Très-Honorable George Foster Pearce, Sénateur, Ministre de l'Intérieur et des Territoires;

pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande:

L'Honorable Sir John William Salmond, K. C., Juge à la Cour Suprême de Nouvelle-Zélande;

pour l'Union Sud-Africaine

Le Très-Honorable Arthur James Balfour, O. M., M. P.,

pour l'Inde:

Le Très-Honorable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Membre du Conseil d'Etat de l'Inde;

Le Président de la République Française:

M. Albert Sarraut, Député, Ministre des Colonies;

M. Jules J. Jusserand, Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire près le Président des Etats Unis d'Amérique, Grand Croix de l'Ordre National de la Légion d'Honneur;

Sa Majesté le Roi d'Italie:

L'Honorable Carlo Schanzer, Sénateur du Royaume;

L'Honorable Vittorio Rolandi Ricci, Sénateur du Royaume, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington;

L'Honorable Luigi Albertini, Sénateur du Royaume;

Sa Majesté l'Empereur du Japon:

Le Baron Tomosaburo Kato, Ministre de la Marine, Junii, Membre de la Première Classe

for the Commonwealth of Australia:
Senator the Right Honourable George Foster Pearce, Minister for Home and Territories;

for the Dominion of New Zealand:
The Honourable Sir John William Salmond, K. C., Judge of the Supreme Court of New Zealand;

for the Union of South Africa
The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P.;

for India:

The Right Honourable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Member of the Indian Council of State;

The President of the French Republic:

Mr. Albert Sarraut, Deputy, Minister of the Colonies;

Mr. Jules J. Jusserand, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America, Grand Cross of the National Order of the Legion of Honour;

His Majesty the King of Italy:

The Honourable Carlo Schanzer, Senator of the Kingdom;

The Honourable Vittorio Rolandi Ricci, Senator of the Kingdom, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington;

The Honourable Luigi Albertini, Senator of the Kingdom;

His Majesty the Emperor of Japan:

Baron Tomosaburo Kato, Minister for the Navy, Junii, a member of the First Class of

de l'Ordre Impérial du Grand Cordon du Soleil Levant avec la Fleur de Paulonia;

Le Baron Kijuro Shidehara, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington, Joshii, Membre de la Première Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;

M. Masanao Hanihara, Vice-Ministre des Affaires Etrangères, Joshii, Membre de la Seconde Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;

lesquels, après avoir échangé leurs pleins pouvoirs, reconnus en bonne et due forme, ont convenu des dispositions suivantes:

CHAPITRE I.

DISPOSITIONS GENERALES RELATIVES A LA LIMITATION DE L'ARMEMENT NAVAL.

ARTICLE I.

Les Puissances Contractantes conviennent de limiter leur armement naval ainsi qu'il est prévu au présent traité.

ARTICLE II.

Les Puissances Contractantes pourront conserver respectivement les navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1. A la mise en vigueur du présent Traité et sous réserve des dispositions ci-dessous du présent article, il sera disposé comme il est prescrit au chapitre II, partie 2, de tous les autres navires de ligne des Etats-Unis, de l'Empire Britannique et du Japon, construits ou en construction

the Imperial Order of the Grand Cordon of the Rising Sun with the Paulownia Flower;

Baron Kijuro Shidehara, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington, Joshii, a member of the First Class of the Imperial Order of the Rising Sun;

Mr. Masanao Hanihara, Vice Minister for Foreign Affairs, Joshii, a member of the Second Class of the Imperial Order of the Rising Sun;

Who, having communicated to each other their respective full powers, found to be in good and due form, have agreed as follows:

CHAPTER I.

GENERAL PROVISIONS RELATING TO THE LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT.

ARTICLE I.

The Contracting Powers agree to limit their respective naval armament as provided in the present Treaty.

ARTICLE II.

The Contracting Powers may retain respectively the capital ships which are specified in Chapter II, Part 1. On the coming into force of the present Treaty, but subject to the following provisions of this Article, all other capital ships, built or building, of the United States, the British Empire and Japan shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

En sus des navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1, les Etats-Unis pourront achever et conserver deux navires actuellement en construction de la classe *West Virginia*. A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *North Dakota* et du *Delaware* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

L'Empire Britannique pourra, conformément au tableau de remplacement au chapitre II, partie 3, construire deux nouveaux navires de ligne ayant chacun un déplacement type maximum de 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques). A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *Thunderer*, du *King George V*, de l'*Ajax* et du *Centurion* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

ARTICLE III.

Sous réserve des dispositions de l'article II, les Puissances Contractantes abandonneront leur programme de construction de navires de ligne et ne construiront ou n'acquerront aucun nouveau navire de ligne, à l'exception du tonnage de remplacement qui pourra être construit ou acquis comme il est spécifié au chapitre II, partie 3.

Il sera disposé selon les prescriptions du chapitre II, partie 2, des navires remplacés conformément au chapitre II, partie 3.

ARTICLE IV.

Le tonnage total des navires de ligne de remplacement, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les Etats-Unis, 525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique

In addition to the capital ships specified in Chapter II, Part 1, the United States may complete and retain two ships of the *West Virginia* class now under construction. On the completion of these two ships the *North Dakota* and *Delaware* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

The British Empire may, in accordance with the replacement table in Chapter II, Part 3, construct two new capital ships not exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement each. On the completion of the said two ships the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

ARTICLE III.

Subject to the provisions of Article II, the Contracting Powers shall abandon their respective capital ship building programs, and no new capital ships shall be constructed or acquired by any of the Contracting Powers except replacement tonnage which may be constructed or acquired as specified in Chapter II, Part 3.

Ships which are replaced in accordance with Chapter II, Part 3, shall be disposed of as prescribed in Part 2 of that Chapter.

ARTICLE IV.

The total capital ship replacement tonnage of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 525,000 tons (533,400 metric tons); for the British Empire 525,000 tons (533,400 metric tons); for France 175,

525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour la France 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour l'Italie 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour le Japon 315.000 tonnes (320.040 tonnes métriques)

ARTICLE V.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire de ligne d'un déplacement type supérieur à 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

ARTICLE VI.

Aucun navire de ligne de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 16 pouces (406 millimètres).

ARTICLE VII.

Le tonnage total des navires porte-aéronefs, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les Etats-Unis 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques), pour la France 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour l'Italie 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour le Japon 81.000 tonnes (82.296 tonnes métriques).

ARTICLE VIII.

Le remplacement des navires porte-aéronefs n'aura lieu que selon les prescriptions du Chapitre II, partie 3. Toutefois il est entendu que tous les navires porte-aéronefs construits ou en

000 tons (177,800 metric tons); for Italy 175,000 tons (177,800 metric tons); for Japan 315,000 tons (320,040 metric tons).

ARTICLE V.

No capital ship exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

ARTICLE VI.

No capital ship of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 16 inches (406 millimetres).

ARTICLE VII.

The total tonnage for aircraft carriers of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 135,000 tons (137,160 metric tons); for the British Empire 135,000 tons (137,160 metric tons); for France 60,000 tons (60,960 metric tons); for Italy 60,000 tons (60,960 metric tons); for Japan 81,000 tons (82,296 metric tons).

ARTICLE VIII.

The replacement of aircraft carriers shall be effected only as prescribed in Chapter II, Part 3, provided, however, that all aircraft carrier tonnage in existence or building on November 12,

construction à la date du 12 novembre 1921 sont considérés comme navires d'expérience et pourront être remplacés, quel que soit leur âge, dans les limites de tonnage total prévues à l'article VII.

ARTICLE IX

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire porte-aéronefs, d'un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

Toutefois chacune des Puissances Contractantes pourra, pourvu qu'elle ne dépasse pas son tonnage total alloué de navires porte-aéronefs, construire au plus deux navires porte-aéronefs, chacun d'un déplacement type maximum de 33.000 tonnes (33.528 tonnes métriques); à cet effet et pour des raisons d'économie, chacune des Puissances Contractantes pourra utiliser deux de ses navires, terminés ou non terminés, pris à son choix parmi ceux qui, sans cela, devraient être mis hors d'état de servir pour le combat aux termes de l'article II. L'armement d'un navire porte-aéronefs ayant un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques) sera soumis aux dispositions de l'article X, avec cette restriction que, si cet armement comporte un seul canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons ne pourra dépasser huit, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres).

1921, shall be considered experimental, and may be replaced, within the total tonnage limit prescribed in Article VII, without regard to its age.

ARTICLE IX

No aircraft carrier exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

However, any of the Contracting Powers may, provided that its total tonnage allowance of aircraft carriers is not thereby exceeded, build not more than two aircraft carriers, each of a tonnage of not more than 33,000 tons (33,528 metric tons) standard displacement, and in order to effect economy any of the Contracting Powers may use for this purpose any two of their ships, whether constructed or in course of construction, which would otherwise be scrapped under the provisions of Article II. The armament of any aircraft carriers exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be in accordance with the requirements of Article X, except that the total number of guns to be carried in case any of such guns be of a calibre exceeding 6 inches (152 millimetres), except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed eight.

ARTICLE X.

Aucun navire porte-aéronefs de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres). Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, si l'armement comprend des canons d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons pourra être de dix au maximum, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres). Si, au contraire, l'armement ne comprend pas de canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre des canons n'est pas limité. Dans les deux cas, le nombre des canons contre aéronefs et des canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres) n'est pas limité.

ARTICLE XI.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire, en dehors des navires de ligne ou des navires porte-aéronefs, de navires de combat d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité. Ne sont pas soumis aux limitations du présent article les bâtiments employés soit à des services de la flotte, soit à des transports de troupes, soit à toute autre participation à des hostilités qui ne serait pas celle d'un navire combattant, pourvu qu'ils ne soient pas spécifiquement construits comme navires combattants

ARTICLE X.

No aircraft carrier of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres). Without prejudice to the provisions of Article IX, if the armament carried includes guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre the total number of guns carried, except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed ten. If alternatively the armament contains no guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre, the number of guns is not limited. In either case the number of anti-aircraft guns and of guns not exceeding 5 inches (127 millimetres) is not limited.

ARTICLE XI

No vessel of war exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, other than a capital ship or aircraft carrier, shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers. Vessels not specifically built as fighting ships nor taken in time of peace under government control for fighting purposes, which are employed on fleet duties or as troop transports or in some other way for the purpose of assisting in the prosecution of hostilities otherwise than as fighting ships, shall not be within the limitations of this Article.

ou placés en temps de paix sous l'autorité du Gouvernement dans un but de combat.

ARTICLE XII.

En dehors des navires de ligne, aucun navire de combat de l'une quelconque des Puissances Contractantes, mis en chantier à l'avenir, ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres).

ARTICLE XIII.

Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, aucun navire à déclasser par application du présent Traité ne pourra redevenir navire de guerre.

ARTICLE XIV.

Il ne sera fait, en temps de paix, aucune installation préparatoire sur les navires de commerce en vue de les armer pour les convertir en navire de guerre; toutefois, il sera permis de renforcer les ponts pour pouvoir y monter des canons d'un calibre ne dépassant pas 6 pouces (152 millimètres).

ARTICLE XV.

Aucun navire de guerre construit pour une Puissance non contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante ne devra dépasser les limites de déplacement et d'armement prévues au présent Traité pour les navires similaires à construire par ou pour les Puissances Contractantes. Toutefois la limite du déplacement type des navires porte-aéronefs construits pour une Puissance non contractante ne devra en aucun cas dépasser 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques).

ARTICLE XII.

No vessel of war of any of the Contracting Powers, hereafter laid down, other than a capital ship, shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres).

ARTICLE XIII.

Except as provided in Article IX, no ship designated in the present Treaty to be scrapped may be recon-verted into a vessel of war.

ARTICLE XIV.

No preparations shall be made in merchant ships in time of peace for the installation of warlike armaments for the purpose of converting such ships into vessels of war, other than the necessary stiffening of decks for the mounting of guns not exceeding 6 inch (152 millimetres) calibre.

ARTICLE XV.

No vessel of war constructed within the jurisdiction of any of the Contracting Powers for a non-Contracting Power shall exceed the limitations as to displacement and armament prescribed by the present Treaty for vessels of a similar type which may be constructed by or for any of the Contracting Powers; provided, however, that the displacement for aircraft carriers constructed for a non-Contracting Power shall in no case exceed 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement.

ARTICLE XVI.

Si un navire de guerre, quel qu'il soit, est mis en construction pour le compte d'une Puissance non Contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante, cette dernière fera connaître, aussi rapidement que possible, aux autres Puissances Contractantes la date de signature du contrat de construction et celle de mise sur cale du navire; elle leur communiquera également les caractéristiques du navire, en se conformant au Chapitre 11, partie 3, section I (b), (4) et (5).

ARTICLE XVII.

Si l'une des Puissances Contractantes vient à être engagée dans une guerre, elle n'emploiera pas comme tels les navires de guerre quels qu'ils soient, en construction ou construits mais non livrés, dans le ressort de son autorité, pour le compte de toute autre Puissance.

ARTICLE XVIII.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne disposer ni à titre gratuit, ni à titre onéreux, ni autrement, de leurs navires de guerre, quels qu'ils soient, dans des conditions permettant à une Puissance étrangère de les employer comme tels.

ARTICLE XIX.

Les Etats-Unis, l'Empire Britannique et le Japon conviennent de maintenir, en matière de fortifications et de bases navales, le statu quo tel qu'il existe au jour de la signature du présent traité dans leurs territoires et possessions respectifs ci-après désignés:

(1) Les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, des Etats-Unis

ARTICLE XVI.

If the construction of any vessel of war for a non-Contracting Power is undertaken within the jurisdiction of any of the Contracting Powers, such Power shall promptly inform the other Contracting Powers of the date of the signing of the contract and the date on which the keel of the ship is laid; and shall also communicate to them the particulars relating to the ship prescribed in Chapter II, Part 3, Section I (b), (4) and (5).

ARTICLE XVII.

In the event of a Contracting Power being engaged in war, such Power shall not use as a vessel of war any vessel of war which may be under construction within its jurisdiction for any other Power, or which may have been constructed within its jurisdiction for another Power and not delivered.

ARTICLE XVIII.

Each of the Contracting Powers undertakes not to dispose by gift, sale or any mode of transfer of any vessel of war in such a manner that such vessel may become a vessel of war in the Navy of any foreign Power.

ARTICLE XIX.

The United States, the British Empire and Japan agree that the status quo at the time of the signing of the present Treaty, with regard to fortifications and naval bases, shall be maintained in their respective territories and possessions specified hereunder:

(1) The insular possessions which the United States now holds or may

dans l'océan Pacifique, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte des Etats-Unis, de l'Alaska et de la zone du Canal de Panama, non compris les Iles Aléoutiennes; (b) des Iles Hawaï;

(2) Hong-Kong et les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, de l'Empire Britannique dans l'Océan Pacifique, situées à l'est du méridien de 110° est de Greenwich, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte du Canada; (b) du Commonwealth d'Australie et de ses Territoires; (c) de la Nouvelle-Zélande;

(3) Les territoires et possessions insulaires du Japon dans l'Océan Pacifique, ci-après désignés: Iles Kouriles, Iles Bonin, Amami-Oshima, Iles Liou-Kiou, Formose et Pescadores, ainsi que tous territoires ou possessions insulaires futurs du Japon dans l'Océan Pacifique.

Le maintien du statu quo visé ci-dessus implique:

qu'il ne sera établi dans les territoires et possessions ci-dessus visés ni bases navales, ni fortifications nouvelles; qu'il ne sera prise aucune mesure de nature à accroître les ressources navales existant actuellement pour la réparation et l'entretien des forces navales; et qu'il ne sera procédé à aucun renforcement des défenses côtières des territoires et possessions ci-dessus visés. Toutefois, cette restriction n'empêchera pas la réparation et le remplacement de l'armement et des installations détériorées, selon la pratique des établissements navals et militaires en temps de paix.

ARTICLE XX.

Les règles de détermination du déplacement, telles qu'elles sont posées

hereafter acquire in the Pacific Ocean, except (a) those adjacent to the coast of the United States, Alaska and the Panama Canal Zone, not including the Aleutian Islands, and (b) the Hawaiian Islands;

(2) Hongkong and the insular possessions which the British Empire now holds or may hereafter acquire in the Pacific Ocean, east of the meridian of 110° east longitude, except (a) those adjacent to the coast of Canada, (b) the Commonwealth of Australia and its Territories, and (c) New Zealand;

(3) The following insular territories and possessions of Japan in the Pacific Ocean, to wit: the Kurile Islands, the Bonin Islands, Amami-Oshima, the Loochoo Islands, Formosa and the Pescadores, and any insular territories or possessions in the Pacific Ocean which Japan may hereafter acquire.

The maintenance of the status quo under the foregoing provisions implies that no new fortifications or naval bases shall be established in the territories and possessions specified; that no measures shall be taken to increase the existing naval facilities for the repair and maintenance of naval forces, and that no increase shall be made in the coast defences of the territories and possessions above specified. This restriction, however, does not preclude such repair and replacement of worn-out weapons and equipment as is customary in naval and military establishments in time of peace.

ARTICLE XX.

The rules for determining tonnage displacement prescribed in Chapter II.

au Chapitre II, partie 1, s'appliqueront aux navires de chacune des Puissances Contractantes.

CHAPITRE II.

REGLES CONCERNANT L'EXECUTION DU TRAITE. DEFINITION DES TERMES EMPLOYES.

PARTIE I.

NAVIRES DE LIGNE QUI PEUVENT ETRE CONSERVES PAR LES PUISSANCES CONTRACTANTES.

Pourront être conservés par chacune des Puissances Contractantes, conformément à l'article II, les navires énumérés dans la présente partie.

Navires qui peuvent être conservés par les Etats-Unis.

Nome:	Tonnage.
Maryland.....	32,600
California.....	32,300
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvanie.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Tonnage total.....	500,650

Quand les deux unités de la classe West Virginia seront achevées et quand le North Dakota et le Delaware seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par les Etats-Unis sera de 525,850 tonnes.

Part 4, shall apply to the ships of each of the Contracting Powers.

CHAPTER II.

RULES RELATING TO THE EXECUTION OF THE TREATY—DEFINITION OF TERMS.

PART I.

CAPITAL SHIPS WHICH MAY BE RETAINED BY THE CONTRACTING POWERS.

In accordance with Article II ships may be retained by each of the Contracting Powers as specified in this Part.

Ships which may be retained by the United States.

Name:	Tonnage.
Maryland.....	32,600
California.....	32,300
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvania.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Total tonnage.....	500,650

On the completion of the two ships of the West Virginia class and the scrapping of the North Dakota and Delaware, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the United States will be 525,850 tons.

Navires qui peuvent être conservés par l'Empire Britannique.

Nom:	Tonnage
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	28,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Tonnage total.....	580,450

Quand les deux unités nouvelles à construire seront achevées, et quand le *Thunderer*, le *King George V*, l'*Ajax* et le *Centurion* seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par l'Empire Britannique sera de 558.950 tonnes.

Navires qui peuvent être conservés par la France.

Nom:	Tonnage (tonnes métriques).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Tonnage total.....	221,170

La France pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Ships which may be retained by the British Empire.

Name:	Tonnage
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	28,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Total tonnage.....	580,450

On the completion of the two new ships to be constructed and the scrapping of the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion*, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the British Empire will be 558,950 tons.

Ships which may be retained by France.

Name:	Tonnage (metric tons).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Total tonnage.....	221,170

France may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Navires qui peuvent être conservés par l'Italie.

Nom:	Tonnage (tonnes métriques).
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Dante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Tonnage total.....	182,800

L'Italie pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Navires qui peuvent être conservés par le Japon.

Nom:	Tonnage
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Huuga.....	31,260
Iso.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-so.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Hiyel.....	27,500
Kongo.....	27,500
Tonnage total.....	301,320

PARTIE 2.

REGLES APPLICABLES AU DECLASSEMENT DES NAVIRES DE GUERRE.

Les règles suivantes devront être observées pour le déclassement des navires de guerre dont on doit disposer comme il est prescrit aux articles II et III.

- I. Un navire pour être déclassé doit être mis hors d'état de servir pour le combat.
- II. Pour obtenir ce résultat d'une manière définitive, on devra employer l'un des moyens suivants:
 - (a) submersion du navire sans possibilité de renflouement;

Ships which may be retained by Italy.

Name:	Tonnage (metric tons)
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Dante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Total tonnage.....	182,800

Italy may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Ships which may be retained by Japan.

Name:	Tonnage
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Huuga.....	31,260
Iso.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-So.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Hiyel.....	27,500
Kongo.....	27,500
Total tonnage.....	301,320

PART 2

RULES FOR SCRAPPING VESSELS OF WAR

The following rules shall be observed for the scrapping of vessels of war which are to be disposed of in accordance with Articles II and III

- I. A vessel to be scrapped must be placed in such condition that it cannot be put to combat use.
- II. This result must be finally effected in any one of the following ways:
 - (a) Permanent sinking of the vessel;

démolition. Cette opération devra toujours comprendre la destruction ou l'enlèvement de toutes machines, chaudières, cuirasses, ainsi que de tout le bordé de pont, de flanc et de fond;

(c) transformation pour l'usage exclusif de cible. Dans ce cas, on devra observer au préalable toutes les dispositions du paragraphe III de la présente partie, à l'exception du sous-paragraphe (6), (dans la mesure nécessaire pour utiliser le navire comme cible mobile), et du sous-paragraphe (7). Aucune des Puissances Contractantes ne pourra conserver, pour s'en servir comme de cible, plus d'un navire de ligne à la fois.

(d) Parmi les navires de ligne arrivant à partir de 1931 à l'époque de leur déclassement, la France et l'Italie sont autorisées à conserver chacune deux bâtiments navigants, qui seront affectés exclusivement aux écoles de canonage ou de torpilles. Pour la France, ces deux navires seront du type *Jean Bart*. Pour l'Italie, l'un d'eux sera le *Dante Alighieri*, le second sera du type *Giulio Cesare*. La France et l'Italie s'engagent à ne plus utiliser comme navires de guerre les navires ainsi conservés dont les blockhaus devront alors être enlevés et détruits.

III. (a) Sous réserve des exceptions spéciales de l'Article IX, quand

(b) Breaking the vessel up. This shall always involve the destruction or removal of all machinery, boilers and armour, and all deck, side and bottom plating,

(c) Converting the vessel to target use exclusively. In such case all the provisions of paragraph III of this Part, except subparagraph (6), in so far as may be necessary to enable the ship to be used as a mobile target, and except subparagraph (7), must be previously complied with. Not more than one capital ship may be retained for this purpose at one time by any of the Contracting Powers.

(d) Of the capital ships which would otherwise be scrapped under the present Treaty in or after the year 1931, France and Italy may each retain two sea-going vessels for training purposes exclusively, that is, as gunnery or torpedo schools. The two vessels retained by France shall be of the *Jean Bart* class, and of those retained by Italy one shall be the *Dante Alighieri*, the other of the *Giulio Cesare* class. On retaining these ships for the purpose above stated, France and Italy respectively undertake to remove and destroy their conning-towers, and not to use the said ships as vessels of war.

III. (a) Subject to the special exceptions contained in Article

un navire doit être déclassé, la première opération du déclassement, qui consiste à mettre le navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, doit être immédiatement commencée.

(b) Un navire sera considéré comme mis hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat quand on aura enlevé et mis à terre ou détruit à bord du navire:

(1) tous les canons et parties essentielles de canons, les hunes de direction de tir et les parties tournantes de toutes les tourelles barbettes et fermées;

(2) toute la machinerie hydraulique ou électrique de manoeuvre des affûts;

(3) tous les instruments et les télémètres de direction de tir;

(4) toutes les munitions, les explosifs et les mines;

(5) toutes les torpilles, cônes de charge et tubes lance-torpilles;

(6) toutes les installations de télégraphie sans fil;

(7) le blockhaus et toute la cuirasse de flanc, ou, si l'on préfère, tout l'appareil moteur principal;

(8) toutes les plateformes d'atterrissage et d'envol et tous autres accessoires d'aviation.

IV. Les délais dans lesquels les opérations de déclassement des navires devront être accomplies sont les suivants:

IX, when a vessel is due for scrapping, the first stage of scrapping, which consists in rendering a ship incapable of further warlike service, shall be immediately undertaken.

(b) A vessel shall be considered incapable of further warlike service when there shall have been removed and landed, or else destroyed in the ship:

(1) All guns and essential portions of guns, fire-control tops and revolving parts of all barbetstes and turrets;

(2) All machinery for working hydraulic or electric mountings;

(3) All fire-control instruments and range-finders;

(4) All ammunition, explosives and mines;

(5) All torpedoes, warheads and torpedo tubes;

(6) All wireless telegraphy installations;

(7) The conning tower and all side armour, or alternatively all main propelling machinery; and

(8) All landing and flying-off platforms and all other aviation accessories.

IV. The periods in which scrapping of vessels is to be effected are as follows:

- (a) S'il s'agit de navires à déclasser d'après le premier alinéa de l'article II, les opérations nécessaires pour mettre ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être achevés dans un délai de six mois et le déclassement devra être complètement terminé dans un délai de dix-huit mois, l'un et l'autre à dater de la mise en vigueur du présent traité.
- (b) S'il s'agit de navires à déclasser d'après les alinéas 2 et 3 de l'Article II ou d'après l'Article III, les opérations nécessaires pour mettre chacun de ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être commencées au plus tard à la date de l'achèvement du navire de remplacement et devront être terminées dans les six mois qui suivront cette date. Le déclassement, opéré conformément au paragraphe II de la présente Partie, devra être terminé dans les dix-huit mois qui suivront l'achèvement du navire de remplacement. Si, cependant, l'achèvement du nouveau navire est retardé, on devra commencer, au plus tard quatre ans après sa mise sur cale, les opérations néces-

- (a) In the case of vessels to be scrapped under the first paragraph of Article II, the work of rendering the vessels incapable of further warlike service, in accordance with paragraph III of this Part, shall be completed within six months from the coming into force of the present Treaty, and the scrapping shall be finally effected within eighteen months from such coming into force.
- (b) In the case of vessels to be scrapped under the second and third paragraphs of Article II, or under Article III, the work of rendering the vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced not later than the date of completion of its successor, and shall be finished within six months from the date of such completion. The vessel shall be finally scrapped, in accordance with paragraph II of this Part, within eighteen months from the date of completion of its successor. If, however, the completion of the new vessel be delayed, then the work of rendering the old vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced within four years

saïres pour mettre le vieux navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, conformément au paragraphe III de la présente Partie, et ce travail devra être terminé en six mois. Le vieux navire devra être définitivement déclassé, dans les conditions du paragraphe II de la présente partie, dix-huit mois après le commencement des travaux de ladite mise hors d'état.

from the laying of the keel of the new vessel, and shall be finished within six months from the date on which such work was commenced, and the old vessel shall be finally scrapped in accordance with paragraph II of this Part within eighteen months from the date when the work of rendering it incapable of further warlike service was commenced.

PARTIE 3.

REPLACEMENTS.

Le remplacement des navires de ligne et des navires porte-aéronefs se fera selon les règles de la section I et des tableaux de la section II de la présente Partie.

PART 3.

REPLACEMENT.

The replacement of capital ships and aircraft carriers shall take place according to the rules in Section I and the tables in Section II of this Part.

SECTION I.

REGLES DE REMPLACEMENT.

(a) Sous réserve des cas prévus à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront être remplacés, vingt ans après le jour de leur achèvement, par des constructions neuves, mais seulement dans les limites prévues aux articles IV et VII. Sous réserve des exceptions prévues à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les nouveaux navires ne pourront être mis sur cale que dix-sept ans après l'achèvement de l'unité à remplacer. Toutefois il est entendu qu'à l'exception des navires visés au troisième alinéa de l'article II et à l'except-

SECTION I.

RULES FOR REPLACEMENT.

(a) Capital ships and aircraft carriers twenty years after the date of their completion may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be replaced by new construction, but within the limits prescribed in Article IV and Article VII. The keels of such new construction may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be laid down not earlier than seventeen years from the date of completion of the tonnage to be replaced, provided, however, that no capital ship tonnage, with the exception of the ships referred to in the third para-

tion du tonnage de remplacement spécifié à la section II de la présente partie, aucun navire de ligne ne sera mis sur cale avant l'expiration d'une période de dix ans à partir du 12 novembre 1921.

(b) Chacune des Puissances Contractantes communiquera aussi rapidement que possible aux autres les informations suivantes:

- (1) les noms des navires de ligne et des navires porte-aéronefs qui doivent être remplacés par des constructions neuves;
- (2) la date de l'autorisation gouvernementale donnée pour la construction des navires de remplacement;
- (3) la date de mise sur cale de chaque navire de remplacement;
- (4) le déplacement type en tonnes et en tonnes métriques de chaque unité nouvelle à mettre sur cale ainsi que ses principales dimensions, à savoir: longueur à la flottaison; largeur maximum à ou sous la ligne de flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type;
- (5) la date d'achèvement de chaque nouvelle unité et son déplacement type en tonnes et en tonnes métriques, ainsi que ses principales dimensions à l'époque de l'achèvement, à savoir: longueur à la ligne de flottaison; largeur maximum à ou sous la flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type.

(c) Les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront, en cas de perte ou de destruction accidentelle,

graph of Article II, and the replacement tonnage specifically mentioned in Section II of this Part, shall be laid down until ten years from November 12, 1921.

(b) Each of the Contracting Powers shall communicate promptly to each of the other Contracting Powers the following information:

- (1) The names of the capital ships and aircraft carriers to be replaced by new construction;
- (2) The date of governmental authorization of replacement tonnage;
- (3) The date of laying the keels of replacement tonnage;
- (4) The standard displacement in tons and metric tons of each new ship to be laid down, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement;
- (5) The date of completion of each new ship and its standard displacement in tons and metric tons, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement, at time of completion.

(c) In case of loss or accidental destruction of capital ships or aircraft carriers, they may immediately be

être remplacés immédiatement, dans les limites de tonnage spécifiées aux articles IV et VII, par des constructions neuves effectuées conformément aux dispositions du présent Traité; le programme de remplacement prévu pour la Puissance intéressée sera considéré comme ayant été avancé en ce qui concerne le navire perdu ou détruit.

(d) La seule refonte autorisée pour les navires de ligne et les navires porte-aéronefs conservés consistera à munir ces unités de moyens de défense contre les attaques aériennes et sous-marines dans les conditions suivantes: les Puissances Contractantes pourront, dans ce but, ajouter aux navires existants des soufflages et cuissons, ainsi que des ponts de protection contre les attaques aériennes, pourvu que l'augmentation de déplacement qui en résultera pour les navires ne dépasse pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) pour chaque navire. Sera interdit tout changement dans la cuirasse de flanc, le calibre et le nombre des canons de l'armement principal, ainsi que tout changement dans son plan général d'installation. Il est fait exception:

- (1) pour la France et l'Italie, qui pourront, dans les limites de l'augmentation de déplacement accordée pour le soufflage, accroître les cuirassements de protection ainsi que le calibre des canons portés par leurs navires de ligne existants, à la condition que ce calibre ne dépasse pas 16 pouces (406 millimètres);
- (2) pour l'Empire Britannique, qui sera autorisé à achever sur le *Renown*, les modifications de cuirassement déjà commencées et provisoirement arrêtées.

replaced by new construction subject to the tonnage limits prescribed in Articles IV and VII and in conformity with the other provisions of the present Treaty, the regular replacement program being deemed to be advanced to that extent.

(d) No retained capital ships or aircraft carriers shall be reconstructed except for the purpose of providing means of defense against air and submarine attack, and subject to the following rules: The Contracting Powers may, for that purpose, equip existing tonnage with bulge or blister or anti-air attack deck protection, providing the increase of displacement thus effected does not exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) displacement for each ship. No alterations in side armor, in calibre, number or general type of mounting of main armament shall be permitted except:

- (1) in the case of France and Italy, which countries within the limits allowed for bulge may increase their armor protection and the calibre of the guns now carried on their existing capital ships so as not to exceed 16 inches (406 millimeters) and
- (2) the British Empire shall be permitted to complete, in the case of the *Renown*, the alterations to armor that have already been commenced but temporarily suspended.

SECTION II.

REPLACEMENT ET DECLASSÉMENT DES NAVIRES DE LIGNE.

ÉTATS-UNIS.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (Âge entre parenthèse).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A, B, #	Delaware (12), North Dakota (12)	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931	C, D			15	3
1932	E, F			15	3
1933	G			12	5
1934	H, I	C, D	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22)	9	7
1935	J	F, F	Arkansas (23), Texas (21), New York (21)	7	4
1936	K, L	G	Nevada (20), Oklahoma (20)	5	10
1937	M	H, I	Arizona (21), Pennsylvania (21)	4	11
1938	N, O	J	Mississippi (21)	2	13
1939	P, Q	K, L	New Mexico (21), Idaho (20)	1	14
1940		M	Tennessee (20)	0	15
1941		N, O	California (20), Maryland (20)	0	15
1942		P, Q	2 Navires de la classe "West Virginia"	0	15

* Les États-Unis pourront conserver l'Oregon et l'Illinois pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b), § 2 de la classe "West Virginia."

NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

SECTION II.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.

UNITED STATES.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A, B, #	Delaware (12), North Dakota (12)	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931	C, D			15	3
1932	E, F			15	3
1933	G			15	3
1934	H, I	C, D	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22)	12	5
1935	J	E, F	Arkansas (23), Texas (21), New York (21)	9	7
1936	K, L	G	Nevada (20), Oklahoma (20)	7	8
1937	M	H, I	Arizona (21), Pennsylvania (21)	5	10
1938	N, O	J	Mississippi (21)	4	11
1939	P, Q	K, L	New Mexico (21), Idaho (20)	2	13
1940		M	Tennessee (20)	1	14
1941		N, O	California (20), Maryland (20)	0	15
1942		P, Q	2 ships West Virginia class	0	15

* The United States may retain the Oregon and Illinois, for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b), § 2 West Virginia class.

NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

REPLACEMENT ET DÉCLASSEMENT DES NAVIRES DE LIGNE.
EMPIRE BRITANNIQUE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Infexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (8), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 en construction ou en projet.*	21	1
1922	A, B#			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925		A, B.	King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D.			17	3
1932	E, F.			17	3
1933	G.			17	3
1934	H, I.	C, D.	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J.	E, F.	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L.	G.	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M.	H, I.	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O.	J.	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q.	K, L.	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M.	Renown (24).	1	14
1941		N, O.	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q.	A (17), B (17).	0	15

* L'Empire Britannique pourra conserver le Colossus et le Collingwood pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b).
2 navires de 35,000 tonnes de déplacement type.
NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
BRITISH EMPIRE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Infexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (8), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 building or projected.*	21	1
1922	A, B#			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925		A, B.	King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D.			17	3
1932	E, F.			17	3
1933	G.			17	3
1934	H, I.	G, D.	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J.	E, F.	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L.	G.	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M.	H, I.	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O.	J.	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q.	K, L.	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M.	Renown (24).	1	14
1941		N, O.	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q.	A (17), B (17).	0	15

* The British Empire may retain the Colossus and Collingwood for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
Two 35,000-ton ships, standard displacement.
NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement laid down and completed in the years specified.

REMPLACEMENT ET DECLASSEMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
FRANCE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922				7	0
1923				7	0
1924				7	0
1925				7	0
1926				7	0
1927	35,000 tonnes.			7	0
1928				7	0
1929	35,000 tonnes.			5	0
1930	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Jean Bart (17), Courbet (17).	5	0
1931	35,000 tonnes.			4	0
1932	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	France (18).	4	0
1933	35,000 tonnes.			2	0
1934		35,000 tonnes.	Paris (20), Bretagne (20).	1	0
1935		35,000 tonnes.	Provence (20).	0	0
1936		35,000 tonnes.	Lorraine (20).	0	0
1937				0	0
1938				0	0
1939				0	0
1940				0	0
1941				0	0
1942				0	0

* Dans les limites du tonnage total; nombre non fixé.
NOTE.—La France réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
FRANCE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922				7	0
1923				7	0
1924				7	0
1925				7	0
1926				7	0
1927	35,000 tons.			7	0
1928				7	0
1929	35,000 tons.			7	0
1930	35,000 tons.	35,000 tons.	Jean Bart (17), Courbet (17).	5	0
1931	35,000 tons.			4	0
1932	35,000 tons.	35,000 tons.	France (18).	4	0
1933	35,000 tons.			2	0
1934		35,000 tons.	Paris (20), Bretagne (20).	1	0
1935		35,000 tons.	Provence (20).	0	0
1936		35,000 tons.	Lorraine (20).	0	0
1937				0	0
1938				0	0
1939				0	0
1940				0	0
1941				0	0
1942				0	0

* Within tonnage limitations, number not fixed.
NOTE.—France expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and that the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REMPLACEMENT ET DECLASSERMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
ITALIE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achetés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèse)	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922				6	0
1923				6	0
1924				6	0
1925				6	0
1926				6	0
1927	35,000 tonnes.			6	0
1928				6	0
1929	35,000 tonnes.			6	0
1930				6	0
1931	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932	45,000 tonnes.			5	(*)
1933	25,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934				4	(*)
1935		35,000 tonnes.	Giulio Cesare (21)	3	(*)
1936		45,000 tonnes.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937		25,000 tonnes.	Andrea Doria (21)	0	(*)

* Dans les limites du tonnage total; nombre non fixé

NOTE.—L'Italie réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes, et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
ITALY.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained—Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922					
1923				6	0
1924				6	0
1925				6	0
1926				6	0
1927	35,000 tons.			6	0
1928				6	0
1929	35,000 tons.			6	0
1930				6	0
1931	35,000 tons.	35,000 tons.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932	45,000 tons.			5	(*)
1933	25,000 tons.	35,000 tons.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934				4	(*)
1935		35,000 tons.	Giulio Cesare (21)	3	(*)
1936		45,000 tons.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937		25,000 tons.	Andrea Doria (21)	0	(*)

* Within tonnage limitations; number not fixed.

NOTE.—Italy expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REPLACEMENT ET DECLASSÉMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
JAPON.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèse).	Navires conservés. Nombre total	
				Pre.	Post.
				Inland.	
			Hisen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tama (0), Takao (0), Atago (0). Projet de programme 8 navires non sur cale.*	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A			8	2
1932	B			8	2
1933	C			8	2
1934	D	A	Kongo (21)	7	3
1935	E	B	Hiyey (21), Haruna (20)	5	4
1936	F	C	Kirishima (21)	4	5
1937	G	D	Fuso (22)	3	6
1938	H	E	Yamashiro (21)	2	7
1939	I	F	Ise (22)	1	8
1940	G	G	Hiuga (22)	0	9
1941	H	H	Nagato (21)	0	9
1942	I	I	Mutsu (21)	0	9

* Le Japon pourra conserver le *Shikishima* et l'*Asahi* pour des destinations autres que le combat, en se conformant aux dispositions de la partie 2, III, (b).
Note.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35.000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS
JAPAN

Year	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses)	Ships retained. Summary	
				Pre.	Post.
				Inland.	
			Hisen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tama (0), Takao (0), Atago (0). Projected program 8 ships not laid down *	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A			8	2
1932	B			8	2
1933	C			8	2
1934	D	A	Kongo (21)	7	3
1935	E	B	Hiyey (21), Haruna (20)	5	4
1936	F	C	Kirishima (21)	4	5
1937	G	D	Fuso (22)	3	6
1938	H	E	Yamashiro (21)	2	7
1939	I	F	Ise (22)	1	8
1940	G	G	Hiuga (22)	0	9
1941	H	H	Nagato (21)	0	9
1942	I	I	Mutsu (21)	0	9

* Japan may retain the *Shikishima* and *Asahi* for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
Note.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

NOTE VISANT TOUS LES TABLEAUX
DE LA SECTION II

Dans les tableaux précédents, l'ordre suivant lequel sont inscrits les navires à déclasser est celui de leur âge. Il est entendu que, quand les remplacements commenceront conformément aux dits tableaux, l'ordre de déclassement des navires de chaque Puissance Contractante pourra être changé au gré de cette Puissance, pourvu qu'elle déclassé chaque année le nombre de navires indiqué par ces tableaux.

PARTIE 4
DEFINITIONS

Dans le présent Traité, les expressions suivantes doivent s'entendre respectivement avec le sens ci-après.

NAVIRE DE LIGNE

Un navire de ligne, en ce qui concerne les navires à construire dans l'avenir, est un navire de guerre autre qu'un navire porte-aéronefs, dont le déplacement type est supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), ou qui porte un canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres)

NAVIRE PORTE-AERONEFS

Un navire porte-aéronefs est un navire de guerre d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), spécifiquement et exclusivement destiné à porter des aéronefs. Il doit être construit de manière qu'un aéronef puisse y prendre son vol ou s'y poser. Son plan et sa construction ne doivent pas lui permettre de porter un armement plus

NOTE APPLICABLE TO ALL THE TABLES
IN SECTION II

The order above prescribed in which ships are to be scrapped is in accordance with their age. It is understood that when replacement begins according to the above tables the order of scrapping in the case of the ships of each of the Contracting Powers may be varied at its option; provided, however, that such Power shall scrap in each year the number of ships above stated.

PART 4.
DEFINITIONS

For the purposes of the present Treaty, the following expressions are to be understood in the sense defined in this Part.

CAPITAL SHIP

A capital ship, in the case of ships hereafter built, is defined as a vessel of war, not an aircraft carrier, whose displacement exceeds 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, or which carries a gun with a calibre exceeding 8 inches (203 millimetres)

AIRCRAFT CARRIER

An aircraft carrier is defined as a vessel of war with a displacement in excess of 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement designed for the specific and exclusive purpose of carrying aircraft. It must be so constructed that aircraft can be launched therefrom and landed thereon, and not designed and constructed for carrying a more powerful armament

puissant que celui autorisé soit par l'article IX, soit par l'article X, selon le cas

than that allowed to it under Article IX or Article X as the case may be.

DEPLACEMENT TYPE

Le déplacement type d'un navire est le déplacement du navire achevé, avec son équipage complet, ses machines et chaudières, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres, eau douce pour l'équipage, approvisionnements divers, outillages et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible et sans eau de réserve pour l'alimentation des machines et chaudières.

Le mot tonne employé dans le présent traité sans la qualification de "métrique" désigne une tonne de 2.240 lbs. ou 1.016 kilogrammes.

Les navires actuellement achevés continueront à figurer avec le déplacement qui leur est attribué selon leur système national d'évaluation. Toutefois, lorsqu'une Puissance compte le déplacement de ses navires en tonnes métriques, elle sera considérée, pour l'application du présent Traité, comme ne possédant que le tonnage équivalent en tonnes de 2.240 lbs.

Les navires achevés par la suite seront comptés pour leur déplacement type tel qu'il est défini au 1^{er} alinéa de la présente définition

CHAPITRE III.

DISPOSITIONS DIVERSES.

ARTICLE XXI

Si, pendant la durée du présent traité, une Puissance contractante estime que les exigences de sa sécurité

STANDARD DISPLACEMENT

The standard displacement of a ship is the displacement of the ship complete, fully manned, engined, and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions and fresh water for crew, miscellaneous stores and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel or reserve feed water on board.

The word "ton" in the present Treaty, except in the expression "metric tons", shall be understood to mean the ton of 2240 pounds (1016 kilos).

Vessels now completed shall retain their present ratings of displacement tonnage in accordance with their national system of measurement. However, a Power expressing displacement in metric tons shall be considered for the application of the present Treaty as owning only the equivalent displacement in tons of 2240 pounds.

A vessel completed hereafter shall be rated at its displacement tonnage when in the standard condition defined herein.

CHAPTER III.

MISCELLANEOUS PROVISIONS.

ARTICLE XXI.

If during the term of the present Treaty the requirements of the national security of any Contracting Power in

nationale, en ce qui touche la défense navale, se trouvent matériellement affectées par des circonstances nouvelles, les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence sur sa demande pour examiner à nouveau les dispositions du présent traité et s'entendre sur les amendements à y apporter.

En raison des possibilités de progrès dans l'ordre technique et scientifique, les Etats-Unis provoqueront la réunion d'une Conférence de toutes les Puissances Contractantes après les avoir consultées. Cette Conférence se tiendra aussitôt que possible après l'expiration d'une période de huit ans à dater de la mise en vigueur du présent traité et examinera les changements à y apporter, s'il y a lieu, pour faire face à ces progrès.

ARTICLE XXII.

Si l'une des Puissances Contractantes se trouve engagée dans une guerre qui, dans son opinion, affecte sa sécurité nationale du côté de la mer, cette Puissance pourra, sur avis préalable donné aux autres Puissances Contractantes, se dégager, pour la durée des hostilités, de ses obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII. Toutefois, cette Puissance devra notifier aux autres Puissances Contractantes que la situation est d'un caractère assez critique pour exiger cette mesure.

Dans ce cas, les autres Puissances Contractantes échangeront leurs vues pour arriver à un accord sur les dérogations temporaires que l'exécution du traité devrait comporter s'il y a lieu, en ce qui les concerne. Si cet échange

respect of naval defence are, in the opinion of that Power, materially affected by any change of circumstances the Contracting Powers will, at the request of such Power, meet in conference with a view to the reconsideration of the provisions of the Treaty and its amendment by mutual agreement.

In view of possible technical and scientific developments, the United States, after consultation with the other Contracting Powers, shall arrange for a conference of all the Contracting Powers which shall convene as soon as possible after the expiration of eight years from the coming into force of the present Treaty to consider what changes, if any, in the Treaty may be necessary to meet such developments.

ARTICLE XXII.

Whenever any Contracting Power shall become engaged in a war which in its opinion affects the naval defence of its national security, such Power may after notice to the other Contracting Powers suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty other than those under Articles XIII and XVII, provided that such Power shall notify the other Contracting Powers that the emergency is of such a character as to require such suspension.

The remaining Contracting Powers shall in such case consult together with a view to agreement as to what temporary modifications if any should be made in the Treaty as between themselves. Should such consultation not

de vues ne conduit pas à un accord, conclu régulièrement selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues, chacune d'entre elles pourra, après en avoir donné notification aux autres, se dégager, pour la durée des hostilités, des obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII.

A la cessation des hostilités les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence pour examiner les modifications à apporter, s'il y a lieu, au présent Traité.

ARTICLE XXIII.

Le présent traité restera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1936. S'il n'est fait notification deux ans avant cette date par aucune des Puissances Contractantes de son intention de mettre fin au traité, ce dernier restera en vigueur jusqu'à l'expiration d'un délai de deux ans à dater du jour où l'une des Puissances Contractantes notifiera son intention de mettre fin au traité. En ce cas le traité prendra fin pour toutes les Puissances Contractantes. La notification devra être faite par écrit au Gouvernement des Etats-Unis, qui devra immédiatement en transmettre aux autres Puissances une copie authentique avec l'indication de la date de réception. La notification sera considérée comme faite à cette date, à partir de laquelle elle produira son effet. Dans le cas où le Gouvernement des Etats-Unis notifierait son intention de mettre fin au Traité, cette notification sera remise aux représentants diplomatiques à Washington des autres Puissances Contractantes; la

produce agreement, duly made in accordance with the constitutional methods of the respective Powers, any one of said Contracting Powers may, by giving notice to the other Contracting Powers, suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty, other than those under Articles XIII and XVII.

On the cessation of hostilities the Contracting Powers will meet in conference to consider what modifications, if any, should be made in the provisions of the present Treaty.

ARTICLE XXIII.

The present Treaty shall remain in force until December 31st, 1936, and in case none of the Contracting Powers shall have given notice two years before that date of its intention to terminate the Treaty, it shall continue in force until the expiration of two years from the date on which notice of termination shall be given by one of the Contracting Powers, whereupon the Treaty shall terminate as regards all the Contracting Powers. Such notice shall be communicated in writing to the Government of the United States, which shall immediately transmit a certified copy of the notification to the other Powers and inform them of the date on which it was received. The notice shall be deemed to have been given and shall take effect on that date. In the event of notice of termination being given by the Government of the United States, such notice shall be given to the diplomatic representatives at Washington of the other Contracting Powers, and the notice shall

notification sera considérée comme faite et prendra effet à la date de la communication aux dits représentants diplomatiques.

Toutes les Puissances Contractantes devront se réunir en Conférence dans le délai d'un an à partir de la date à laquelle aura pris effet la notification, par une des Puissances, de son intention de mettre fin au Traité.

ARTICLE XXIV.

Le présent traité sera ratifié par les Puissances Contractantes selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues. Il prendra effet à la date du dépôt de toutes les ratifications, dépôt qui sera effectué à Washington, le plus tôt qu'il sera possible. Le Gouvernement des Etats-Unis remettra aux autres Puissances Contractantes une copie authentique du procès verbal de dépôt des ratifications.

Le présent traité, dont les textes français et anglais feront foi, restera déposé dans les archives du Gouvernement des Etats-Unis; des expéditions authentiques en seront remises par ce Gouvernement aux autres Puissances Contractantes.

be deemed to have been given and shall take effect on the date of the communication made to the said diplomatic representatives.

Within one year of the date on which a notice of termination by any Power has taken effect, all the Contracting Powers shall meet in conference.

ARTICLE XXIV.

The present Treaty shall be ratified by the Contracting Powers in accordance with their respective constitutional methods and shall take effect on the date of the deposit of all the ratifications, which shall take place at Washington as soon as possible. The Government of the United States will transmit to the other Contracting Powers a certified copy of the procès-verbal of the deposit of ratifications.

The present Treaty, of which the French and English texts are both authentic, shall remain deposited in the archives of the Government of the United States, and duly certified copies thereof shall be transmitted by that Government to the other Contracting Powers.

En foi de quoi les Plénipotentiaires sus-nommés ont signé le présent Traité

Fait à Washington le six février mil-neuf-cent-vingt-deux.

In faith whereof the above-named Plenipotentiaries have signed the present Treaty.

Done at the City of Washington the sixth day of February, One Thousand Nine Hundred and Twenty-Two.

- [L. S.] CHARLES EVANS HUGHES
- [L. S.] HENRY CABOT LODGE
- [L. S.] OSCAR W UNDERWOOD
- [L. S.] ELIHU ROOT
- [L. S.] ARTHUR JAMES BALFOUR
- [L. S.] LEE OF FAREHAM
- [L. S.] A. C. GEDDES
- R. L. BORDEN [L. S.]
- G. F. PEARCE [L. S.]
- JOHN W SALMOND [L. S.]
- ARTHUR JAMES BALFOUR [L. S.]
- V S SRINIVASA SASTRI [L. S.]
- A SARRAUT [L. S.]
- JUSSERAND [L. S.]
- CARLO SCHANZER [L. S.]
- [L. S.] V. ROLANDI RICCI
- [L. S.] LUIGI ALBERTINI
- [L. S.] T. KATO
- [L. S.] K. SHIDEHARA
- [L. S.] M. HANIHARA

供覽

海軍省
外務省
陸軍省

海軍省
外務省
陸軍省

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件

右末ル二十八日(水曜日)午前十時會議被相開

候間説明員出席候様御取計相成度依命

此段及照會候也

大正十一年六月二十四日

樞密院書記官

内閣書記官

御中



一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件
 一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件
 右本日開議ノ筈ノ處明二十九日(木曜日)午前
 十時開議ノコトニ變更相成候依命此段及通
 知候也

大正十一年六月二十八日

樞密院書記官

内閣書記官 御中

樞密院

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件
右別紙ノ通本院ニ於テ決議上奏候條此段
及通牒候也

大正十一年六月二十九日

樞密院議長子爵清浦奎吾

内閣總理大臣男爵加藤友三郎殿

臣等海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件
諮詢ノ命ヲ恪々本月二十九日ヲ以テ審議ヲ
盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ上奏シ更ニ
聖明ノ採擇ヲ仰ク

大正十一年 六月二十九日

樞密院議長子爵臣清浦奎吾

御批推案

天祐子保有三萬世一系、帝許子護、
皇帝(御名)此ノ書ノ見ル有案ニ宣示
朕帝國亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及伊太
利國ノ各全權委員、亞米利加合衆國、英帝國、
於大正十一年二月六日署名調印シ、
軍備制限ニ關スル條約ヲ閱覽照檢シ、
批准ス

神武天皇即位紀元二千五百八十二年大正

年月日

ニ於テ親ヲ名ヲ署ス

ア
鈴
ヒ
シ
ム

御名 國名 璽

攝政名

外務大臣

亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國、伊太利國及日本國ハ
一般ノ平和ノ維持ニ貢獻シ且軍備競争ノ負擔ヲ輕減セムコトヲ望ミ
右目的ヲ達成スル爲各自ノ海軍軍備ヲ制限スルノ條約ヲ締結スルコトニ決シ
之カ爲左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

- 合衆國人民「チアールス、エヴァンス、ヒューズ」
- 同 「ヘンリー、カボット、ロッシ」
- 同 「オスカール、ダブリニー、アンダウツド」
- 同 「エリヒュー、ルート」

大不列顛愛爾蘭聯合王國及大不列顛海外領土皇帝印度皇帝陛下

- 樞密院議長國會議員「アーサー、ジニームス、バルフォア」
- 海軍大臣男爵「リー、オヴ、フェアラム」
- 亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「サー、オークランド、キアンプル、ゲデス」

加奈陀

「ロバート、レアド、ポードン」

濠太利聯邦

内務大臣上院議員「ジョージ、フォスター、ピアス」

新西蘭

新西蘭最高法院判事「サー、ジョン、ウィリアム、サルモンド」

南阿弗利加聯邦

國會議員「アーサー、ジェームズ、バルフォア」

印度

印度參議院議員「ヴァリニングマン、サンカラナラヤナ、スリニヴァサ、サストリ」

佛蘭西共和國大統領

殖民大臣下院議員「アルベール、サロー」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ジュール、ジ、ジュスラン」

伊太利國皇帝陛下

參議院議員「カルロ、シアンツェル」

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使參議院議員「ヴィットリオ、ロランディ、リッ
ナ」

參議院議員「ルイジ、アルベルタイニ」

日本國皇帝陛下

海軍大臣男爵加藤友三郎

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使男爵幣原喜重郎

外務次官埴原正直

右各委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一章

海軍軍備ノ制限ニ關スル一般規定

第一條

締約國ハ本條約ノ規定ニ從ヒ各自ノ海軍軍備ヲ制限スヘキコトヲ約定ス

第二條

締約國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ヲ各自保有スルコトヲ得本條約實施ノ上ハ合衆國、英帝國及日本國ノ既成又ハ建造中ノ他ノ一切ノ主力艦ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ但シ本條中ノ左ノ諸規定ヲ留保ス

合衆國ハ第二章第一節ニ掲クル主力艦ノ外現ニ建造中ノ「ヴェスト、ヴァーシーニ」級二隻ヲ完成シ之ヲ保有スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「ノース、ダコータ」及「デラウエーア」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

英帝國ハ第二章第三節ノ代換表ニ從ヒ基準排水量各三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超エサル新主力艦二隻ヲ建造スルコトヲ得右二隻完成ノ上ハ「サンダラー」、「キング、ジョージ」五世、「エーリアックス」及「センテューリオン」ハ第二章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第三條

第二條ノ規定ヲ留保シ締約國ハ各自ノ主力艦建造計畫ヲ廢止スヘク又締約國ハ第二章第三節ニ掲クル所ニ從ヒ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ヘキ代換噸數以外ニ新主力艦ヲ建造シ又ハ取得スルコトヲ得ス

第二章第三節ニ從ヒ代換セラレタル軍艦ハ同章第二節ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘシ

第四條

各締約國ノ主力艦合計代換噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、英帝國五十二萬五千噸(五十三萬三千四百「メートル」式噸)、佛蘭西國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、伊太利國十七萬五千噸(十七萬七千八百「メートル」式噸)、日本國三十一萬五千噸(三十二萬四千「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條

基準排水量三萬五千噸(三萬五千五百六十「メートル」式噸)ヲ超ユル主力艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ、建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之ヲ建造ヲ許スコトヲ得ス

第六條

何レノ締約國ノ主力艦モ口徑十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備ス

ルコトヲ得ス

第七條

各締約國ノ航空母艦合計噸數ハ基準排水量ニ於テ合衆國十三萬五千噸(十三萬七千六百七十)メートル式噸、英帝國十三萬五千噸(十三萬七千六百七十)メートル式噸、佛蘭西國六萬噸(六萬九百六十)メートル式噸、伊太利國六萬噸(六萬九百六十)メートル式噸、日本國八萬一千噸(八萬二千二百九十六)メートル式噸ヲ超ユルコトヲ得ス

六

第八條

航空母艦ノ代換ハ第二章第三節ノ規定ニ從フノ外之ヲ行フコトヲ得ス但シ千九百二十一年十一月十二日ニ現存シ又ハ建造中ノ一切ノ航空母艦ハ之ヲ試驗的ノモノト看做スヘク且其ノ艦齡ノ如何ニ拘ラス第七條ニ規定スル合計噸數ノ範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得

第九條

基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二)メートル式噸ヲ超ユル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ建造セシメ若ハ其ノ法域内ニ於テ之ヲ建造ヲ許スコトヲ得ス

尤モ各締約國ハ其ノ航空母艦ノ割當合計噸數ヲ超エサル限り基準排水量各三萬三千噸(三萬三千五百二十八)メートル式噸ヲ超エサル航空母艦二隻以内ヲ建

造スルコトヲ得ヘク又經費節約ノ爲各締約國ハ第二條ノ規定ニ依リ廢棄スヘキ既成又ハ建造中ノ主力艦中ノ二隻ヲ右目的ニ利用スルコトヲ得基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二)メートル式噸ヲ超ユル航空母艦ノ武裝ハ第十條ノ規定ニ準據スヘシ但シ備砲中ニ口徑六吋(百五十二)ミリメートルヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七)ミリメートル以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ

第十條

何レノ締約國ノ航空母艦モ口徑八吋(二百三)ミリメートルヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス備砲中ニ口徑六吋(百五十二)ミリメートルヲ超ユルモノアルトキハ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七)ミリメートル以下ノ砲ヲ除クノ外備砲ノ數ハ合計十門ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第九條ノ規定ノ適用ヲ妨クルコトナシ又備砲中ニ口徑六吋(百五十二)ミリメートルヲ超ユルモノナキトキハ砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ右何レノ場合ニ於テモ航空機防禦砲及口徑五吋(百二十七)ミリメートルヲ超エサル砲ノ數ハ制限セラルルコトナシ

第十一條

主力艦又ハ航空母艦以外ノ軍艦ニシテ基準排水量一萬噸一萬六百七十)メートル式噸ヲ超ユルモノハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ建造セシメ若

七

ハ其ノ法域内ニ於テ之カ建造ヲ許スコトヲ得ス特ニ戦闘用艦船トシテ建造セラレタルモノニ非サル船舶又ハ戦闘用トシテ平時政府ノ管理ノ下ニ置カレタルモノニ非サル船舶ニシテ艦隊要務又ハ軍隊輸送ノ爲其ノ他戦闘用艦船トシテ爲ス以外敵對行爲ノ遂行ヲ幫助スル爲使用セララルモノハ本條ノ制限ヲ受ケサルモノトス

第十二條

將來起工セララルヘキ何レノ締約國ノ軍艦モ主力艦ヲ除クノ外口徑八吋(二百三「ミリメートル」)ヲ超ユル砲ヲ裝備スルコトヲ得ス

第十三條

第九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本條約中ニ廢棄スヘキモノトシテ指定セラレタル軍艦ハ再ヒ之ヲ軍艦ニ變更スルコトヲ得ス

第十四條

商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武装ヲ施スノ準備ヲ爲スコトヲ得ス但シ口徑六吋(百五十二「ミリメートル」)ヲ超エサル砲ヲ裝備スル爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條

何レノ締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ建造スル軍艦モ締約國ノ建造シ

又ハ建造セシムル同型ノ軍艦ニ付本條約ニ規定スル排水量及武装ニ關スル制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ非締約國ノ爲ニ建造スル航空母艦ノ排水量ハ如何ナル場合ニ於テモ基準排水量二萬七千噸(二萬七千四百三十二「メートル」式噸)ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條

締約國ノ法域内ニ於テ非締約國ノ爲ニ軍艦ヲ建造スルトキハ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ契約締結ノ日及軍艦ノ龍骨据附ノ日ヲ速ニ通報シ且第二章第三節第一款(ロ)ノ(四)及(五)ニ規定スル軍艦ニ關スル細目ヲ通知スヘシ

第十七條

締約國ハ戰爭ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造中ノ軍艦又ハ其ノ法域内ニ於テ他國ノ爲ニ建造シタルモ引渡ヲ了セサル軍艦ヲ軍艦トシテ使用スルコトヲ得ス

第十八條

各締約國ハ贈與賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス

第十九條

合衆國英帝國及日本國ハ左ニ掲クル各自ノ領土及屬地ニ於テ要塞及海軍根據

地ニ關シ本條約署名ノ時ニ於ケル現狀ヲ維持スヘキコトヲ約定ス

- (一) 合衆國カ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)合衆國「アラスカ」及「巴奈馬運河地帶」ノ海岸ニ近接スル島嶼(「アリューシアン」諸島ヲ包含セス)並(ロ)布哇諸島ヲ除ク
 - (二) 香港及英帝國カ東經百十度以東ノ太平洋ニ於テ現ニ領有シ又ハ將來取得スルコトアルヘキ島嶼タル屬地但シ(イ)加奈陀海岸ニ近接スル島嶼(ロ)濠太利聯邦及其ノ領土並(ハ)新西蘭ヲ除ク
 - (三) 太平洋ニ於ケル日本國ノ下記ノ島嶼タル領土及屬地即チ千島諸島、小笠原諸島、奄美大島、琉球諸島、臺灣及澎湖諸島並日本國カ將來取得スルコトアルヘキ太平洋ニ於ケル島嶼タル領土及屬地
- 前記ノ現狀維持トハ右ニ掲クル領土及屬地ニ於テ新ナル要塞又ハ海軍根據地ヲ建設セサルヘキコト、海軍力ノ修理及維持ノ爲現存スル海軍諸設備ヲ増大スルノ處置ヲ執ラサルヘキコト並右ニ掲クル領土及屬地ノ沿岸防禦ヲ増大セサルヘキコトヲ謂フ但シ右制限ハ海軍及陸軍ノ設備ニ於テ平時慣行スルカ如キ磨損セル武器及裝備ノ修理及取替ヲ妨クルコトナシ

第二十條

第二章第四節ニ規定スル排水量噸數算定ノ規則ハ各締約國ノ軍艦ニ之ヲ適用ス

第二章

本條約實施ニ關スル規則及用語ノ定義

第一節

締約國ノ保有シ得ヘキ主力艦

各締約國ハ第二條ノ規定ニ從ヒ本節ニ掲クル軍艦ヲ保有スルコトヲ得
合衆國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
「メーリランド」	三二、六〇〇
「カリフォルニア」	三二、三〇〇
「テネシー」	三二、三〇〇
「アイダホ」	三二、〇〇〇
「ニュー、メキシコ」	三二、〇〇〇
「ミシシッピ」	三二、〇〇〇
「アリゾーナ」	三一、四〇〇

「ペンシルヴェニア」	三一、四〇〇
「オクラホーマ」	二七、五〇〇
「ネヴァーダ」	二七、五〇〇
「ニュー、ヨーク」	二七、〇〇〇
「テキサス」	二七、〇〇〇
「アーカンソー」	二六、〇〇〇
「ワイオミング」	二六、〇〇〇
「フロリダ」	二一、八二五
「ユタ」	二一、八二五
「ノース、ダコータ」	二〇、〇〇〇
「デラウエア」	二〇、〇〇〇
合計噸數	五〇〇、六五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ「ウエスト、ヴァージニア」級ニ隻ヲ完成シ且「ノース、ダコータ」及「デラウエア」ヲ廢棄シタル上ハ合衆國ノ保有スル合計噸數ハ五十二萬五千八百五十噸ナリ

英帝國ノ保有シ得ヘキ軍艦

「ローヤル、ソヴェレン」	二五、七五〇
「ローヤル、オーク」	二五、七五〇
「リヴェンジ」	二五、七五〇
「レヅリネーション」	二五、七五〇
「ラミリース」	二五、七五〇
「マラヤ」	二七、五〇〇
「ヴァリアント」	二七、五〇〇
「バーラム」	二七、五〇〇
「クワイン、エリザベス」	二七、五〇〇
「ウァースパイット」	二七、五〇〇
「ペンボート」	二五、〇〇〇
「エンペラー、オヴ、インディア」	二五、〇〇〇
「アイアン、デューク」	二五、〇〇〇
「マーバラ」	二五、〇〇〇
「フッド」	四一、二〇〇
「リナウン」	二六、五〇〇
「リパルス」	二六、五〇〇

「ダイガー」 二八、五〇〇

「サンダラー」 二二、五〇〇

「キング、ジョージ五世」 二二、〇〇〇

「エー、ジャックス」 二二、〇〇〇

「セシナ、ユーリオン」 二二、〇〇〇

合計噸數 五八〇、四五〇

第二條ノ規定ニ從ヒ建造セラルヘキ新軍艦二隻ヲ完成シ且「サンダラー」、「キング、ジョージ五世」、「エー、ジャックス」及「セシナ、ユーリオン」ヲ廢棄シタル上ハ英帝國ノ保有スル合計噸數ハ五十五萬八千九百五十噸ナリ

艦名

「ブルターニユ」 二二、五〇〇

「ロレーヌ」 二二、五〇〇

「プロヴァンス」 二二、五〇〇

「パリ」 二二、五〇〇

「フランス」 二二、五〇〇

「シアン、パール」 二二、五〇〇

噸數(メートル式噸)

「クール、ベ」 二二、五〇〇

「コンドルセ」 一八、八九〇

「ディドロ」 一八、八九〇

「ヴォルテール」 一八、八九〇

合計噸數 二二一、一七〇

佛蘭西國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

伊太利國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名

噸數(メートル式噸)

「アンドレア、ドーリア」 二二、七〇〇

「カイオ、デウイリオ」 二二、七〇〇

「コンテ、デイ、カヴール」 二二、五〇〇

「ジュリオ、チエザレ」 二二、五〇〇

「レオナルド、ダ、ヴィンチ」 二二、五〇〇

「ダンテ、アリギエーリ」 一九、五〇〇

「ローマ」 二二、六〇〇

「ナポリ」 二二、六〇〇

「ジットーリオ、エマヌエレ」 一二、六〇〇
 「レジナ、エレナ」 一二、六〇〇

合計噸數 一八二、八〇〇

伊太利國ハ第三節第二款ノ規定ニ從ヒ千九百二十七年、千九百二十九年及千九百三十一年ニ新艦ヲ起工スルコトヲ得

日本國ノ保有シ得ヘキ軍艦

艦名	噸數
陸奥	三三、八〇〇
長門	三三、八〇〇
日向	三一、二六〇
伊勢	三一、二六〇
山城	三〇、六〇〇
扶桑	三〇、六〇〇
霧島	二七、五〇〇
榛名	二七、五〇〇
比叡	二七、五〇〇
金剛	二七、五〇〇

合計噸數 三〇一、三二〇

第二節

軍艦廢棄ニ關スル規則

第二條及第三條ノ規定ニ從ヒ處分スヘキ軍艦ノ廢棄ニ關シテハ左ノ諸規則ヲ遵守スヘシ

- 一 廢棄スル軍艦ハ之ヲ戰鬥用ニ供シ得サル狀態ニ置クコトヲ要ス
- 二 右結果ハ左ノ方法ノ何レカノ一ニ依リ確定的ニ之ヲ實現スルコトヲ要ス

- (イ) 軍艦ヲ永久ニ沈没セシムルコト
- (ロ) 軍艦ヲ解体スルコト 解体ハ必ス一切ノ機械、汽罐及裝甲並一切ノ甲板、舷側及船底ノ鈹ノ破壞又ハ撤去ヲ含ムヘキモノトス
- (ハ) 軍艦ヲ專ラ標的用ニ變更スルコト 此ノ場合ニ於テ本節第三號ノ一切ノ規定ハ豫メ之ヲ遵守スルコトヲ要ス但シ(六)軍艦ヲ移動標的トシテ使用スルニ必要ナル限度ニ於テ及(七)ハ此ノ限ニ在ラス各締約國ハ右目的ノ爲同時ニ一隻ヲ超ユル主力艦ヲ保有スルコトヲ得ス
- (ニ) 佛蘭西國及伊太利國ハ千九百三十一年又ハ其ノ以後ニ於テ本條約ニ

依リテ廢棄スヘキ主力艦中ヨリ專ラ練習用ノ爲即チ砲術學校又ハ水雷學校用トシテ航海可能ノモノ二隻ヲ各自保有スルコトヲ得佛蘭西國ノ保有スル右軍艦二隻ハ「ジアン、パール」級ノモノタルヘク又伊太利國ノ保有スルモノノ内一隻ハ「ダンテ、アリギエーリ」ニシテ他ノ一隻ハ「ジュリオ、チエデーレ」級ノモノタルヘシ佛蘭西國及伊太利國ハ前記目的ノ爲右軍艦ヲ保有スルニ當リ其ノ司令塔ヲ撤去破壞シ且該軍艦ヲ軍艦トシテ使用セサルヘキコトヲ各自約定ス

三

(イ) 第九條ニ掲クル例外ヲ留保シ軍艦カ廢棄ノ時期ニ到達シタルトキハ直ニ廢棄ノ第一期作業即チ軍艦ヲ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スコトニ著手スヘシ

(ロ)

軍艦ハ左ノ諸物件ヲ撤去陸揚シ又ハ艦内ニ於テ破壊シタルトキハ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト認メラルヘシ

(一) 一切ノ砲及砲ノ主要部分、砲火指揮所並一切ノ露砲塔及砲塔ノ旋回部

(二) 水壓又ハ電力ヲ以テ作動スル砲架ノ操作ニ必要ナル一切ノ機械

(三) 一切ノ砲火指揮用具及距離測定儀

(四) 一切ノ彈藥、爆藥及機雷

(五) 一切ノ魚雷、實用頭部及發射管

(六) 一切ノ無線電信裝置

(七) 司令塔及一切ノ舷側裝甲又ハ此等ノ代リニ一切ノ主要推進機械

(八) 一切ノ飛行機發著用甲板及其ノ他一切ノ航空用附屬物件

四

(イ)

第二條第一項ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ヲ本條約實施ノ時ヨリ六月内ニ完了シ且其ノ廢棄ヲ右實施ノ時ヨリ八月内ニ全部完了スヘシ

(ロ)

第二條第二項及第三項ニ依リ又ハ第三條ニ依リ廢棄スヘキ軍艦ニ付テハ本節第三號ニ從ヒ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ其ノ代艦完成ノ日以前ニ之ヲ開始シ右完成ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘシ該軍艦ハ其ノ代艦完成ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ但シ新艦ノ完成遲延スルトキハ本節第三號ニ從ヒ舊艦ヲ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業ハ新艦ノ龍骨据附後四年内ニ之ヲ開始シ該作業開始ノ日ヨリ六月内ニ之ヲ完了スヘク且舊艦ハ爾後戰闘任務ニ堪ヘサルモノト爲スノ作業開始ノ日ヨリ八月内ニ本節第二號ニ從ヒ確定的ニ之ヲ廢棄スヘシ

第三節

代換

主力艦及航空母艦ノ代換ハ本節第一款ノ規則及第二款ノ表ニ依リ之ヲ行フヘシ

第一款

代換ニ關スル規則

(イ) 主力艦及航空母艦ニシテ其ノ完成ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタルモノハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外新艦建造ニ依リ第四條及第七條ニ定ムル範圍内ニ於テ之ヲ代換スルコトヲ得右新艦ノ龍骨ハ第八條及本節第二款ノ表ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外代換セラルヘキ舊艦ノ完成ノ日ヨリ十七年ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ据附クルコトヲ得ス但シ主力艦ハ第二條第三項ニ掲クル軍艦及本節第二款ニ掲クル代換噸數ヲ除クノ外千九百二十一年十一月十二日ヨリ十年間ハ之ヲ起工スルコトヲ得ス

(ロ) 各締約國ハ速ニ左ノ事項ヲ他ノ各締約國ニ通知スヘシ

- (一) 新艦建造ニ依リ代換セラルヘキ主力艦及航空母艦ノ艦名
- (二) 代艦建造ニ對スル政府公認ノ日
- (三) 代艦ノ龍骨据附ノ日
- (四) 起工スル各新艦ノ噸及「メートル」式噸ニ依ル基準排水量竝主要寸法即チ水線全長、水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (五) 各新艦完成ノ日、完成ノ時ニ於ケル噸及「メートル」式噸ニ依ル基準排水量竝完成ノ時ニ於ケル主要寸法即チ水線全長、水線又ハ水線下ノ最大幅員及基準排水量ニ於ケル平均吃水
- (ハ) 主力艦又ハ航空母艦亡失シ又ハ不慮ノ事變ニ因リ破壊セラレタルトキハ第四條及第七條ニ定ムル噸數ノ範圍内ニ於テ且本條約ノ他ノ規定ニ從ヒ新艦建造ニ依リ直ニ之ヲ代換スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ正規ノ代換計畫ハ該艦ノ關スル限り之ヲ線シケタルモノト認ム
- (ニ) 保有スヘキ主力艦又ハ航空母艦ハ空中及水中ノ攻撃ニ對スル防禦裝置ヲ施スノ目的ヲ以テスル場合ニ限り下記ノ規定ニ從ヒ之ヲ改造スルコトヲ得即チ締約國ハ右目的ノ爲各現存艦ニ付其ノ増加スヘキ排水量三千噸(三千四百十八「メートル」式噸)ヲ超エサル限り「バルヂ」若ハ「プリスター」又ハ空中攻撃ニ對スル防禦甲板ヲ之ニ裝備スルコトヲ得舷側裝甲又ハ主砲ノ口徑、數若ハ一般

裝備法ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス

(一) 佛蘭西國及伊太利國ハ「バルヂ」ニ關シ増加スルコトヲ得ル噸數ノ範圍内ニ於テ其ノ現存主力艦ノ裝甲ヲ増加シ且其ノ備砲ノ口徑ヲ十六吋(四百六「ミリメートル」)ヲ超エサル限り増大スルコトヲ得

(二) 英帝國ハ「リナウン」ニ付テハ既ニ開始シ一時中止シタル裝甲變更工事ヲ完了スルコトヲ得

第二款

主力艦ノ代換及廢棄

合衆國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジュット」ラン 「海戰」 前ノ型 後ノ型
			「メーン」(10)、「ミズーリ」(10)、「ヴァージーニア」(17)、「ネブラスカ」(17)、「ジョージア」(17)	17 1

			「ニュー、ジャージー」(17)、「ロード、アイランド」(17)、「カネティカット」(17)、「ルイジアーナ」(17)、「ヴァーモント」(16)、「カンザス」(16)、「ミネソータ」(16)、「ニュー、ハンプシャー」(15)、「サウス、カロライナ」(11)、「ミシガン」(11)、「ウォシントン」(0)、「サウス、ダコータ」(0)、「インディアナ」(0)、「モンターナ」(0)、「ノース、カロライナ」(0)、「アイオワ」(0)、「マッサチュセッツ」(0)、「レキシントン」(0)、「コンスタチューション」(0)、「コンステレーション」(0)、「サラトガ」(0)、「レンジャア」(0)、「ユナイテッド、ステーツ」(0) (註)	
--	--	--	---	--

一九三三	「い、ろ」(註二)	「デラウェア」(一一二)、「ノース、ダ コタ」(一一二)	二四	一五	三
一九三三				一五	三
一九二四				一五	三
一九二五				一五	三
一九二六				一五	三
一九二七				一五	三
一九二八				一五	三
一九二九				一五	三
一九三〇				一五	三
一九三一	「は、に」	「フロリダ」(一一三)、「ユター」(一一三)		一五	三
一九三二	「ほ、へ」	「ワイオミング」(一一三)		一五	三
一九三三	「こ」	「アーカンソー」(一一三)、「テキサス」 (一一三)、「ニュー、ヨーク」(一一三)		一五	三
一九三四	「ち、り」			一五	三
一九三五	「ぬ」			九	七

一九三六	「が、を」	「ネヴァーダ」(一一〇)、「オクラホー マ」(一一〇)		七	八
一九三七	「わ」	「アリゾナ」(一一一)、「ペンシル ヴェーニア」(一一一)		五	一〇
一九三八	「か、よ」	「ミシシッピ」(一一一)		四	一一
一九三九	「た、れ」	「ニュー、メキシコ」(一一一)、「アイダ ホー」(一一〇)		二	一三
一九四〇	「わ」	「テネシー」(一一〇)		一	一四
一九四一	「か、よ」	「カリフォルニア」(一一〇)、「メーリ ランド」(一一〇)		〇	一五
一九四二	「た、れ」	「ウェスト、ヴァージニア」(級二隻)		〇	一五

(註一) 合衆國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上、オレゴン及イリ
ノイヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得

(註二) 「ウェスト、ヴァージニア」級二隻
備考「い、ろ」は「に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代換及廢棄

英 帝 國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「シユットラン ド」海戰 前ノ型後ノ型
			「コンモンウェルス」(一六)、「アガ メンノン」(一二)、「ドレッドノー ト」(一五)、「ペレロフォン」(一二)、「 セント、ヴィンセント」(一一)、「イ ンフレクシブル」(一二)、「シユバ ーブ」(一二)、「ネアチューン」(一 〇)、「ハーキュリーズ」(一〇)、「イ ンドミタブル」(一二)、「テメレー ア」(一二)、「ニュー、ジラランド」 (九)、「ライオン」(九)、「プリンセス、 ロイヤル」(九)、「コンケラー」(九)	一一一 一

一九三二	「い」、「ろ」(註二)		「モナーク」(九)、「オライオン」(九)、「 オーストレリア」(八)、「エジン コート」(七)、「エリン」(七)、「建造又 ハ計畫中ノ四隻(註一)	一一一 一一一 一一一	一 一 一
一九三三				一一一	一
一九三四				一一一	一
一九三五		「い」、「ろ」	「キング、ジョージ」五世(一二)、「エ ーリアックス」(一一)、「センチニエリ オン」(一一)、「サンダラー」(一一)	一一一	一
一九二六				一一一	一
一九二七				一一一	一
一九二八				一一一	一
一九二九				一一一	一
一九三〇				一一一	一
一九三一	「は」、「に」			一一一	一
一九三二	「ほ」、「へ」			一一一	一

一九三三	「じ」		「アイアン、デューク」(一一〇)、「マー バラ」(一一〇)、「エンペラー、オヴ、イ ンディア」(一一〇)、「ペンポー」(一一〇) 「ダイガー」(一一一)、「クワイン、エリ ザベス」(一一〇)、「ウァースバイト」 (一一〇)、「バーラム」(一一〇) 「マラヤ」(一一〇)、「ロイヤル、ソヴェ レン」(一一〇)	一七	一三
一九三五	「ぬ」	「ほ」「へ」	「リヴェンジ」(一一一)、「レヅリュー ション」(一一一) 「ロイヤル、オーク」(一一二) 「ヴァリアント」(一一三)、「リバルス」 (一一三) 「リナウン」(一一四) 「ラミリース」(一一四)、「フッド」(一一 二)	九	七
一九三六	「る」「を」	「じ」		七	八
一九三七	「わ」	「ち」「り」		五	〇
一九三八	「か」「よ」	「ぬ」		四	二
一九三九	「た」「れ」	「る」「を」		二	一
一九四〇		「わ」		一	四
一九四一		「か」「よ」		〇	五

一九四二	「た」「れ」	「い」「ろ」「は」「に」	「(一七)」「(一七)」	〇	一五
------	--------	--------------	--------------	---	----

(註一) 英帝國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上「コロツサス」及「コ
リンウッド」ヲ非戦闘用トシテ保有スルコトヲ得
(註二) 基準排水量三萬五千噸艦二隻
備考「い」「ろ」「は」「に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水
量三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

主力艦ノ代換及廢棄
佛蘭西國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數 「ジネットラン ド」海戰 前ノ型 後ノ型
一九三二				七
一九三三				七
一九三四				七

一九二五	三、五〇〇〇噸		七	〇
一九二六	三、五〇〇〇噸		七	〇
一九二七	三、五〇〇〇噸		七	〇
一九二八	三、五〇〇〇噸		七	〇
一九二九	三、五〇〇〇噸		七	〇
一九三〇	三、五〇〇〇噸	「ジャン、パール」(二七)、「クールベ ー」(二七)	五	〇
一九三一	三、五〇〇〇噸		五	〇
一九三二	三、五〇〇〇噸	「フランス」(一八)	四	〇
一九三三	三、五〇〇〇噸		四	〇
一九三四	三、五〇〇〇噸	「バリー」(一〇)、「アルターニユ」(一 〇)	二	〇
一九三五	三、五〇〇〇噸	「プロヴァンス」(一〇)	一	〇
一九三六	三、五〇〇〇噸	「ロレーヌ」(一〇)	〇	〇
一九三七			〇	〇
一九三八			〇	〇
一九三九			〇	〇

一九四〇	〇	〇	〇
一九四一	〇	〇	〇
一九四二	〇	〇	〇

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス
備考一 佛蘭西國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサ
ルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘ
キコトヲ條件トス

主力艦ノ代換及廢棄
伊太利國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數
一九二二				六
一九二三				六
一九二四				六
一九二五				六
一九二六				六
一九二七				六
一九二八				六
一九二九				六
一九三〇				六
一九三一				六
一九三二				六
一九三三				六

一九二四					六	○
一九二五					六	○
一九二六					六	○
一九二七	三五、〇〇〇噸				六	○
一九二八	三五、〇〇〇噸				六	○
一九二九	三五、〇〇〇噸				六	○
一九三〇					六	○
一九三一	三五、〇〇〇噸		三五、〇〇〇噸	「ダンテ、アリギエーリ」(一九)	五	○
一九三二	四五、〇〇〇噸				五	○
一九三三	二五、〇〇〇噸		三五、〇〇〇噸	「レオナルド、ダヴィンチ」(一九)	四	○
一九三四					四	○
一九三五			三五、〇〇〇噸	「ジュリオ、チェザーレ」(一一)	三	○
一九三六			四五、〇〇〇噸	「コンテ、デイ、カヴール」(一一)、 「デッ イリオ」(一一)	一	○
一九三七			二五、〇〇〇噸	「アンドレア、ドーリア」(一一)	○	○

(註) 噸數制限ノ範圍内ニ於テ隻數ハ任意トス

備考—伊太利國ハ主力艦噸數割當ヲ其ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ使用ス
ルノ權利ヲ明ニ留保ス但シ各艦ノ排水量カ三萬五千噸ヲ超エサ
ルコト及主力艦合計噸數カ本條約ニ定ムル制限ノ範圍内タルヘ
キコトヲ條件トス

主力艦ノ代換及廢棄
日本國

年度	起工代艦	完成代艦	廢棄艦(括弧内ノ數字ハ艦齡)	保有艦總數
			肥前(二〇)、三笠(二〇)、鹿島(一六)、香取(一六)、薩摩(一一)、安藝(一一)、攝津(一〇)、生駒(一四)、伊吹(一一)、鞍馬(一一)、天城(〇)、赤城(〇)、加賀(〇)、土佐(〇)、高雄(〇)、愛宕(〇)、未タ起工セサル計畫中	八 二

三三三

三三二

一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七	一九三八	一九三九	一九四〇	一九四一	一九四二
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
に	に	に	に	に	に	に	に	に	に	に
八隻(註)										
扶桑(二二)	霧島(二二)	比叡(二二)、榛名(二〇)	金剛(二二)							
三	四	五	七	八	八	八	八	八	八	八
六	五	四	三	二	二	二	二	二	二	二

三四

一九三二	一九三三	一九三四	一九三五	一九三六	一九三七
い	い	い	い	い	い
に	に	に	に	に	に
山城(二二)	伊勢(二二)	日向(二二)	長門(二二)	陸奥(二二)	
二	一	〇	〇	〇	
七	八	九	九	九	

(註) 日本國ハ第二節第三號(ロ)ノ規定ニ準據シタル上敷島及朝日ヲ非戰
 關用トシテ保有スルコトヲ得
 備考「い」「ろ」「は」「に」等ハ當該年度ニ於テ起工シ及完成スヘキ基準排水量
 三萬五千噸ノ各主力艦ヲ示ス

第二款ノ一切ノ表ニ適用スヘキ備考

前記ノ軍艦廢棄順序ハ艦齡ニ依ル尤モ前掲諸表ニ依リ代換ノ開始スルトキハ
 各締約國ハ其ノ軍艦廢棄順序ヲ任意ニ變更スルコトヲ得但シ各年度ニ付表中
 ニ規定スル艦數ヲ廢棄スルコトヲ要ス

第四節

三五

定義

三六

左ノ用語ハ本條約ノ適用ニ付テハ本節ニ定ムル意義ニ之ヲ解スヘキモノトス

主力艦

主力艦トハ將來建造スル軍艦ニ關スル限り基準排水量一萬噸(一萬百六十七メートル)式噸ヲ超ユル軍艦又ハ口徑八吋(二百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ裝備スル軍艦ニシテ航空母艦ニ非サルモノヲ謂フ

航空母艦

航空母艦トハ特ニ且專ラ航空機ヲ搭載スル目的ヲ以テ設計シタル基準排水量一萬噸(一萬百六十七メートル)式噸ヲ超ユル軍艦ヲ謂フ航空母艦ハ艦上ニ於テ航空機ノ發著シ得ヘキ構造ヲ有スヘク且第九條又ハ第十條ノ何レカニ依リ許容セラレタルモノ以上ノ有力ナル砲ヲ裝備スルノ設計構造ヲ有セサルコトヲ要ス

基準排水量

軍艦ノ基準排水量トハ工事完成シ、乗員ヲ充實シ、機關ヲ据附ケ且航海準備一切

ノ武器彈藥、齊備品、艙裝品、乘員用ノ糧食及清水、各種需品並戰時ニ於テ裝備スヘキ各種ノ要具ノ搭載ヲ含ム完成シ唯燃料及豫備罐水ヲ搭載セサル軍艦ノ排水量ヲ謂フ

本條約中「噸」ノ語ハ「メートル」式噸ノ語ヲ用キタル場合ヲ除クノ外二千二百四十「ポンド」千十六「キログラム」ノ噸ヲ意味スルモノトス

現ニ完成シタル軍艦ハ各自國ノ計量法ニ依リ算定シタル現排水量噸數ヲ引續キ有スルモノトス但シ「メートル」式噸ヲ以テ排水量ヲ表示スル國ハ本條約ノ適用ニ付テハ之ヲ二千二百四十「ポンド」ノ噸ヲ以テ算定シタル相當排水量ヲ有スルニ過キサルモノト看做ス

今後完成スル軍艦ノ排水量噸數ハ右ニ定ムル基準排水量ニ付之ヲ算定スルモノトス

第三章

雜則

第二十一條

本條約ノ有効期間中何レカノ締約國ニ於テ海軍力ニ依ル防衛ニ關スル自國安

三七

全ノ要件カ四圍ノ狀況ノ變化ニ依リ重大ナル影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニ於テハ締約國ハ該國ノ要求ニ基キ本條約ノ規定ヲ再議シ且相互ノ協定ニ依リ之カ修正ヲ爲スノ目的ヲ以テ會議ヲ開催スヘシ

技術上及科學上ノ將來ノ發達ヲ考量シ合衆國ハ他ノ締約國ト協議ノ上右發達ニ適應スル爲本條約中如何ナル變更ヲ必要トスヘキカヲ審議スルノ目的ヲ以テ本條約實施ノ時ヨリ八年ヲ經過シタル後成ルヘク速ニ會合スヘキ締約國全部ノ會議ノ開催ヲ準備スヘシ

第二十二條

何レカノ締約國カ海軍力ニ依ル自國安全ノ防衛ニ影響ヲ及ホスト認ムル戰爭ニ從事スルニ至リタル場合ニ於テハ該締約國ハ他ノ締約國ニ通告ヲ爲シタル後第十三條及第十七條ニ規定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ右敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得但シ該締約國ハ他ノ締約國ニ對シ該時局カ右停止ヲ必要トスル性質ノモノナルコトヲ通告スルコトヲ要ス

前記ノ場合ニ於テ爾餘ノ締約國ハ本條約中相互ノ間ニ如何ナル一時的修正ヲ爲スヘキカニ關シ協定ヲ爲スノ目的ヲ以テ協議スヘシ該協議ノ結果各締約國ノ憲法上ノ手續ニ準據シテ正當ニ成立スル協定ヲ得ルニ至ラサルトキハ右締約國ノ何レノ一國モ他ノ締約國ニ通告ヲ與ヘタル上第十三條及第十七條ニ規

定スルモノヲ除クノ外本條約ニ定ムル自國ノ義務ヲ該敵對行爲ノ期間中停止スルコトヲ得

敵對行爲終了ノ上ハ締約國ハ本條約ノ規定中如何ナル修正ヲ爲スヘキカニ付審議スル爲會議ヲ開催スヘシ

第二十三條

本條約ハ千九百三十六年十二月三十一日迄效力ヲ有ス締約國中何レノ一國ヨリモ右期日ノ二年前ニ本條約ヲ廢止スルノ意思ヲ通告セサルトキハ本條約ハ締約國ノ一國カ廢止ノ通告ヲ爲シタル日ヨリ二年ヲ經過スル迄引續キ其ノ效力ヲ有スヘク爾後本條約ハ締約國全部ニ對シ廢止セララルヘシ右通告ハ合衆國政府ニ對シ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘク同政府ハ直ニ通告書ノ認證謄本ヲ爾餘ノ締約國ニ送付シ且通告書ヲ受領シタル日ヲ之ニ通知スヘシ該通告ハ右受領ノ日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生スルモノトス合衆國政府自ラ廢止ノ通告ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ通告ハ他ノ締約國ノ華盛頓駐劄外交代表者ニ對シテ之ヲ行フヘク該通告ハ右外交代表者ニ通牒ヲ爲シタル日ニ行ハレタルモノト看做シ且其ノ日ヨリ效力ヲ生シタル日ヨリ一年內ニ締約國全部ハ會議ヲ開催スヘシ

第二十四條

本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セララルヘク且批准書全部ノ寄託ノ日ヨリ實施セララルヘシ右ノ寄託ハ成ルヘク速ニ華盛頓ニ於テ之ヲ行フヘシ合衆國政府ハ批准書寄託ノ調書ノ認證謄本ヲ他ノ締約國ニ送付スヘシ

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トシ合衆國政府ノ記錄ニ寄託保存セララルヘク其ノ認證謄本ハ同政府ヨリ他ノ締約國ニ之ヲ送付スヘシ
右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名ス

千九百二十二年二月六日華盛頓市ニ於テ之ヲ作成ス

チャールズ、エヴァンス、ヒューズ
ヘンリー、カボット、ロッジ
オズカー、ダブリュー、アングラッド
エリヒュー、ルード
(印) (印) (印) (印)

アーサー、ジエームス、バルフォア
リー、オヴ、フェアラム
エー、シー、ゲデス
アール、エル、ボーデン
ジー、エフ、ピアス
ジョン、ダブリュー、サルモンド
アーサー、ジエームス、バルフォア
ヴィー、エス、スリニヴァサ、サストリ
アー、サロー
ジユスラン
カルロ、シァンツェル
ヴィー、ロラン、テイ、リッチ
ルイジ、アルベル、ティニ
加藤友三郎
幣原喜重郎
(印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印)

埴原正直

四二

(印)

秘

TRAITÉ

ENTRE

CINQ PUISSANCES

CONCERNANT

LA LIMITATION DE LEUR ARMEMENT NAVAL

SIGNÉ À WASHINGTON, LE 6 FÉVRIER 1922

TREATY

BETWEEN THE

FIVE POWERS

CONCERNING THE

LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT

SIGNED AT WASHINGTON, FEBRUARY 6, 1922

Les Etats-Unis d'Amérique, l'Empire Britannique, la France, l'Italie et le Japon;

Désireux de contribuer au maintien de la paix générale et de réduire le fardeau imposé par la compétition en matière d'armement;

Ont résolu, pour atteindre ce but, de conclure un traité limitant leur armement naval.

A cet effet, les Puissances Contractantes ont désigné pour leurs Plénipotentiaires:

Le Président des Etats-Unis d'Amérique:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citoyens des Etats-Unis;

Sa Majesté le Roi du Royaume-Uni de Grande Bretagne et d'Irlande et des Territoires britanniques au delà des mers, Empereur des Indes:

Le Très-Honorable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord Président du Conseil du Roi;

Le Très-Honorable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., Premier Lord de l'Amirauté.

Le Très-Honorable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire aux Etats-Unis d'Amérique;

et

pour le Dominion du Canada:

Le Très-Honorable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.

The United States of America, the British Empire, France, Italy and Japan;

Desiring to contribute to the maintenance of the general peace, and to reduce the burdens of competition in armament;

Have resolved, with a view to accomplishing these purposes, to conclude a treaty to limit their respective naval armament, and to that end have appointed as their Plenipotentiaries;

The President of the United States of America:

Charles Evans Hughes,
Henry Cabot Lodge,
Oscar W. Underwood,
Elihu Root,

citizens of the United States;

His Majesty the King of the United Kingdom of Great Britain and Ireland and of the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India:

The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P., Lord President of His Privy Council;

The Right Honourable Baron Lee of Fareham, G. B. E., K. C. B., First Lord of His Admiralty;

The Right Honourable Sir Auckland Campbell Geddes, K. C. B., His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America;

and

for the Dominion of Canada:

The Right Honourable Sir Robert Laird Borden, G. C. M. G., K. C.;

pour le Commonwealth d'Australie
Le Très-Honorable George Foster Pearce, Sénateur, Ministre de l'Intérieur et des Territoires;

pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande:
L'Honorable Sir John William Salmond, K. C., Juge à la Cour Suprême de Nouvelle-Zélande;

pour l'Union Sud-Africaine
Le Très-Honorable Arthur James-Balfour, O. M., M. P.;

pour l'Inde:
Le Très-Honorable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Membre du Conseil d'Etat de l'Inde;

Le Président de la République Française:
M. Albert Sarraut, Député, Ministre des Colonies;
M. Jules J. Jusserand, Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire près le Président des Etats Unis d'Amérique, Grand Croix de l'Ordre National de la Légion d'Honneur;

Sa Majesté le Roi d'Italie:
L'Honorable Carlo Schanzer, Sénateur du Royaume;
L'Honorable Vittorio Rolandi Ricci, Sénateur du Royaume, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington;
L'Honorable Luigi Albertini, Sénateur du Royaume;

Sa Majesté l'Empereur du Japon:
Le Baron Tomosaburo Kato, Ministre de la Marine, Junii, Membre de la Première Classe

for the Commonwealth of Australia:
Senator the Right Honourable George Foster Pearce, Minister for Home and Territories;

for the Dominion of New Zealand:
The Honourable Sir John William Salmond, K. C., Judge of the Supreme Court of New Zealand;

for the Union of South Africa
The Right Honourable Arthur James Balfour, O. M., M. P.;

for India:
The Right Honourable Valingman Sankaranarayana Srinivasa Sastri, Member of the Indian Council of State;

The President of the French Republic:
Mr. Albert Sarraut, Deputy, Minister of the Colonies;
Mr. Jules J. Jusserand, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary to the United States of America, Grand Cross of the National Order of the Legion of Honour;

His Majesty the King of Italy:
The Honourable Carlo Schanzer, Senator of the Kingdom;
The Honourable Vittorio Rolandi Ricci, Senator of the Kingdom, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington;
The Honourable Luigi Albertini, Senator of the Kingdom;

His Majesty the Emperor of Japan:
Baron Tomosaburo Kato, Minister for the Navy, Junii, a member of the First Class of

de l'Ordre Impérial du Grand Cordon du Soleil Levant avec la Fleur de Paulonia;
Le Baron Kijuro Shidehara, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire à Washington, Joshii, Membre de la Première Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;
M. Masanao Hanihara, Vice-Ministre des Affaires Etrangères, Joshii, Membre de la Seconde Classe de l'Ordre Impérial du Soleil Levant;

lesquels, après avoir échangé leurs pleins pouvoirs, reconnus en bonne et due forme, ont convenu des dispositions suivantes:

CHAPITRE I.

DISPOSITIONS GENERALES RELATIVES A LA LIMITATION DE L'ARMEMENT NAVAL.

ARTICLE I.

Les Puissances Contractantes conviennent de limiter leur armement naval ainsi qu'il est prévu au présent traité.

ARTICLE II.

Les Puissances Contractantes pourront conserver respectivement les navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1. A la mise en vigueur du présent Traité et sous réserve des dispositions ci-dessous du présent article, il sera disposé comme il est prescrit au chapitre II, partie 2, de tous les autres navires de ligne des Etats-Unis, de l'Empire Britannique et du Japon, construits ou en construction.

the Imperial Order of the Grand Cordon of the Rising Sun with the Paulownia Flower;
Baron Kijuro Shidehara, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at Washington, Joshii, a member of the First Class of the Imperial Order of the Rising Sun;
Mr. Masanao Hanihara, Vice Minister for Foreign Affairs, Joshii, a member of the Second Class of the Imperial Order of the Rising Sun;

Who, having communicated to each other their respective full powers, found to be in good and due form, have agreed as follows:

CHAPTER I.

GENERAL PROVISIONS RELATING TO THE LIMITATION OF NAVAL ARMAMENT.

ARTICLE I.

The Contracting Powers agree to limit their respective naval armament as provided in the present Treaty.

ARTICLE II.

The Contracting Powers may retain respectively the capital ships which are specified in Chapter II, Part 1. On the coming into force of the present Treaty, but subject to the following provisions of this Article, all other capital ships, built or building, of the United States, the British Empire and Japan shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

En sus des navires de ligne énumérés au chapitre II, partie 1, les États-Unis pourront achever et conserver deux navires actuellement en construction de la classe *West Virginia*. A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *North Dakota* et du *Delaware* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

L'Empire Britannique pourra, conformément au tableau de remplacement du chapitre II, partie 3, construire deux nouveaux navires de ligne ayant chacun un déplacement type maximum de 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques). A l'achèvement de ces deux navires, il sera disposé du *Thunderer*, du *King George V*, de l'*Ajax* et du *Centurion* comme il est prescrit au chapitre II, partie 2.

ARTICLE III.

Sous réserve des dispositions de l'article II, les Puissances Contractantes abandonneront leur programme de construction de navires de ligne et ne construiront ou n'acquerront aucun nouveau navire de ligne, à l'exception du tonnage de remplacement qui pourra être construit ou acquis comme il est spécifié au chapitre II, partie 3.

Il sera disposé selon les prescriptions du chapitre II, partie 2, des navires remplacés conformément au chapitre II, partie 3.

ARTICLE IV.

Le tonnage total des navires de ligne de remplacement, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les États-Unis, 525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique

In addition to the capital ships specified in Chapter II, Part 1, the United States may complete and retain two ships of the *West Virginia* class now under construction. On the completion of these two ships the *North Dakota* and *Delaware* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

The British Empire may, in accordance with the replacement table in Chapter II, Part 3, construct two new capital ships not exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement each. On the completion of the said two ships the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion* shall be disposed of as prescribed in Chapter II, Part 2.

ARTICLE III.

Subject to the provisions of Article II, the Contracting Powers shall abandon their respective capital ship building programs, and no new capital ships shall be constructed or acquired by any of the Contracting Powers except replacement tonnage which may be constructed or acquired as specified in Chapter II, Part 3.

Ships which are replaced in accordance with Chapter II, Part 3, shall be disposed of as prescribed in Part 2 of that Chapter.

ARTICLE IV.

The total capital ship replacement tonnage of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 525,000 tons (533,400 metric tons); for the British Empire 525,000 tons (533,400 metric tons); for France 175,

525.000 tonnes (533.400 tonnes métriques); pour la France 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour l'Italie 175.000 tonnes (177.800 tonnes métriques); pour le Japon 315.000 tonnes (320.040 tonnes métriques)

ARTICLE V.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire de ligne d'un déplacement type supérieur à 35.000 tonnes (35.560 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

ARTICLE VI.

Aucun navire de ligne de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 16 pouces (406 millimètres).

ARTICLE VII.

Le tonnage total des navires porte-aéronefs, calculé d'après le déplacement type, ne dépassera pas, pour chacune des Puissances Contractantes, savoir: pour les États-Unis 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques); pour l'Empire Britannique 135.000 tonnes (137.160 tonnes métriques), pour la France 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour l'Italie 60.000 tonnes (60.960 tonnes métriques); pour le Japon 81.000 tonnes (82.296 tonnes métriques).

ARTICLE VIII.

Le remplacement des navires porte-aéronefs n'aura lieu que selon les prescriptions du Chapitre II, partie 3, toutefois il est entendu que tous les navires porte-aéronefs construits ou en

000 tons (177,800 metric tons); for Italy 175,000 tons (177,800 metric tons); for Japan 315,000 tons (320,040 metric tons).

ARTICLE V.

No capital ship exceeding 35,000 tons (35,560 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

ARTICLE VI.

No capital ship of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 16 inches (406 millimetres).

ARTICLE VII.

The total tonnage for aircraft carriers of each of the Contracting Powers shall not exceed in standard displacement, for the United States 135,000 tons (137,160 metric tons); for the British Empire 135,000 tons (137,160 metric tons); for France 60,000 tons (60,960 metric tons); for Italy 60,000 tons (60,960 metric tons); for Japan 81,000 tons (82,296 metric tons).

ARTICLE VIII.

The replacement of aircraft carriers shall be effected only as prescribed in Chapter II, Part 3, provided, however, that all aircraft carrier tonnage in existence or building on November 12,

— 6 —
construction à la date du 12 novembre 1921 sont considérés comme navires d'expérience et pourront être remplacés, quel que soit leur âge, dans les limites de tonnage total prévues à l'article VII.

ARTICLE IX

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire de navire porte-aéronefs, d'un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité.

Toutefois chacune des Puissances Contractantes pourra, pourvu qu'elle ne dépasse pas son tonnage total alloué de navires porte-aéronefs, construire au plus deux navires porte-aéronefs, chacun d'un déplacement type maximum de 33.000 tonnes (33.528 tonnes métriques); à cet effet et pour des raisons d'économie, chacune des Puissances Contractantes pourra utiliser deux de ses navires, terminés ou non terminés, pris à son choix parmi ceux qui, sans cela, devraient être mis hors d'état de servir pour le combat aux termes de l'article II. L'armement d'un navire porte-aéronefs ayant un déplacement type supérieur à 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques) sera soumis aux dispositions de l'article X, avec cette restriction que, si cet armement comporte un seul canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons ne pourra dépasser huit, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres).

1921, shall be considered experimental, and may be replaced, within the total tonnage limit prescribed in Article VII, without regard to its age.

ARTICLE IX

No aircraft carrier exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be acquired by, or constructed by, for or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers.

However, any of the Contracting Powers may, provided that its total tonnage allowance of aircraft carriers is not thereby exceeded, build not more than two aircraft carriers, each of a tonnage of not more than 33,000 tons (33,528 metric tons) standard displacement, and in order to effect economy any of the Contracting Powers may use for this purpose any two of their ships, whether constructed or in course of construction, which would otherwise be scrapped under the provisions of Article II. The armament of any aircraft carriers exceeding 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement shall be in accordance with the requirements of Article X, except that the total number of guns to be carried in case any of such guns be of a calibre exceeding 6 inches (152 millimetres), except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed eight.

ARTICLE X.

— 7 —
Aucun navire porte-aéronefs de l'une quelconque des Puissances Contractantes ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres). Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, si l'armement comprend des canons d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre total des canons pourra être de dix au maximum, non compris les canons contre aéronefs et les canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres). Si, au contraire, l'armement ne comprend pas de canon d'un calibre supérieur à 6 pouces (152 millimètres), le nombre des canons n'est pas limité. Dans les deux cas, le nombre des canons contre aéronefs et des canons d'un calibre ne dépassant pas 5 pouces (127 millimètres) n'est pas limité.

ARTICLE XI.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne pas acquérir, à ne pas construire et à ne pas faire construire, en dehors des navires de ligne ou des navires porte-aéronefs, de navires de combat d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), et à ne pas en permettre la construction dans le ressort de leur autorité. Ne sont pas soumis aux limitations du présent article les bâtiments employés soit à des services de la flotte, soit à des transports de troupes, soit à toute autre participation à des hostilités qui ne serait pas celle d'un navire combattant, pourvu qu'ils ne soient pas spécifiquement construits comme navires combattants

ARTICLE X.

No aircraft carrier of any of the Contracting Powers shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres) Without prejudice to the provisions of Article IX, if the armament carried includes guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre the total number of guns carried, except anti-aircraft guns and guns not exceeding 5 inches (127 millimetres), shall not exceed ten. If alternatively the armament contains no guns exceeding 6 inches (152 millimetres) in calibre, the number of guns is not limited. In either case the number of anti-aircraft guns and of guns not exceeding 5 inches (127 millimetres) is not limited.

ARTICLE XI

No vessel of war exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, other than a capital ship or aircraft carrier, shall be acquired by, or constructed by, for, or within the jurisdiction of, any of the Contracting Powers. Vessels not specifically built as fighting ships nor taken in time of peace under government control for fighting purposes, which are employed on fleet duties or as troop transports or in some other way for the purpose of assisting in the prosecution of hostilities otherwise than as fighting ships, shall not be within the limitations of this Article.

ou placés en temps de paix sous l'autorité du Gouvernement dans un but de combat.

ARTICLE XII.

En dehors des navires de ligne, aucun navire de combat de l'une quelconque des Puissances Contractantes, mis en chantier à l'avenir, ne portera de canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres).

ARTICLE XIII.

Sous réserve de l'exception prévue à l'article IX, aucun navire à déclasser par application du présent Traité ne pourra redevenir navire de guerre.

ARTICLE XIV.

Il ne sera fait, en temps de paix, aucune installation préparatoire sur les navires de commerce en vue de les armer pour les convertir en navire de guerre; toutefois, il sera permis de renforcer les ponts pour pouvoir monter des canons d'un calibre ne dépassant pas 6 pouces (152 millimètres)

ARTICLE XV.

Aucun navire de guerre construit pour une Puissance non contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante ne devra dépasser les limites de déplacement et d'armement prévues au présent Traité pour les navires similaires à construire par ou pour les Puissances Contractantes. Toutefois la limite du déplacement type des navires porte-aéronefs construits pour une Puissance non contractante ne devra en aucun cas dépasser 27.000 tonnes (27.432 tonnes métriques)

ARTICLE XII.

No vessel of war of any of the Contracting Powers, hereafter laid down, other than a capital ship, shall carry a gun with a calibre in excess of 8 inches (203 millimetres).

ARTICLE XIII.

Except as provided in Article IX, no ship designated in the present Treaty to be scrapped may be recon-verted into a vessel of war.

ARTICLE XIV.

No preparations shall be made in merchant ships in time of peace for the installation of warlike armaments for the purpose of converting such ships into vessels of war, other than the necessary stiffening of decks for the mounting of guns not exceeding 6 inch (152 millimetres) calibre.

ARTICLE XV.

No vessel of war constructed within the jurisdiction of any of the Contracting Powers for a non-Contracting Power shall exceed the limitations as to displacement and armament prescribed by the present Treaty for vessels of a similar type which may be constructed by or for any of the Contracting Powers; provided, however, that the displacement for aircraft carriers constructed for a non-Contracting Power shall in no case exceed 27,000 tons (27,432 metric tons) standard displacement.

ARTICLE XVI.

Si un navire de guerre, quel qu'il soit, est mis en construction pour le compte d'une Puissance non Contractante dans le ressort de l'autorité d'une Puissance Contractante, cette dernière fera connaître, aussi rapidement que possible, aux autres Puissances Contractantes la date de signature du contrat de construction et celle de mise sur cale du navire; elle leur communiquera également les caractéristiques du navire, en se conformant au Chapitre 11, partie 3, section I (b), (4) et (5).

ARTICLE XVII.

Si l'une des Puissances Contractantes vient à être engagée dans une guerre, elle n'emploiera pas comme tels les navires de guerre quels qu'ils soient, en construction ou construits mais non livrés, dans le ressort de son autorité, pour le compte de toute autre Puissance.

ARTICLE XVIII.

Les Puissances Contractantes s'engagent à ne disposer ni à titre gratuit, ni à titre onéreux, ni autrement, de leurs navires de guerre, quels qu'ils soient, dans des conditions permettant à une Puissance étrangère de les employer comme tels.

ARTICLE XIX.

Les Etats-Unis, l'Empire Britannique et le Japon conviennent de maintenir, en matière de fortifications et de bases navales, le statu quo tel qu'il existe au jour de la signature du présent traité dans leurs territoires et possessions respectifs ci-après désignés:

(1) Les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, des Etats-Unis;

ARTICLE XVI.

If the construction of any vessel of war for a non-Contracting Power is undertaken within the jurisdiction of any of the Contracting Powers, such Power shall promptly inform the other Contracting Powers of the date of the signing of the contract and the date on which the keel of the ship is laid; and shall also communicate to them the particulars relating to the ship prescribed in Chapter II, Part 3, Section I (b), (4) and (5).

ARTICLE XVII.

In the event of a Contracting Power being engaged in war, such Power shall not use as a vessel of war any vessel of war which may be under construction within its jurisdiction for any other Power, or which may have been constructed within its jurisdiction for another Power and not delivered.

ARTICLE XVIII.

Each of the Contracting Powers undertakes not to dispose by gift, sale or any mode of transfer of any vessel of war in such a manner that such vessel may become a vessel of war in the Navy of any foreign Power.

ARTICLE XIX.

The United States, the British Empire and Japan agree that the status quo at the time of the signing of the present Treaty, with regard to fortifications and naval bases, shall be maintained in their respective territories and possessions specified hereunder:

(1) The insular possessions which the United States now holds or may

dans l'Océan Pacifique, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte des Etats-Unis, de l'Alaska et de la zone du Canal de Panama, non compris les Iles Aléoutiennes; (b) des Iles Hawai;

(2) Hong-Kong et les possessions insulaires, soit actuelles, soit futures, de l'Empire Britannique dans l'Océan Pacifique, situées à l'est du méridien de 110° est de Greenwich, à l'exception: (a) de celles avoisinant la côte du Canada; (b) du Commonwealth d'Australie et de ses Territoires; (c) de la Nouvelle-Zélande;

(3) Les territoires et possessions insulaires du Japon dans l'Océan Pacifique, ci-après désignés: Iles Kouriles, Iles Bonin, Amami-Oshima, Iles Liou-Kiou, Formose et Pescadores, ainsi que tous territoires ou possessions insulaires futurs du Japon dans l'Océan Pacifique.

Le maintien du statu quo visé ci-dessus implique

qu'il ne sera établi dans les territoires et possessions ci-dessus visés ni bases navales, ni fortifications nouvelles; qu'il ne sera prise aucune mesure de nature à accroître les ressources navales existant actuellement pour la réparation et l'entretien des forces navales; et qu'il ne sera procédé à aucun renforcement des défenses côtières des territoires et possessions ci-dessus visés. Toutefois, cette restriction n'empêchera pas la réparation et le remplacement de l'armement et des installations détériorés, selon la pratique des établissements navals et militaires en temps de paix.

ARTICLE XX.

Les règles de détermination du déplacement, telles qu'elles sont posées

hereafter acquiré in the Pacific Ocean, except (a) those adjacent to the coast of the United States, Alaska and the Panama Canal Zone, not including the Aleutian Islands, and (b) the Hawaiian Islands;

(2) Hongkong and the insular possessions which the British Empire now holds or may hereafter acquire in the Pacific Ocean, east of the meridian of 110° east longitude, except (a) those adjacent to the coast of Canada, (b) the Commonwealth of Australia and its Territories, and (c) New Zealand;

(3) The following insular territories and possessions of Japan in the Pacific Ocean, to wit: the Kurile Islands, the Bonin Islands, Amami-Oshima, the Loochoo Islands, Formosa and the Pescadores, and any insular territories or possessions in the Pacific Ocean which Japan may hereafter acquire.

The maintenance of the status quo under the foregoing provisions implies that no new fortifications or naval bases shall be established in the territories and possessions specified; that no measures shall be taken to increase the existing naval facilities for the repair and maintenance of naval forces, and that no increase shall be made in the coast defences of the territories and possessions above specified. This restriction, however, does not preclude such repair and replacement of worn-out weapons and equipment as is customary in naval and military establishments in time of peace.

ARTICLE XX.

The rules for determining tonnage displacement prescribed in Chapter II,

au Chapitre II, partie 4, s'appliqueront aux navires de chacune des Puissances Contractantes.

CHAPITRE II.

REGLES CONCERNANT L'EXECUTION DU TRAITE. DEFINITION DES TERMES EMPLOYES.

PARTIE I.

NAVIRES DE LIGNE QUI PEUVENT ETRE CONSERVES PAR LES PUISSANCES CONTRACTANTES.

Pourront être conservés par chacune des Puissances Contractantes, conformément à l'article II, les navires énumérés dans la présente partie.

Navires qui peuvent être conservés par les Etats-Unis.

Nom:	Tonnage.
Maryland.....	32,600
California.....	32,300
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvania.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Tonnage total.....	500,650

Quand les deux unités de la classe West Virginia seront achevées et quand le North Dakota et le Delaware seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par les Etats-Unis sera de 525,850 tonnes.

Part 4, shall apply to the ships of each of the Contracting Powers.

CHAPTER II.

RULES RELATING TO THE EXECUTION OF THE TREATY—DEFINITION OF TERMS.

PART I.

CAPITAL SHIPS WHICH MAY BE RETAINED BY THE CONTRACTING POWERS.

In accordance with Article II ships may be retained by each of the Contracting Powers as specified in this Part.

Ships which may be retained by the United States.

Name:	Tonnage.
Maryland.....	32,600
California.....	32,300
Tennessee.....	32,300
Idaho.....	32,000
New Mexico.....	32,000
Mississippi.....	32,000
Arizona.....	31,400
Pennsylvania.....	31,400
Oklahoma.....	27,500
Nevada.....	27,500
New York.....	27,000
Texas.....	27,000
Arkansas.....	26,000
Wyoming.....	26,000
Florida.....	21,825
Utah.....	21,825
North Dakota.....	20,000
Delaware.....	20,000
Total tonnage.....	500,650

On the completion of the two ships of the West Virginia class and the scrapping of the North Dakota and Delaware, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the United States will be 525,850 tons.

Navires qui peuvent être conservés par l'Empire Britannique.

Nom:	Tonnage
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	23,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Tonnage total.....	580,450

Quand les deux unités nouvelles à construire seront achevées, et quand le *Thunderer*, le *King George V*, l'*Ajax* et le *Centurion* seront déclassés, ainsi qu'il est indiqué à l'article II, le tonnage total à conserver par l'Empire Britannique sera de 558,950 tonnes.

Navires qui peuvent être conservés par la France.

Nom.	Tonnage (tonnes métriques).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Tonnage total.....	221,170

La France pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Ships which may be retained by the British Empire.

Name:	Tonnage
Royal Sovereign.....	25,750
Royal Oak.....	25,750
Revenge.....	25,750
Resolution.....	25,750
Ramillies.....	25,750
Malaya.....	27,500
Valiant.....	27,500
Barham.....	27,500
Queen Elizabeth.....	27,500
Warspite.....	27,500
Benbow.....	25,000
Emperor of India.....	25,000
Iron Duke.....	25,000
Marlborough.....	25,000
Hood.....	41,200
Renown.....	26,500
Repulse.....	26,500
Tiger.....	23,500
Thunderer.....	22,500
King George V.....	23,000
Ajax.....	23,000
Centurion.....	23,000
Total tonnage.....	580,450

On the completion of the two new ships to be constructed and the scrapping of the *Thunderer*, *King George V*, *Ajax* and *Centurion*, as provided in Article II, the total tonnage to be retained by the British Empire will be 558,950 tons.

Ships which may be retained by France.

Name:	Tonnage (metric tons).
Bretagne.....	23,500
Lorraine.....	23,500
Provence.....	23,500
Paris.....	23,500
France.....	23,500
Jean Bart.....	23,500
Courbet.....	23,500
Condorcet.....	18,890
Diderot.....	18,890
Voltaire.....	18,890
Total tonnage.....	221,170

France may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Navires qui peuvent être conservés par l'Italie.

Nom:	Tonnage (tonnes métriques).
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Dante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Tonnage total.....	182,500

L'Italie pourra mettre en chantier des navires neufs en 1927, 1929 et 1931, ainsi qu'il est prévu à la partie 3, section II.

Navires qui peuvent être conservés par le Japon.

Nom:	Tonnage
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Hiyuga.....	31,260
Ise.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-so.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Hiyei.....	27,500
Kongo.....	27,500
Tonnage total.....	301,320

PARTIE 2.

REGLES APPLICABLES AU DECLASSÉMENT DES NAVIRES DE GUERRE.

Les règles suivantes devront être observées pour le déclassément des navires de guerre dont on doit disposer comme il est prescrit aux articles II et III.

- I. Un navire pour être déclassé doit être mis hors d'état de servir pour le combat.
- II. Pour obtenir ce résultat d'une manière définitive, on devra employer l'un des moyens suivants:
 - (a) submersion du navire sans possibilité de renflouement;

Ships which may be retained by Italy.

Name:	Tonnage (metric tons)
Andrea Doria.....	22,700
Caio Duilio.....	22,700
Conte Di Cavour.....	22,500
Giulio Cesare.....	22,500
Leonardo Da Vinci.....	22,500
Dante Alighieri.....	19,500
Roma.....	12,600
Napoli.....	12,600
Vittorio Emanuele.....	12,600
Regina Elena.....	12,600
Total tonnage.....	182,500

Italy may lay down new tonnage in the years 1927, 1929, and 1931, as provided in Part 3, Section II.

Ships which may be retained by Japan.

Name:	Tonnage
Mutsu.....	33,800
Nagato.....	33,800
Hiyuga.....	31,260
Ise.....	31,260
Yamashiro.....	30,600
Fu-So.....	30,600
Kirishima.....	27,500
Haruna.....	27,500
Hiyei.....	27,500
Kongo.....	27,500
Total tonnage.....	301,320

PART 2

RULES FOR SCRAPPING VESSELS OF WAR

The following rules shall be observed for the scrapping of vessels of war which are to be disposed of in accordance with Articles II and III

- I. A vessel to be scrapped must be placed in such condition that it cannot be put to combatant use.
- II. This result must be finally effected in any one of the following ways:
 - (a) Permanent sinking of the vessel;

démolition. Cette opération devra toujours comprendre la destruction ou l'enlèvement de toutes machines, chaudières, cuirasses, ainsi que de tout le bordé de pont, de flanc et de fond;

(c) transformation pour l'usage exclusif de cible Dans ce cas, on devra observer au préalable toutes les dispositions du paragraphe III de la présente partie, à l'exception du sous-paragraphe (6), (dans la mesure nécessaire pour utiliser le navire comme cible mobile), et du sous-paragraphe (7) Aucune des Puissances Contractantes ne pourra conserver, pour s'en servir comme de cible, plus d'un navire de ligne à la fois

(d) Parmi les navires de ligne arrivant à partir de 1931 à l'époque de leur déclassement, la France et l'Italie sont autorisées à conserver chacune deux bâtiments navigants, qui seront affectés exclusivement aux écoles de canonage ou de torpilles. Pour la France, ces deux navires seront du type *Jean Bart*. Pour l'Italie, l'un d'eux sera le *Dante Alighieri*, le second sera du type *Giulio Cesare*. La France et l'Italie s'engagent à ne plus utiliser comme navires de guerre les navires ainsi conservés dont les blockhaus devront alors être enlevés et détruits.

III. (a) Sous réserve des exceptions spéciales de l'Article IX, quand

(b) Breaking the vessel up. This shall always involve the destruction or removal of all machinery, boilers and armour, and all deck, side and bottom plating,

(c) Converting the vessel to target use exclusively In such case all the provisions of paragraph III of this Part, except subparagraph (6), in so far as may be necessary to enable the ship to be used as a mobile target, and except subparagraph (7), must be previously complied with. Not more than one capital ship may be retained for this purpose at one time by any of the Contracting Powers.

(d) Of the capital ships which would otherwise be scrapped under the present Treaty in or after the year 1931, France and Italy may each retain two sea-going vessels for training purposes exclusively, that is, as gunnery or torpedo schools. The two vessels retained by France shall be of the *Jean Bart* class, and of those retained by Italy one shall be the *Dante Alighieri*, the other of the *Giulio Cesare* class. On retaining these ships for the purpose above stated, France and Italy respectively undertake to remove and destroy their conning-towers, and not to use the said ships as vessels of war.

III. (a) Subject to the special exceptions contained in Article

un navire doit être déclassé, la première opération du déclassement, qui consiste à mettre le navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, doit être immédiatement commencée.

(b) Un navire sera considéré comme mis hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat quand on aura enlevé et mis à terre ou détruit à bord du navire:

(1) tous les canons et parties essentielles de canons, les hunes de direction de tir et les parties tournantes de toutes les tourelles barbettes et fermées;

(2) toute la machinerie hydraulique ou électrique de manoeuvre des affûts;

(3) tous les instruments et les télémètres de direction de tir;

(4) toutes les munitions, les explosifs et les mines;

(5) toutes les torpilles, cônes de charge et tubes lance-torpilles;

(6) toutes les installations de télégraphie sans fil;

(7) le blockhaus et toute la cuirasse de flanc, ou, si l'on préfère, tout l'appareil moteur principal;

(8) toutes les plateformes d'atterrissage et d'envol et tous autres accessoires d'aviation.

IV. Les délais dans lesquels les opérations de déclassement des navires devront être accomplies sont les suivants:

IX, when a vessel is due for scrapping, the first stage of scrapping, which consists in rendering a ship incapable of further warlike service, shall be immediately undertaken.

(b) A vessel shall be considered incapable of further warlike service when there shall have been removed and landed, or else destroyed in the ship:

(1) All guns and essential portions of guns, fire-control tops and revolving parts of all barbetstes and turrets;

(2) All machinery for working hydraulic or electric mountings;

(3) All fire-control instruments and range-finders;

(4) All ammunition, explosives and mines;

(5) All torpedoes, warheads and torpedo tubes;

(6) All wireless telegraphy installations;

(7) The conning tower and all side armour, or alternatively all main propelling machinery; and

(8) All landing and flying-off platforms and all other aviation accessories.

IV. The periods in which scrapping of vessels is to be effected are as follows:

- (a) S'il s'agit de navires à déclasser d'après le premier alinéa de l'article II, les opérations nécessaires pour mettre ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être achevés dans un délai de six mois et le déclassement devra être complètement terminé dans un délai de dix-huit mois, l'un et l'autre à dater de la mise en vigueur du présent traité.
- (b) S'il s'agit de navires à déclasser d'après les alinéas 2 et 3 de l'Article II ou d'après l'Article III, les opérations nécessaires pour mettre chacun de ces navires hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, en observant les prescriptions du paragraphe III de la présente Partie, devront être commencées au plus tard à la date de l'achèvement du navire de remplacement et devront être terminées dans les six mois qui suivront cette date. Le déclassement, opéré conformément au paragraphe II de la présente Partie, devra être terminé dans les dix-huit mois qui suivront l'achèvement du navire de remplacement. Si, cependant, l'achèvement du nouveau navire est retardé, on devra commencer, au plus tard quatre ans après sa mise sur cale, les opérations néces-

- (a) In the case of vessels to be scrapped under the first paragraph of Article II, the work of rendering the vessels incapable of further warlike service, in accordance with paragraph III of this Part, shall be completed within six months from the coming into force of the present Treaty, and the scrapping shall be finally effected within eighteen months from such coming into force.
- (b) In the case of vessels to be scrapped under the second and third paragraphs of Article II, or under Article III, the work of rendering the vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced not later than the date of completion of its successor, and shall be finished within six months from the date of such completion. The vessel shall be finally scrapped, in accordance with paragraph II of this Part, within eighteen months from the date of completion of its successor. If, however, the completion of the new vessel be delayed, then the work of rendering the old vessel incapable of further warlike service in accordance with paragraph III of this Part shall be commenced within four years

saies pour mettre le vieux navire hors d'état de remplir ultérieurement un service de combat, conformément au paragraphe III de la présente Partie, et ce travail devra être terminé en six mois. Le vieux navire devra être définitivement déclassé, dans les conditions du paragraphe II de la présente partie, dix-huit mois après le commencement des travaux de ladite mise hors d'état.

from the laying of the keel of the new vessel, and shall be finished within six months from the date on which such work was commenced, and the old vessel shall be finally scrapped in accordance with paragraph II of this Part within eighteen months from the date when the work of rendering it incapable of further warlike service was commenced.

PARTIE 3.

REPLACEMENTS.

Le remplacement des navires de ligne et des navires porte-aéronefs se fera selon les règles de la section I et des tableaux de la section II de la présente Partie.

SECTION I.

REGLES DE REMPLACEMENT.

(a) Sous réserve des cas prévus à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront être remplacés, vingt ans après le jour de leur achèvement, par des constructions neuves, mais seulement dans les limites prévues aux articles IV et VII. Sous réserve des exceptions prévues à l'article VIII et aux tableaux de la section II de la présente partie, les nouveaux navires ne pourront être mis sur cale que dix-sept ans après l'achèvement de l'unité à remplacer. Toutefois il est entendu qu'à l'exception des navires visés au troisième alinéa de l'article II et à l'except-

PART 3.

REPLACEMENT.

The replacement of capital ships and aircraft carriers shall take place according to the rules in Section I and the tables in Section II of this Part.

SECTION I.

RULES FOR REPLACEMENT.

(a) Capital ships and aircraft carriers twenty years after the date of their completion may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be replaced by new construction, but within the limits prescribed in Article IV and Article VII. The keels of such new construction may, except as otherwise provided in Article VIII and in the tables in Section II of this Part, be laid down not earlier than seventeen years from the date of completion of the tonnage to be replaced, provided, however, that no capital ship tonnage, with the exception of the ships referred to in the third para-

tion du tonnage de remplacement spécifié à la section II de la présente partie, aucun navire de ligne ne sera mis sur cale avant l'expiration d'une période de dix ans à partir du 12 novembre 1921.

(b) Chacune des Puissances Contractantes communiquera aussi rapidement que possible aux autres les informations suivantes:

- (1) les noms des navires de ligne et des navires porte-aéronefs qui doivent être remplacés par des constructions neuves;
- (2) la date de l'autorisation gouvernementale donnée pour la construction des navires de remplacement;
- (3) la date de mise sur cale de chaque navire de remplacement;
- (4) le déplacement type en tonnes et en tonnes métriques de chaque unité nouvelle à mettre sur cale ainsi que ses principales dimensions, à savoir: longueur à la flottaison; largeur maximum à ou sous la ligne de flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type;
- (5) la date d'achèvement de chaque nouvelle unité et son déplacement type en tonnes et en tonnes métriques, ainsi que ses principales dimensions à l'époque de l'achèvement, à savoir: longueur à la ligne de flottaison; largeur maximum à ou sous la flottaison; tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type.

(c) Les navires de ligne et les navires porte-aéronefs pourront, en cas de perte ou de destruction accidentelle,

graph of Article II, and the replacement tonnage specifically mentioned in Section II of this Part, shall be laid down until ten years from November 12, 1921.

(b) Each of the Contracting Powers shall communicate promptly to each of the other Contracting Powers the following information:

- (1) The names of the capital ships and aircraft carriers to be replaced by new construction;
- (2) The date of governmental authorization of replacement tonnage;
- (3) The date of laying the keels of replacement tonnage;
- (4) The standard displacement in tons and metric tons of each new ship to be laid down, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement;
- (5) The date of completion of each new ship and its standard displacement in tons and metric tons, and the principal dimensions, namely, length at waterline, extreme beam at or below waterline, mean draft at standard displacement, at time of completion.

(c) In case of loss or accidental destruction of capital ships or aircraft carriers, they may immediately be

être remplacés immédiatement, dans les limites de tonnage spécifiées aux articles IV et VII, par des constructions neuves effectuées conformément aux dispositions du présent Traité; le programme de remplacement prévu pour la Puissance intéressée sera considéré comme ayant été avancé en ce qui concerne le navire perdu ou détruit.

(d) La seule refonte autorisée pour les navires de ligne et les navires porte-aéronefs conservés consistera à munir ces unités de moyens de défense contre les attaques aériennes et sous-marines dans les conditions suivantes: les Puissances Contractantes pourront, dans ce but, ajouter aux navires existants des soufflages et caissons, ainsi que des ponts de protection contre les attaques aériennes, pourvu que l'augmentation de déplacement qui en résultera pour les navires ne dépasse pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) pour chaque navire. Sera interdit tout changement dans la cuirasse de flanc, le calibre et le nombre des canons de l'armement principal, ainsi que tout changement dans son plan général d'installation. Il est fait exception:

- (1) pour la France et l'Italie, qui pourront, dans les limites de l'augmentation de déplacement accordée pour le soufflage, accroître les cuirassements de protection ainsi que le calibre des canons portés par leurs navires de ligne existants, à la condition que ce calibre ne dépasse pas 16 pouces (406 millimètres);
- (2) pour l'Empire Britannique, qui sera autorisé à achever sur le *Renown*, les modifications de cuirassement déjà commencées et provisoirement arrêtées.

replaced by new construction subject to the tonnage limits prescribed in Articles IV and VII and in conformity with the other provisions of the present Treaty, the regular replacement program being deemed to be advanced to that extent.

(d) No retained capital ships or aircraft carriers shall be reconstructed except for the purpose of providing means of defense against air and submarine attack, and subject to the following rules: The Contracting Powers may, for that purpose, equip existing tonnage with bulge or blister or anti-air attack deck protection, providing the increase of displacement thus effected does not exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) displacement for each ship. No alterations in side armor, in calibre, number or general type of mounting of main armament shall be permitted except:

- (1) in the case of France and Italy, which countries within the limits allowed for bulge may increase their armor protection and the calibre of the guns now carried on their existing capital ships so as not to exceed 16 inches (406 millimeters) and
- (2) the British Empire shall be permitted to complete, in the case of the *Renown*, the alterations to armor that have already been commenced but temporarily suspended.

SECTION II.
REPLACEMENT ET DECLASSERMENT DES NAVIRES DE LIGNE.
ETATS-UNIS.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-Jutland.	Post-Jutland.
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A, B, §	Delaware (12), North Dakota (12)	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931		C, D		15	3
1932		E, F		15	3
1933		G		12	5
1934		H, I	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22)	9	7
1935		J	Arkansas (23), Texas (21), New York (21)	7	8
1936		K, L	Nevada (20), Oklahoma (20)	5	10
1937		M	Arizona (21), Pennsylvania (21)	4	11
1938		N, O	Mississippi (21)	2	13
1939		P, Q	New Mexico (21), Idaho (20)	1	14
1940			Tennessee (20)	0	15
1941			California (20), Maryland (20)	0	15
1942			2 Navires de la classe "West Virginia"	0	15

* Les Etats-Unis pourront conserver l'Oregon et l'Illinois pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b).
§ 2 de la classe "West Virginia."

NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

SECTION II.
REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
UNITED STATES.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-Jutland.	Post-Jutland.
			Maine (20), Missouri (20), Virginia (17), Nebraska (17), Georgia (17), New Jersey (17), Rhode Island (17), Connecticut (17), Louisiana (17), Vermont (16), Kansas (16), Minnesota (16), New Hampshire (15), South Carolina (13), Michigan (13), Washington (0), South Dakota (0), Indiana (0), Montana (0), North Carolina (0), Iowa (0), Massachusetts (0), Lexington (0), Constitution (0), Constellation (0), Saratoga (0), Ranger (0), United States (0).*	17	1
1922		A, B, §	Delaware (12), North Dakota (12)	15	3
1923				15	3
1924				15	3
1925				15	3
1926				15	3
1927				15	3
1928				15	3
1929				15	3
1930				15	3
1931		C, D		15	3
1932		E, F		15	3
1933		G		12	5
1934		H, I	Florida (23), Utah (23), Wyoming (22)	9	7
1935		J	Arkansas (23), Texas (21), New York (21)	7	8
1936		K, L	Nevada (20), Oklahoma (20)	5	10
1937		M	Arizona (21), Pennsylvania (21)	4	11
1938		N, O	Mississippi (21)	2	13
1939		P, Q	New Mexico (21), Idaho (20)	1	14
1940			Tennessee (20)	0	15
1941			California (20), Maryland (20)	0	15
1942			2 ships West Virginia class	0	15

* The United States may retain the Oregon and Illinois, for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
§ Two West Virginia class

NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

REPLACEMENT ET DÉCLASSEMENT DES NAVIRES DE LIGNE.
EMPIRE BRITANNIQUE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Inflexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (9), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 en construction ou en projet.*	21	1
1922	A, B [‡]			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925	A, B		King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D			17	3
1932	E, F			17	3
1933	G			17	3
1934	H, I	C, D	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J	E, F	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L	G	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M	H, I	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O	J	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q	K, L	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M	Renown (24).	1	14
1941		N, O	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q	A (17), B (17).	0	15

* L'Empire Britannique pourra conserver le Colossus et le Collingwood pour des destinations autres que le combat en se conformant aux dispositions de la Partie 2, III, (b).
‡ 2 navires de 35,000 tonnes de déplacement type.
Noms.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
BRITISH EMPIRE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained. Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
			Commonwealth (16), Agamemnon (13), Dreadnought (15), Bellerophon (12), St. Vincent (11), Inflexible (13), Superb (12), Neptune (10), Hercules (10), Indomitable (13), Temeraire (12), New Zealand (9), Lion (9), Princess Royal (9), Conqueror (9), Monarch (9), Orion (9), Australia (8), Agincourt (7), Erin (7), 4 building or projected.*	21	1
1922	A, B [‡]			21	1
1923				21	1
1924				21	1
1925	A, B		King George V (13), Ajax (12), Centurion (12), Thunderer (13).	17	3
1926				17	3
1927				17	3
1928				17	3
1929				17	3
1930				17	3
1931	C, D			17	3
1932	E, F			17	3
1933	G			17	3
1934	H, I	C, D	Iron Duke (20), Marlborough (20), Emperor of India (20), Benbow (20).	13	5
1935	J	E, F	Tiger (21), Queen Elizabeth (20), Warspite (20), Barham (20).	9	7
1936	K, L	G	Malaya (20), Royal Sovereign (20).	7	8
1937	M	H, I	Revenge (21), Resolution (21).	5	10
1938	N, O	J	Royal Oak (22).	4	11
1939	P, Q	K, L	Valiant (23), Repulse (23).	2	13
1940		M	Renown (24).	1	14
1941		N, O	Ramillies (24), Hood (21).	0	15
1942		P, Q	A (17), B (17).	0	15

* The British Empire may retain the Colossus and Collingwood for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
‡ Two 35,000-ton ships, standard displacement.
Noms.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement laid down and completed in the years specified.

REPLACEMENT ET DECLASSEMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
FRANCE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèses).	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				7	0
1923.....				7	0
1924.....				7	0
1925.....				7	0
1926.....				7	0
1927.....	35,000 tonnes.			7	0
1928.....				7	0
1929.....	35,000 tonnes.			5	0
1930.....	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Jean Bart (17), Courbet (17).....	5	(*)
1931.....	35,000 tonnes.			4	(*)
1932.....	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	France (18).....	4	(*)
1933.....	35,000 tonnes.			2	(*)
1934.....		35,000 tonnes.	Paris (20), Bretagne (20).....	1	(*)
1935.....		35,000 tonnes.	Provence (20).....	0	(*)
1936.....		35,000 tonnes.	Lorraine (20).....	0	(*)
1937.....				0	(*)
1938.....				0	(*)
1939.....				0	(*)
1940.....				0	(*)
1941.....				0	(*)
1942.....				0	(*)

* Dans les limites du tonnage total; nombre non fixé.
NOTE.—La France réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
FRANCE.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				7	0
1923.....				7	0
1924.....				7	0
1925.....				7	0
1926.....				7	0
1927.....	35,000 tons.			7	0
1928.....				7	0
1929.....	35,000 tons.			5	0
1930.....		35,000 tons.	Jean Bart (17), Courbet (17).....	5	(*)
1931.....	35,000 tons.			4	(*)
1932.....	35,000 tons.	35,000 tons.	France (18).....	4	(*)
1933.....	35,000 tons.			2	(*)
1934.....		35,000 tons.	Paris (20), Bretagne (20).....	1	(*)
1935.....		35,000 tons.	Provence (20).....	0	(*)
1936.....		35,000 tons.	Lorraine (20).....	0	(*)
1937.....				0	(*)
1938.....				0	(*)
1939.....				0	(*)
1940.....				0	(*)
1941.....				0	(*)
1942.....				0	(*)

* Within tonnage limitations, number not fixed.
NOTE.—France expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and that the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REPLACEMENT ET DECLASSEMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
ITALIE.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèse)	Navires conservés. Nombre total.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				6	0
1923.....				6	0
1924.....				6	0
1925.....				6	0
1926.....				6	0
1927.....	35,000 tonnes.			6	0
1928.....				6	0
1929.....	35,000 tonnes.			6	0
1930.....				5	(*)
1931.....	35,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932.....	45,000 tonnes.			4	(*)
1933.....	25,000 tonnes.	35,000 tonnes.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934.....				3	(*)
1935.....		35,000 tonnes.	Giulio Cesare (21)	1	(*)
1936.....		45,000 tonnes.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937.....		25,000 tonnes.	Andrea Doria (21)	0	(*)

* Dans les limites du tonnage total; nombre non fixé.

Note.—L'Italie réserve expressément son droit d'employer son allocation de tonnage de navires de ligne comme elle le jugera bon, pourvu que le déplacement de chaque navire ne dépasse pas 35,000 tonnes, et que le tonnage total de navires de ligne reste dans les limites imposées par le présent Traité.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS.
ITALY.

Year.	Ships laid down.	Ships completed.	Ships scrapped (age in parentheses).	Ships retained—Summary.	
				Pre-	Post-
				Jutland.	
1922.....				6	0
1923.....				6	0
1924.....				6	0
1925.....				6	0
1926.....				6	0
1927.....	35,000 tons.			6	0
1928.....				6	0
1929.....	35,000 tons.			6	0
1930.....				6	0
1931.....	35,000 tons.	35,000 tons.	Dante Alighieri (19)	5	(*)
1932.....	45,000 tons.			4	(*)
1933.....	25,000 tons.	35,000 tons.	Leonardo da Vinci (19)	4	(*)
1934.....				3	(*)
1935.....		35,000 tons.	Giulio Cesare (21)	1	(*)
1936.....		45,000 tons.	Conte di Cavour (21), Duilio (21)	1	(*)
1937.....		25,000 tons.	Andrea Doria (21)	0	(*)

* Within tonnage limitations; number not fixed.

Note.—Italy expressly reserves the right of employing the capital ship tonnage allotment as she may consider advisable, subject solely to the limitations that the displacement of individual ships should not surpass 35,000 tons, and the total capital ship tonnage should keep within the limits imposed by the present Treaty.

REPLACEMENT ET DECLASSÉMENT DE NAVIRES DE LIGNE.
JAPON.

Année.	Navires mis sur cale.	Navires achevés.	Navires à déclasser (âge entre parenthèse).	Navires conservés. Nombre total	
				Pre-	Post-
				futland	
			Hiizen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tosa (0), Takao (0), Atago (0). Projet de programme 8 navires non sur cale.*	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A.			8	2
1932	B.			8	2
1933	C.			8	2
1934	D.	A.	Kongo (21)	7	3
1935	E.	B.	Hiyei (21), Haruna (20)	6	4
1936	F.	C.	Kirishima (21)	4	6
1937	G.	D.	Fuso (22)	3	6
1938	H.	E.	Yamashiro (21)	2	7
1939	I.	F.	Ise (22)	1	8
1940		G.	Hiuga (22)	0	9
1941		H.	Nagato (21)	0	9
1942		I.	Mutsu (21)	0	9

* Le Japon pourra conserver le *Shikishima* et l'*Asahi* pour des destinations autres que le combat, en se conformant aux dispositions de la partie 2, III, (b).
NOTE.—Les lettres A, B, C, D, etc., représentent chacune un navire de ligne de 35,000 tonnes de déplacement type, mis sur cale et achevé dans les années indiquées.

REPLACEMENT AND SCRAPPING OF CAPITAL SHIPS
JAPAN

Year	Ships laid down.	Ships completed	Ships scrapped (age in parentheses)	Ships retained. Summary	
				Pre-	Post-
				futland.	
			Hiizen (20), Mikasa (20), Kashima (16), Katori (16), Satsuma (12), Aki (11), Settsu (10), Ikoma (14), Ibuki (12), Kurama (11), Amagi (0), Akagi (0), Kaga (0), Tosa (0), Takao (0), Atago (0). Projected program 8 ships not laid down.*	8	2
1922				8	2
1923				8	2
1924				8	2
1925				8	2
1926				8	2
1927				8	2
1928				8	2
1929				8	2
1930				8	2
1931	A.			8	2
1932	B.			8	2
1933	C.			8	2
1934	D.	A.	Kongo (21)	7	3
1935	E.	B.	Hiyei (21), Haruna (20)	5	4
1936	F.	C.	Kirishima (21)	4	5
1937	G.	D.	Fuso (22)	3	6
1938	H.	E.	Yamashiro (21)	2	7
1939	I.	F.	Ise (22)	1	8
1940		G.	Hiuga (22)	0	9
1941		H.	Nagato (21)	0	9
1942		I.	Mutsu (21)	0	9

* Japan may retain the *Shikishima* and *Asahi* for noncombatant purposes, after complying with the provisions of Part 2, III, (b).
NOTE.—A, B, C, D, etc., represent individual capital ships of 35,000 tons standard displacement, laid down and completed in the years specified.

NOTE VISANT TOUS LES TABLEAUX DE LA SECTION II

Dans les tableaux précédents, l'ordre suivant lequel sont inscrits les navires à déclasser est celui de leur âge. Il est entendu que, quand les remplacements commenceront conformément aux dits tableaux, l'ordre de déclassement des navires de chaque Puissance Contractante pourra être changé au gré de cette Puissance, pourvu qu'elle déclassé chaque année le nombre de navires indiqué par ces tableaux.

PARTIE 4 DEFINITIONS

Dans le présent Traité, les expressions suivantes doivent s'entendre respectivement avec le sens ci-après.

NAVIRE DE LIGNE

Un navire de ligne, en ce qui concerne les navires à construire dans l'avenir, est un navire de guerre autre qu'un navire porte-aéronefs, dont le déplacement type est supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), ou qui porte un canon d'un calibre supérieur à 8 pouces (203 millimètres).

NAVIRE PORTE-AERONEFS

Un navire porte-aéronefs est un navire de guerre d'un déplacement type supérieur à 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques), spécifiquement et exclusivement destiné à porter des aéronefs. Il doit être construit de manière qu'un aéronef puisse y prendre son vol ou s'y poser. Son plan et sa construction ne doivent pas lui permettre de porter un armement plus

NOTE APPLICABLE TO ALL THE TABLES IN SECTION II

The order above prescribed in which ships are to be scrapped is in accordance with their age. It is understood that when replacement begins according to the above tables the order of scrapping in the case of the ships of each of the Contracting Powers may be varied at its option; provided, however, that such Power shall scrap in each year the number of ships above stated.

PART 4. DEFINITIONS

For the purposes of the present Treaty, the following expressions are to be understood in the sense defined in this Part.

CAPITAL SHIP

A capital ship, in the case of ships hereafter built, is defined as a vessel of war, not an aircraft carrier, whose displacement exceeds 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, or which carries a gun with a calibre exceeding 8 inches (203 millimetres)

AIRCRAFT CARRIER

An aircraft carrier is defined as a vessel of war with a displacement in excess of 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement designed for the specific and exclusive purpose of carrying aircraft. It must be so constructed that aircraft can be launched therefrom and landed thereon, and not designed and constructed for carrying a more powerful armament

puissant que celui autorisé soit par l'article IX, soit par l'article X, selon le cas.

DISPLACEMENT TYPE

Le déplacement type d'un navire est le déplacement du navire achevé, avec son équipage complet, ses machines et chaudières, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres, eau douce pour l'équipage, approvisionnements divers, outillages et recharges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible et sans eau de réserve pour l'alimentation des machines et chaudières.

Le mot tonne employé dans le présent traité sans la qualification de "métrique" désigne une tonne de 2.240 lbs. ou 1.016 kilogrammes.

Les navires actuellement achevés continueront à figurer avec le déplacement qui leur est attribué selon leur système national d'évaluation. Toutefois, lorsqu'une Puissance compte le déplacement de ses navires en tonnes métriques, elle sera considérée, pour l'application du présent Traité, comme ne possédant que le tonnage équivalent en tonnes de 2.240 lbs.

Les navires achevés par la suite seront comptés pour leur déplacement type tel qu'il est défini au 1^{er} alinéa de la présente définition.

CHAPITRE III.

DISPOSITIONS DIVERSES.

ARTICLE XXI

Si, pendant la durée du présent traité, une Puissance contractante estime que les exigences de sa sécurité

than that allowed to it under Article IX or Article X as the case may be.

STANDARD DISPLACEMENT

The standard displacement of a ship is the displacement of the ship complete, fully manned, engined, and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions and fresh water for crew, miscellaneous stores and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel or reserve feed water on board.

The word "ton" in the present Treaty, except in the expression "metric tons", shall be understood to mean the ton of 2240 pounds (1016 kilos).

Vessels now completed shall retain their present ratings of displacement tonnage in accordance with their national system of measurement. However, a Power expressing displacement in metric tons shall be considered for the application of the present Treaty as owning only the equivalent displacement in tons of 2240 pounds.

A vessel completed hereafter shall be rated at its displacement tonnage when in the standard condition defined herein.

CHAPTER III.

MISCELLANEOUS PROVISIONS.

ARTICLE XXI.

If during the term of the present Treaty the requirements of the national security of any Contracting Power in

nationale, en ce qui touche la défense navale, se trouvent matériellement affectées par des circonstances nouvelles, les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence sur sa demande pour examiner à nouveau les dispositions du présent traité et s'entendre sur les amendements à y apporter.

En raison des possibilités de progrès dans l'ordre technique et scientifique, les Etats-Unis provoqueront la réunion d'une Conférence de toutes les Puissances Contractantes après les avoir consultées. Cette Conférence se tiendra aussitôt que possible après l'expiration d'une période de huit ans à dater de la mise en vigueur du présent traité et examinera les changements à y apporter, s'il y a lieu, pour faire face à ces progrès.

ARTICLE XXII.

Si l'une des Puissances Contractantes se trouve engagée dans une guerre qui, dans son opinion, affecte sa sécurité nationale du côté de la mer, cette Puissance pourra, sur avis préalable donné aux autres Puissances Contractantes, se dégager, pour la durée des hostilités, de ses obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII. Toutefois, cette Puissance devra notifier aux autres Puissances Contractantes que la situation est d'un caractère assez critique pour exiger cette mesure.

Dans ce cas, les autres Puissances Contractantes échangeront leurs vues pour arriver à un accord sur les dérogations temporaires que l'exécution du traité devrait comporter, s'il y a lieu, en ce qui les concerne. Si cet échange

respect of naval defence are, in the opinion of that Power, materially affected by any change of circumstances the Contracting Powers will, at the request of such Power, meet in conference with a view to the reconsideration of the provisions of the Treaty and its amendment by mutual agreement.

In view of possible technical and scientific developments, the United States, after consultation with the other Contracting Powers, shall arrange for a conference of all the Contracting Powers which shall convene as soon as possible after the expiration of eight years from the coming into force of the present Treaty to consider what changes, if any, in the Treaty may be necessary to meet such developments.

ARTICLE XXII.

Whenever any Contracting Power shall become engaged in a war which in its opinion affects the naval defence of its national security, such Power may after notice to the other Contracting Powers suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty other than those under Articles XIII and XVII, provided that such Power shall notify the other Contracting Powers that the emergency is of such a character as to require such suspension.

The remaining Contracting Powers shall in such case consult together with a view to agreement as to what temporary modifications if any should be made in the Treaty as between themselves. Should such consultation not

de vues ne conduit pas à un accord, conclu régulièrement selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues, chacune d'entre elles pourra, après en avoir donné notification aux autres, se dégager, pour la durée des hostilités, des obligations résultant du présent traité, à l'exception de celles qui sont prévues aux articles XIII et XVII.

A la cessation des hostilités les Puissances Contractantes se réuniront en Conférence pour examiner les modifications à apporter, s'il y a lieu, au présent Traité.

ARTICLE XXIII.

Le présent traité restera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1936. S'il n'est fait notification deux ans avant cette date par aucune des Puissances Contractantes de son intention de mettre fin au traité, ce dernier restera en vigueur jusqu'à l'expiration d'un délai de deux ans à dater du jour où l'une des Puissances Contractantes notifiera son intention de mettre fin au traité. En ce cas le traité prendra fin pour toutes les Puissances Contractantes. La notification devra être faite par écrit au Gouvernement des Etats-Unis, qui devra immédiatement en transmettre aux autres Puissances une copie authentique avec l'indication de la date de réception. La notification sera considérée comme faite à cette date, à partir de laquelle elle produira son effet. Dans le cas où le Gouvernement des Etats-Unis notifierait son intention de mettre fin au Traité, cette notification sera remise aux représentants diplomatiques à Washington des autres Puissances Contractantes; la

produce agreement, duly made in accordance with the constitutional methods of the respective Powers, any one of said Contracting Powers may, by giving notice to the other Contracting Powers, suspend for the period of hostilities its obligations under the present Treaty, other than those under Articles XIII and XVII.

On the cessation of hostilities the Contracting Powers will meet in conference to consider what modifications, if any, should be made in the provisions of the present Treaty.

ARTICLE XXIII.

The present Treaty shall remain in force until December 31st, 1936, and in case none of the Contracting Powers shall have given notice two years before that date of its intention to terminate the Treaty, it shall continue in force until the expiration of two years from the date on which notice of termination shall be given by one of the Contracting Powers, whereupon the Treaty shall terminate as regards all the Contracting Powers. Such notice shall be communicated in writing to the Government of the United States, which shall immediately transmit a certified copy of the notification to the other Powers and inform them of the date on which it was received. The notice shall be deemed to have been given and shall take effect on that date. In the event of notice of termination being given by the Government of the United States, such notice shall be given to the diplomatic representatives at Washington of the other Contracting Powers, and the notice shall

notification sera considérée comme faite et prendra effet à la date de la communication aux dits représentants diplomatiques.

Toutes les Puissances Contractantes devront se réunir en Conférence dans le délai d'un an à partir de la date à laquelle aura pris effet la notification, par une des Puissances, de son intention de mettre fin au Traité.

ARTICLE XXIV.

Le présent traité sera ratifié par les Puissances Contractantes selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues. Il prendra effet à la date du dépôt de toutes les ratifications, dépôt qui sera effectué à Washington, le plus tôt qu'il sera possible. Le Gouvernement des Etats-Unis remettra aux autres Puissances Contractantes une copie authentique du procès verbal de dépôt des ratifications.

Le présent traité, dont les textes français et anglais feront foi, restera déposé dans les archives du Gouvernement des Etats-Unis; des expéditions authentiques en seront remises par ce Gouvernement aux autres Puissances Contractantes.

be deemed to have been given and shall take effect on the date of the communication made to the said diplomatic representatives.

Within one year of the date on which a notice of termination by any Power has taken effect, all the Contracting Powers shall meet in conference.

ARTICLE XXIV.

The present Treaty shall be ratified by the Contracting Powers in accordance with their respective constitutional methods and shall take effect on the date of the deposit of all the ratifications, which shall take place at Washington as soon as possible. The Government of the United States will transmit to the other Contracting Powers a certified copy of the procès-verbal of the deposit of ratifications.

The present Treaty, of which the French and English texts are both authentic, shall remain deposited in the archives of the Government of the United States, and duly certified copies thereof shall be transmitted by that Government to the other Contracting Powers.

En foi de quoi les Plénipotentiaires sus-nommés ont signé le présent Traité

Fait à Washington le six février mil-neuf-cent-vingt-deux.

In faith whereof the above-named Plenipotentiaries have signed the present Treaty.

Done at the City of Washington the sixth day of February, One Thousand Nine Hundred and Twenty-Two.

- [L. S.] CHARLES EVANS HUGHES
- [L. S.] HENRY CABOT LODGE
- [L. S.] OSCAR W UNDERWOOD
- [L. S.] ELIHU ROOT
- [L. S.] ARTHUR JAMES BALFOUR
- [L. S.] LEE OF FAREHAM.
- [L. S.] A. C. GEDDES
- R. L. BORDEN [L. S.]
- G. F. PEARCE [L. S.]
- JOHN W SALMOND [L. S.]
- ARTHUR JAMES BALFOUR [L. S.]
- V S SRINIVASA SASTRI [L. S.]
- A SARRAUT [L. S.]
- JUSSERAND [L. S.]
- CARLO SCHANZER [L. S.]
- [L. S.] V. ROLANDI RICCI
- [L. S.] LUIGI ALBERTINI
- [L. S.] T. KATO
- [L. S.] K. SHIDEHARA
- [L. S.] M. HANIEHARA